

GR型受信機

RX300 (1020アドレス)

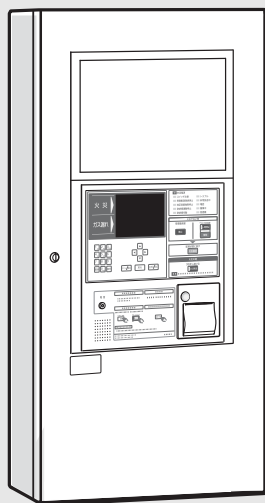
- お買い上げありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては
責任を負い兼ねることがあります。



Ni-Cd

ニカド電池は
リサイクルへ

品番 NBS521



ご使用前に

- この設備は、火災感知器などからの信号を受けて火災の発生を報知したり、防火戸などを自動的に作動させたり、ガスもれ検知器などの信号を受けてガスもれの発生を報知する働きをします。したがって、この設備は消火を行うものではありません。万一の火災・ガスもれなどによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- この設備は皆様の生命・財産を火災・ガスもれから守るための大切な設備です。取扱説明書をよく読み、各機器の正しい取り扱いを理解して、緊急時に備えてください。
- この設備は、常に正常な状態を維持するよう、有資格者による定期点検と日常の点検を行ってください。

〔定期点検は、施主様と施工店または点検契約店で
ご契約ください。〕

取り扱いについてのご注意

- 平常時には次のことを守ってください。
 - ベル（地区音響）一時停止スイッチを押さない。
- 受信機の取り扱いを誤ると火災時・ガス漏れ時に正しく動作せず、避難・消火・換気・爆発防止活動が大幅に遅れるおそれがあります。
 - 受信機音響強制停止状態、地区音響強制停止状態にしない。
 - 電源スイッチや電池を切らない。
 - 正常な監視状態にあるか確認する。（10ページ参照）

- 警報が鳴ったら、まず現場を確認してください。

火災の場合

- 119番などに通報する。
- 避難誘導および、可能であれば初期消火をする。

火災でない場合

- 発生原因がわかれば取り除く。
- 発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

使用上の注意

機器を分解したり、修理、改造しないでください。また落下させたり、衝撃を与えるような取り扱いはしないでください。故障の原因となります。

ガスもれの場合

- 火気は使用しない。
- 電気製品のスイッチはさわらない。
- ドアや窓を開け、部屋の空気をいれかえる。
- 避難誘導をする。

ガスもれでない場合

- 発生原因がわかれば取り除く。
- 発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です。)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
---	--------------	---	------------------

危険



取り扱い管理される方へ

- ガスもれ警報時、換気扇、扇風機および照明器具などの電気製品のスイッチはさわらない。火花などによる爆発のおそれがあります。

警告

 禁止	取り扱い管理される方へ ●保守・点検以外で、ベル（地区音響）一時停止スイッチを押さない。 火災時にすぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。 （ベル（地区音響）一時停止スイッチを押すと、スイッチ内のランプ、スイッチ注意灯が点滅します。） ●防火管理者および電気工事士・消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れない。 感電・故障の原因となります。 ●ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。 感電・故障の原因となります。 ●感知器は絶対に取りはずさない。 出火時に火災発見ができません。 ●ガスもれ検知器は絶対に取りはずさない。 ガスもれの発見ができません。 ●防火戸・シャッター・防煙たれ壁などの近くに、物を置かない。 火災時に所定の機能を発揮できず、被害が拡大するおそれがあります。
 分解禁止	●機器を分解したり、修理・改造はしない。 感電・故障の原因となります。
 禁止	点検・施工される方へ ●保守・点検以外で、受信機音響強制停止状態および、地区音響強制停止状態にしない。 火災・ガスもれ時に警報音が出ないため避難・消火・換気・爆発防止活動が大幅に遅れる危険があります。（強制停止状態にすると、スイッチ注意灯・受信機音響強制停止灯・地区音響強制停止灯が点滅します。） ●ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。 感電・故障の原因となります。 ●感知器は絶対に取りはずさない。 出火時に火災発見ができません。 ●ガスもれ検知器は絶対に取りはずさない。 ガスもれの発見ができません。 ●電池は火に投入したり、ショートさせない。 爆発したり、やけど、火災になるおそれがあります。 ●防火戸・シャッター・防煙たれ壁などの近くに、物を置かない。 火災時に所定の機能を発揮できず、被害が拡大するおそれがあります。
 必ず守る	●点検などで作動させる場合は、連動している設備（防火シャッター・防火戸・ガス系消火設備など）の内容を十分確認して操作する。 不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。 ●電池は必ず接続する。 電池を接続していないと停電時に機能しません。
 分解禁止	●機器を分解したり、修理・改造はしない。 感電・故障の原因となります。

《予備電源（ニカド電池）取り扱い上のご注意》

注意

 禁止	●電池は絶対に分解しない。 電解液は強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。 ●交換した電池は、火中に投入しない。 電池が破裂する場合があります、危険です。電池はリサイクルに協力してください。
 必ず守る	●端子台は極性を守って正しく接続する。 逆に接続すると電池のふくれや破裂の危険性があります。

定期点検について

防災設備は、設置後の保守点検・維持管理がともなって、はじめて正常な機能を発揮する商品です。施工店または点検契約店と「点検契約」を結んでください。

点検は法律で義務づけられています……………



消防関係法令では、防火対象物の関係者（建物の所有者、管理者または占有者）は、定期点検の実施およびその結果を報告するように定められています。点検の結果は維持台帳に記録し、定められた期間ごとに消防長または消防署長に報告しなければなりません。

■消防法施行規則第31条の6

- 点検は、消防用設備などの種類および点検内容により1年以内で、消防庁長官が定める期間ごとに行う。
- 点検を行った結果は、維持台帳に記録し、消防機関へ報告を行わなければならない。

■点 検

対象の設備	点検の内容および方法	点検の期間
●自動火災報知設備 ●ガスもれ火災警報設備	機 器 点 検	6ヶ月に1回
	総 合 点 検	1年に1回
配 線	総 合 点 検	1年に1回

自動試験適用範囲については、機器点検、総合点検の一部が免除されます。消防機関とお打合せください。

■報 告

特定防火対象物の場合	1年に1回
特定防火対象物以外の場合	3年に1回

点検には資格が必要です……

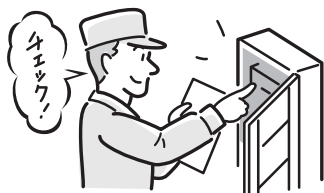


定期点検は、国が定めた資格者（消防設備点検資格者または消防設備士）が行うよう、法令で決められています。

■消防法第17条の3の3

- 消防用設備の点検は、消防設備士または総務省令で定める資格者に行わせなければならない。

「専門知識を有する会社」と点検契約をおすすめします



日本ドライケミカル製品取扱店と「点検契約」を結びますと、専門の知識・技術を持つ有資格者が定期的に訪問し、責任を持って防災設備の点検をいたします。防災設備の正常な機能を維持するために、「点検契約」を結ばれることをおすすめします。

はじめに

まずお読みください。

■ 安全上のご注意	1～2
■ 定期点検について	3
1. 各部のなまえとはたらき	5～8
2. ご注意	9
3. お手入れ方法	9
4. 平常時の受信機の状態	10

操作編

警報発生時の操作に関する説明です。

5. 受信機が警報した場合	11～16
●火災音響が鳴ったら	11～12
●ガス漏れ音響が鳴ったら	13～14
●機器作動音響が鳴ったら	15
●トラブル音響が鳴ったら	16
6. 受信機音響強制停止状態について	17
7. 地区音響強制停止状態について	18
8. 火災時の地区音響一時停止動作・ 拡大警報動作について	19～20
9. 電話機の使い方	21

点検編

機器を点検する場合の説明です。

10. 日常点検	22
11. 液晶画面について	23～27
●各項目の設定を開始するには	25～26
●項目内容と各画面の階層構成	27
12. 点検・設定方法	28～65
●1. 停止スイッチ	28～29
●2. トラブル表示	30～31
●3. 警報表示	32
●4. 履歴表示	33～36
●5. 各種試験（火災試験・試験復旧等）	37～42
●6. 各種制御（防排煙等）	43～50
●7. 各種設定（時刻・マスク等）	51～60
●8. システム診断	61～64
●9. スイッチ注意灯要因表示	65
13. 部品などの交換方法	66～70
14. 異常時の点検・処置	71～72
15. トラブル発生時の点検・処置	73～74
16. 内部回路図	76～80
17. 定格・仕様	81～82

はじめに

操作編

点検編

1. 各部のなまえとはたらき

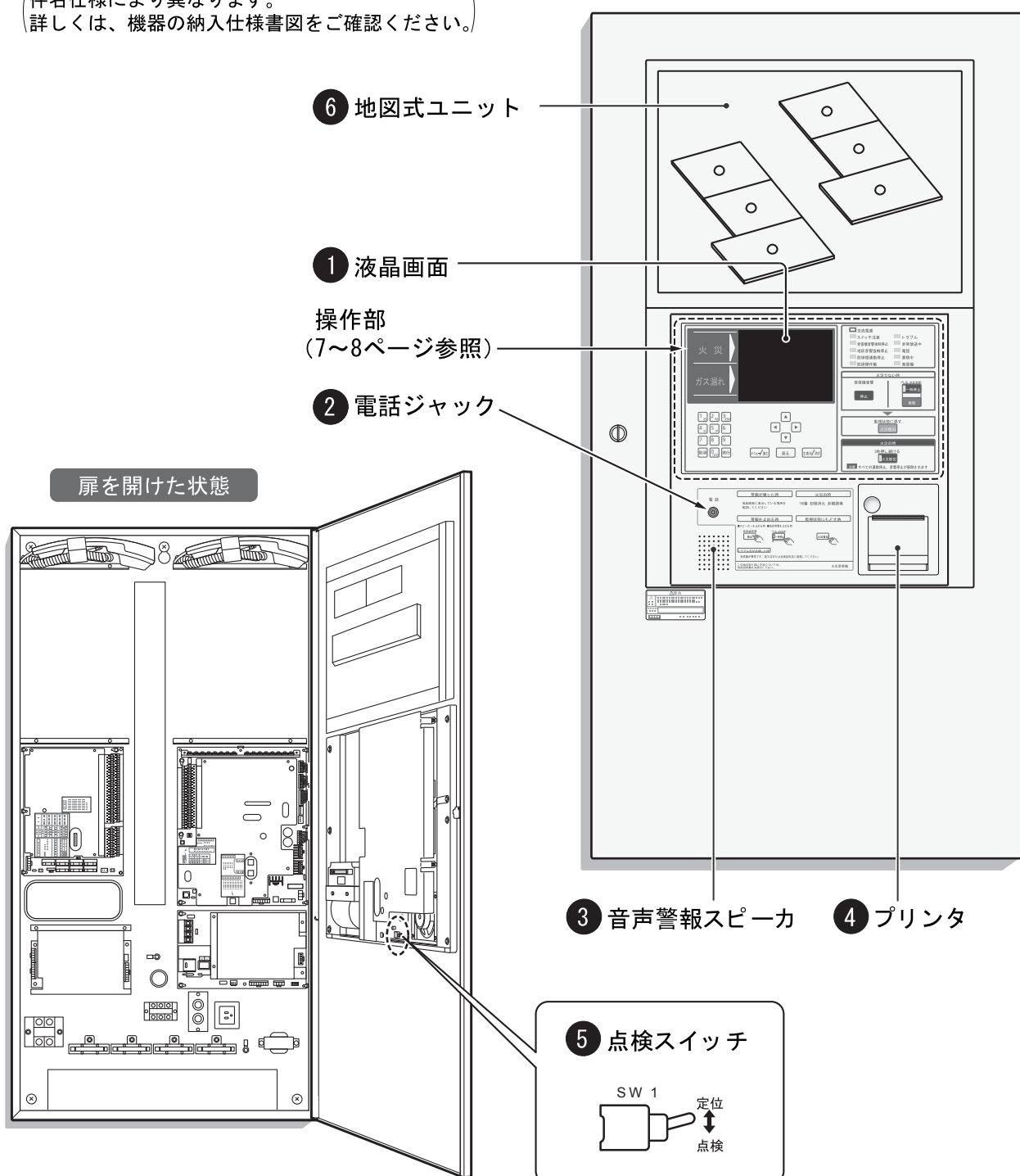
警告



禁止

- 防火管理者および電気工事士・消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れない。
感電・故障の原因となります。
- 保守・点検以外で、ベル（地区音響）一時停止スイッチを押さない。
火災・ガスもれ時、すぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。
（ベル（地区音響）一時停止スイッチを押すと、スイッチ内のランプ、スイッチ注意灯が点滅します。）

- 図は壁掛型の場合を示します。
（件名仕様により異なります。）
詳しくは、機器の納入仕様書図をご確認ください。



1 液晶画面

- 火災発生、ガスもれ発生などのさまざまな情報を表示したり、設定・点検時の操作に使用します。

2 電話ジャック

- 電話機のプラグを差し込み、発信機または副表示機との通話に使用します。(21ページ参照)

3 音声警報スピーカ

- 下記の表のように鳴動します。

受信機の状態	警報音	音声メッセージ
火災警報 (第1報)	ピーピー	火災感知器が作動しました。 現場を確認してください。 (女性の声)
火災警報 (第2報または 発信機発報)	ピーピー	火事です。火事です。 現場を確認してください。 (男性の声)
ガスもれ 警報	ピーー	ガスもれです。ガスもれです。 現場を確認してください。 (男性の声)
トラブル	ピー	トラブルが発生しました。 (女性の声)
※ 機器作動 (防排煙、 諸警報)	プープー プープー	————
※ 蓄積開始 (1回のみ、 約2秒間)	プープー	————
電話呼出	プルルル	————

※：設定により、鳴動させなくすることもできます。
(施工店または点検契約店にご相談ください。)

4 プリンタ

- 下記のイベント（現象）が発生したときに印字します。

警 報	●火災発生 ●ガスもれ発生 ●防排煙発生 ●諸警報発生 ●トラブル発生
操 作	●火災復旧操作 ●プリンタ停止操作 ●現在時刻設定
その他	●年替り印字 ●トラブル印字 (31ページ参照) ●履歴印字 (36ページ参照) ●マスク印字 (59ページ参照) ●感知器汚れ印字 (63ページ参照) ●一斉試験におけるテスト印字 ●受信機電源ON ●テーブル未設定

〈印字例〉

■火災発生の場合

■ 火災	05-13 19: 27
1棟 01階001地区040	
第2情報棟—東—会議室1	

■火災復旧操作の場合

▽ 火災復旧	05-13 19: 28
--------	--------------

■受信機電源ONの場合

▽ 受信機起動	05-13 19: 28
CODE : 00	

●印字内容の説明

- 00：交流電源スイッチ「入」
- 01：ウォッチドッグによる再起動
- 02：件名テーブルダウンロードによる再起動
- 03：推奨電源切操作 (64ページ参照) による再起動
- 99：その他の要因による再起動

(例：交流電源スイッチを「切」にし、
すぐに交流電源スイッチを
「入」にした場合)

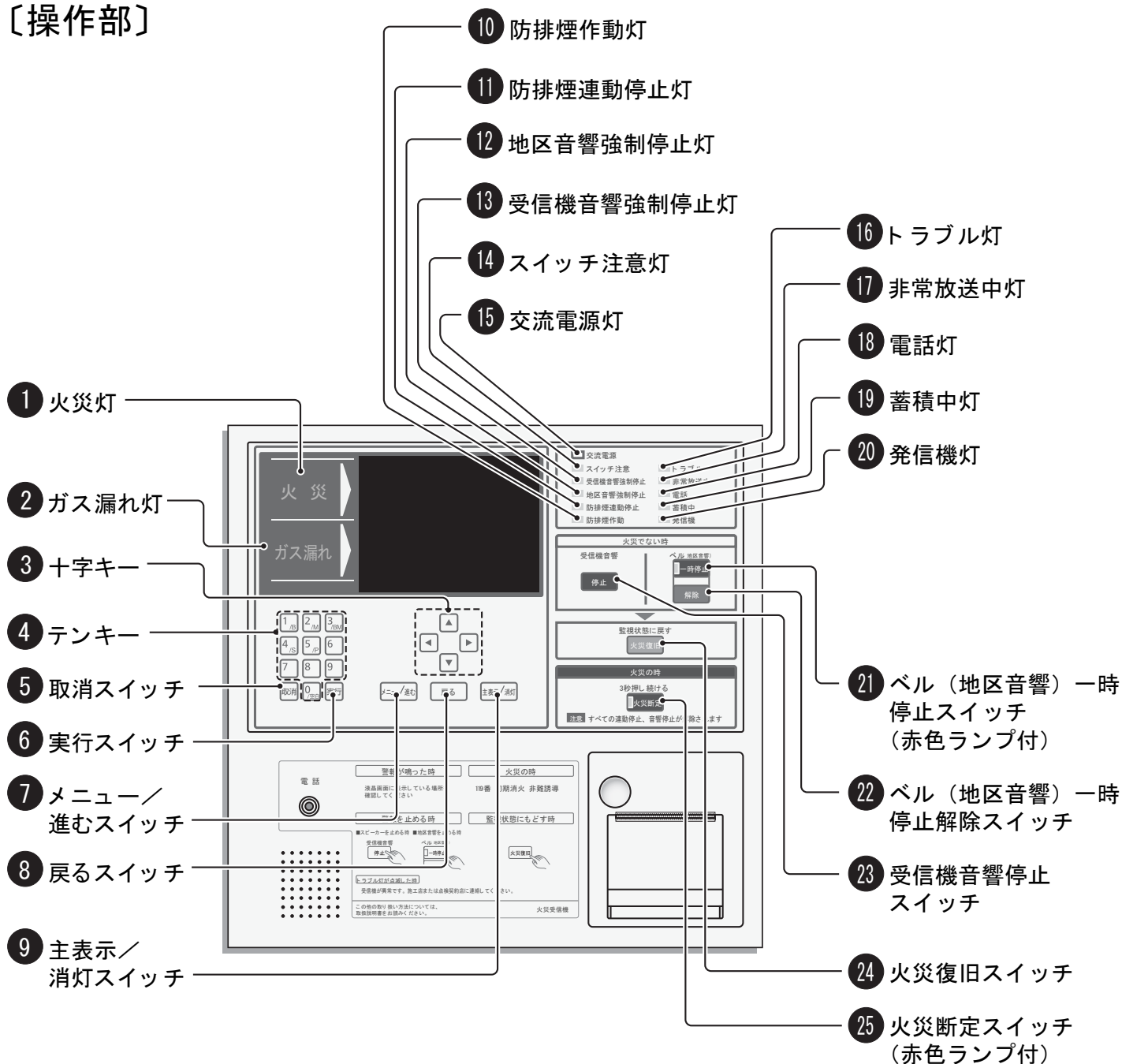
5 点検スイッチ

- 点検側にすると、以下のモードに移行し、液晶画面に「点検中」が表示され、スイッチ注意灯が点滅します。
 - 受信機音響の強制停止操作が可能になります。
(17ページ参照)
 - 地区音響の強制停止操作が可能になります。
(18ページ参照)
 - メニュー画面が表示されているときに、火災またはガスもれが発生しても、強制的な火災／ガス漏れ画面への画面切替を行わなくなります。
(26ページ参照)

6 地図式ユニット

- 警戒区域図を示します。

〔操作部〕

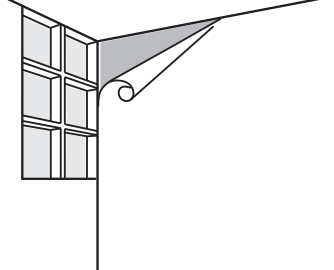
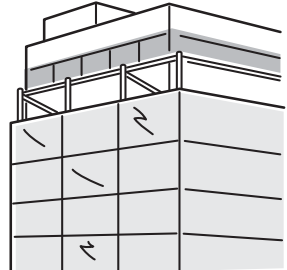
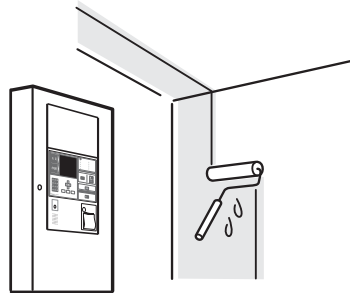
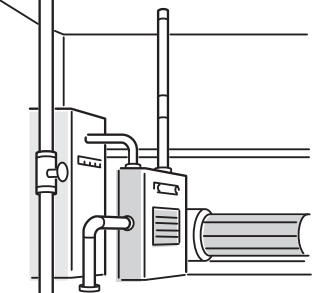
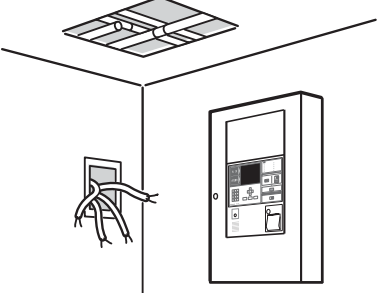
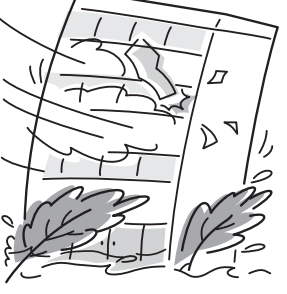


① 火災灯（赤）	●火災信号が入ると点滅します。
② ガス漏れ灯（黄）	●ガスもれ信号が入ると点滅します。
③ 十字キー	●液晶画面内の「項目選択」「表示送り／戻り」などの操作を行うときに使用します。 (25ページ参照)
④ テンキー	●液晶画面内の「数字の入力」「メニュー番号の選択」などの操作を行うときに使用します。 (25ページ参照)
⑤ 取消スイッチ	●液晶画面内の「数字入力の取消」などの操作を行うときに使用します。 (25ページ参照)

⑥ 実行スイッチ	●液晶画面内の「選択項目の実行」「メニュー画面の切替」などの操作を行うときに使用します。(25ページ参照)
⑦ メニュー／進むスイッチ	●消灯画面、火災／ガス漏れ画面、トラブル画面、警報画面のいずれかの画面が表示されているときに押すと、メニュー画面に切り替わります。 また、メニュー画面が表示されているときに押すと、選択された次の画面に切り替わります。(25ページ参照)
⑧ 戻るスイッチ	●メニュー画面内のいずれかの画面が表示されているときに押すと、1つ前の階層の画面に切り替わります。(25ページ参照)
⑨ 主表示／消灯スイッチ	●メニュー画面内のいずれかの画面が表示されているときに押すと、消灯画面、火災／ガス漏れ画面、トラブル画面、警報画面のいずれかの画面に切り替わります。 (最も優先順位の高い警報が発生している画面(警報が発生していないときは消灯画面)に切り替わります。(23ページ参照))
⑩ 防排煙作動灯(赤)	●防排煙(防火戸など)が作動すると点滅します。
⑪ 防排煙連動停止灯(赤)	●防排煙(防火戸など)が連動しない状態にあると点滅します。
⑫ 地区音響強制停止灯(赤)	●地区音響強制停止状態になっていると点滅します。(18ページ参照) (約1分間隔で「ブッ」音が鳴ります。)
⑬ 受信機音響強制停止灯(赤)	●火災音響、ガスもれ音響、機器作動音響(防排煙、諸警報)、トラブル音響の強制停止機能が作動していると点滅します。(17ページ参照)
⑭ スイッチ注意灯(赤)	●いずれかのスイッチが通常の状態でないとき、点滅します。
⑮ 交流電源灯(緑)	●点灯で交流電源が入っていることを知らせます。
⑯ トラブル灯(赤)	●受信機または配線に異常が起きた場合、点滅します。
⑰ 非常放送中灯(赤)	●非常放送設備のマイクスイッチを作動させると、点滅します。
⑱ 電話灯(赤)	●電話の呼び出し(プルル音)があると点滅します。
⑲ 蓄積中灯(赤)	●火災蓄積動作中に点灯します。
⑳ 発信機灯(赤)	●発信機の押ボタンが押されると点滅します。
㉑ ベル(地区音響)一時停止スイッチ(赤ランプ付)	●押すと、地区音響が一時的に止まり、スイッチ内のランプが点灯、スイッチ注意灯が点滅します。 ●一度止めても、以下のタイミングで、再び鳴動します。(19・20ページ参照) ●受信機内で設定された鳴動停止時間(自動解除時間TA)経過後。 (鳴動停止時間(自動解除時間(TA))の設定変更ができます。) (施工店または、点検契約店にご相談ください。) ●発信機が押された時、または、第2報の火災が発生したとき。
㉒ ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ	●押すと、ベル(地区音響)一時停止スイッチにより停止された地区音響は再び鳴動し、スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が消灯します。
㉓ 受信機音響停止スイッチ	●押すと、火災音響、ガスもれ音響、機器作動音響(防排煙、諸警報)、トラブル音響が止まります。 ●一度止めても、新たな信号が入れば、再び鳴動します。
㉔ 火災復旧スイッチ	●火災発生場所を復旧させた後に押すと、火災灯、液晶画面内の火災表示が消灯し、火災音響、地区音響が止まり、通常の監視状態に戻ります。
㉕ 火災断定スイッチ(赤ランプ付)	●火災発生時に3秒間押すと、すべての音響停止や連動停止が解除され、スイッチ内のランプが点灯します。 ●火災発生中でないときは、火災断定スイッチを押しても何も動作しません。

2. | ご注意

■下記のような場合は、消防法に適合しなくなったり、この設備が正常に機能しなくなるおそれがありますので、定期点検の時期まで待たずに、点検契約店に連絡してください。

増 改 築	修 繕	塗 り か え
●増築や改装をしたとき 	●建物を修繕したとき 	●天井や壁を塗りかえたとき 
設 備 工 事	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 工 事	天 災 被 害
●設備の工事をしたとき 	●電気・ガス・水道工事をしたとき 	●台風・雷・地震などの被害を受けたとき 

3. | お手入れ方法

警告



必ず守る

- 清掃時、受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認する。
正常な監視状態でないと火災・ガスもれ時に正しく動作しません。
(「4. 平常時の受信機の状態」(10ページ)を確認してください。)

■表面が汚れた場合は、次の方法で清掃してください。

●ふだんのおそうじは…

やわらかい布でふき取ってください。

●汚れが目立つときは…

中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、
固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。

〔化学ぞうきんをご使用のときは、
その注意書にしたがってください。〕



ベンジンなどは引火性があるため
使用しないでください。



4. 平常時の受信機の状態

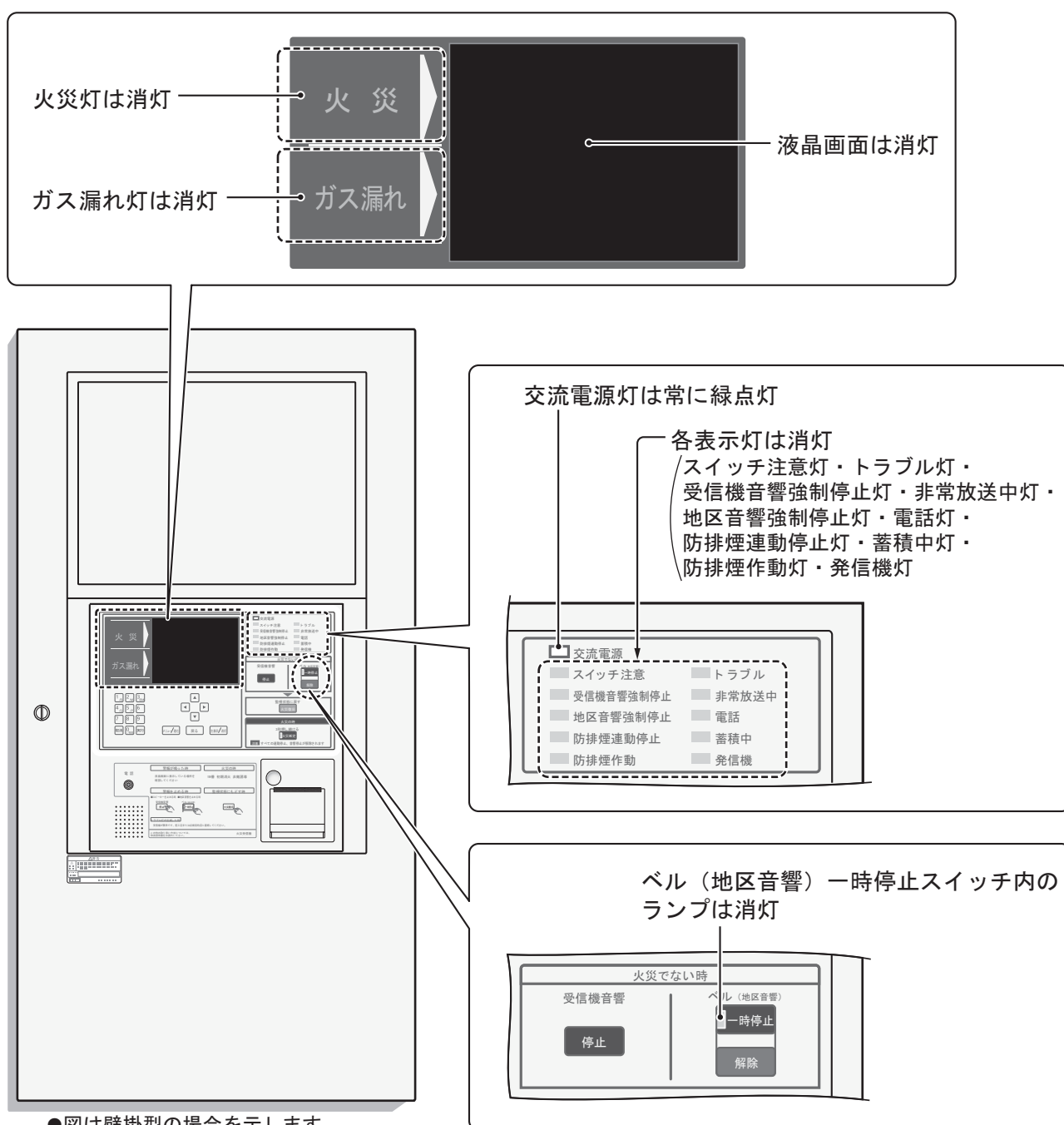

警告



必ず守る

- 受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認する。
正常な監視状態でないと火災・ガスもれ時に正しく動作しません。

- 火災・ガスもれが発生したとき、受信機が正常に動作するよう、平常時は下図の状態であることを確かめください。
平常時において下図のような状態とならない場合は、「14. 異常時の点検・処置」(71・72ページ)の内容を確認のうえ点検契約店にご連絡ください。



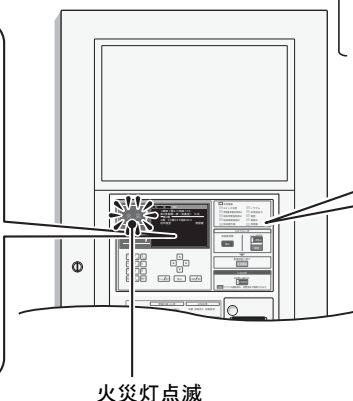
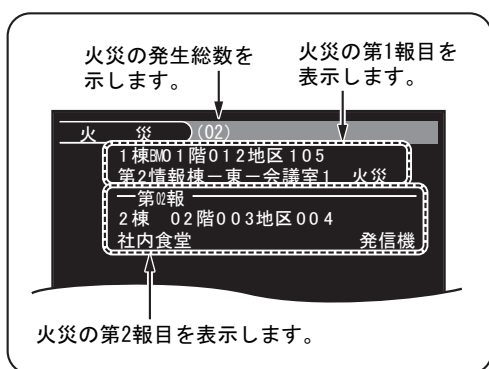
- 図は壁掛型の場合を示します。
(件名仕様により異なります。
詳しくは、機器の納入仕様書図を
ご確認ください。)

5. 受信機が警報した場合

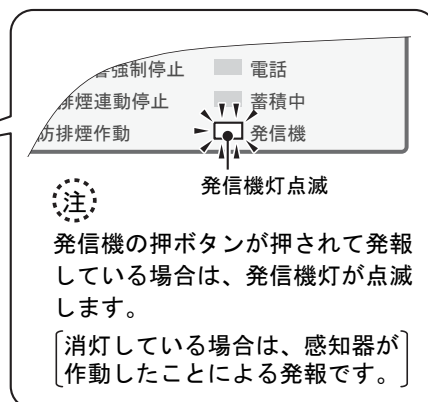
火災が発生すると液晶画面に警報場所が表示され、感知器が一定時間（10秒～約60秒）作動状態を継続すると火災灯が点滅し、火災音響が鳴動します。

火災音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

1 液晶画面の表示内容によってどこで火災が起きているか確かめます。



火災信号が入ったとき、液晶画面の表示で発報場所を表示します。2報目、3報目が入ってきて液晶画面の表示内容が増えても、表示では第1報目の表示内容を保持し現場確認の優先順位を示します。



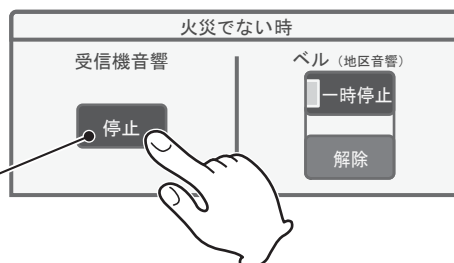
出火場所へ行き状況を確認する

火災でないとき

2 受信機音響停止スイッチを押し、火災音響を止める。

- 地区音響は鳴動しています。

受信機音響停止スイッチ



火災でないとき

火災のとき

火災のとき

2 火災の場合は…

- 119番に通報した後、避難誘導や初期消火など適切な処置をしてください。

- 火災断定スイッチを3秒間押し続けると、すべての音響停止や連動停止が解除され、スイッチ内のランプが点灯します。
(音響停止や連動停止にしていなければ操作不要です。)

3秒押し続ける



3 火災鎮火後、火災復旧スイッチを押して通常の状態に戻します。



- 防火戸用ロックがある場合は、防火戸用ロックをリセットしてください。

火災でないとき

感知器は火災でないときでも作動することがあります。

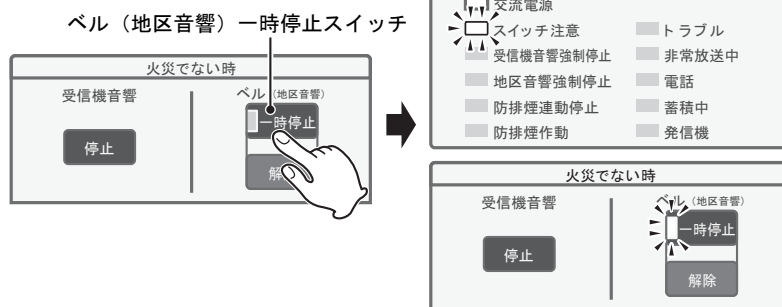
煙感知器 水蒸気・ホコリ・調理の煙などでも作動することがあります。
熱感知器 ストーブなど暖房の熱が直接当たったり、感熱部が変形すると作動することがあります。

3 ベル（地区音響）一時停止スイッチを押して、地区音響を止める。

●スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が点滅します。

〔注〕スイッチ内のランプとスイッチ注意灯は、自動解除時間（TA）（約2分間・約4分間・約6分間・約8分間）経過後に消灯し、地区音響が再び鳴動します。

（自動解除時間（TA）の設定については、53ページの「7.2. TA・TC設定」を参照してください。）



4 液晶画面の表示内容の警戒場所で、次の状況を確認処置する。

状況確認	処置
感知器が作動していないか？ （確認灯付感知器の場合、作動した感知器の確認灯が点灯します。）	作動した感知器から煙または熱を取り去ってください。
発信機の手ボタンが押されたままになっていないか？ （発信機灯が点滅しています。）	発信機の手ボタンを元に戻してください。

5 火災復旧スイッチを押し、火災灯・火災表示が消えるか確かめます。

●感知器の確認灯は消灯します。

※火災灯・火災表示が消えない場合はもう一度 4・5 の手順を繰り返してください。

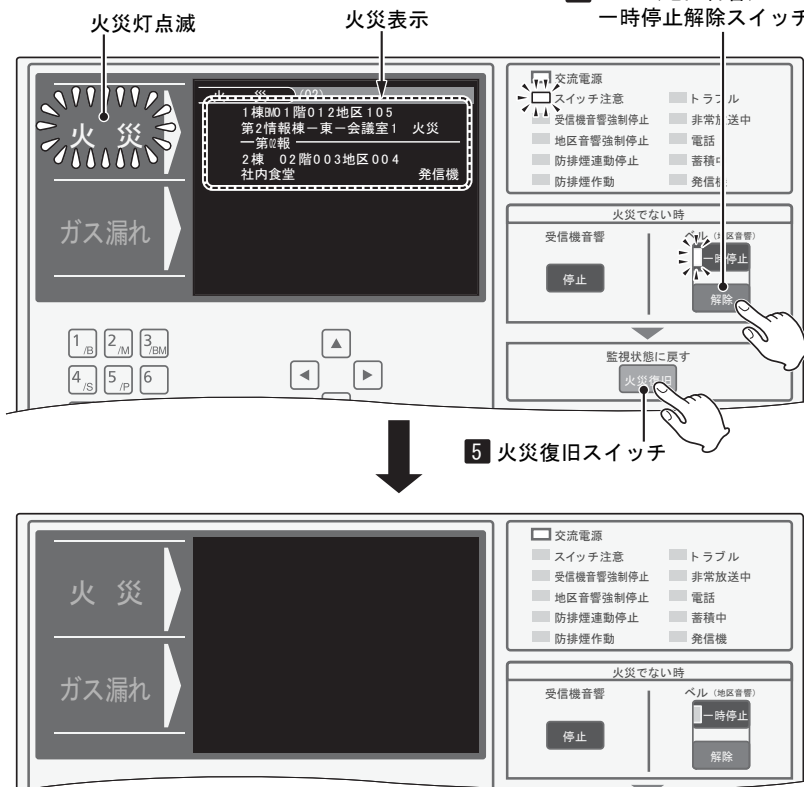
6 ベル（地区音響）一時停止解除スイッチを押す。

●ベル（地区音響）一時停止スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が消灯します。

●防火戸用ロックがある場合は、防火戸用ロックをリセットしてください。

7 通常の監視状態に戻ります。

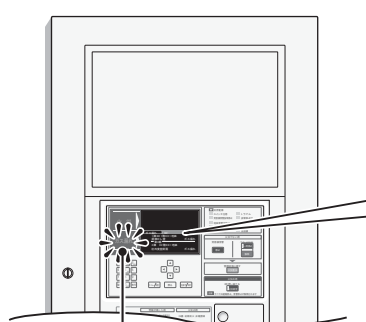
※火災灯・火災表示が消えない場合や処置できない場合は、点検契約店へご連絡ください。



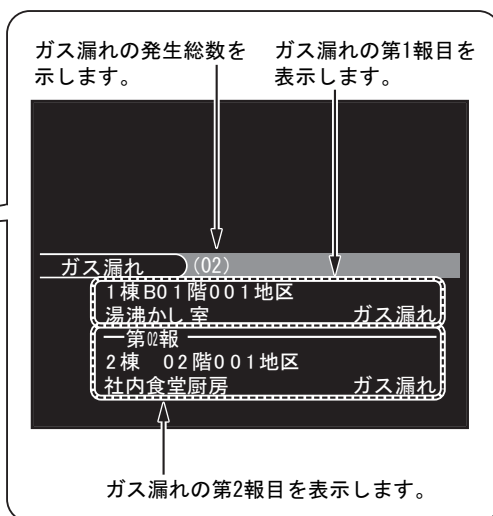
ガスもれが発生すると液晶画面に警報場所が表示され、ガスもれ検知器が約50秒間作動状態を継続するとガス漏れ灯が点滅し、ガスもれ音響が鳴動します。

ガス漏れ音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

- 1** 液晶画面の表示内容によって、どこでガスもれが起きているか確かめます。



ガス漏れ灯点滅



警報場所へ
行き状況を確認する

ガスもれ
のとき

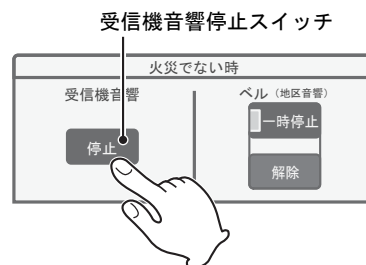
ガスもれでないとき

ガスもれでないとき

- 2** ① 受信機音響停止スイッチを押し、ガスもれ音響を止める。
② 液晶画面の表示内容の警戒場所で次の状況を確認め処置をする。

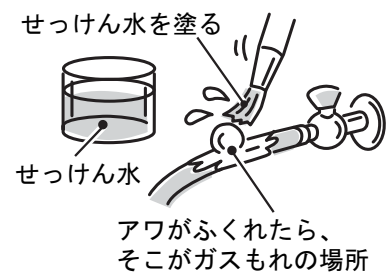
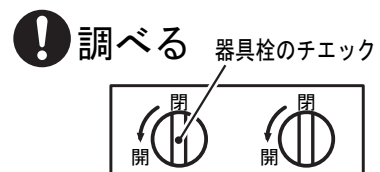
- みりん、しょう油、ワイン、酒の罐の蒸気などでブザーが鳴っていないか？
- 殺虫剤（くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤も含む）、化粧品などのスプレーでブザーが鳴っていないか？
- シンナー、ペンキなど可燃性の溶剤や塗料などで、ブザーが鳴っていないか？
- 濃厚なタバコの煙で、ブザーが鳴っていないか？

● ガスもれの原因が不明確で警報ブザーが停止しないときは、直ちに点検契約店またはガス取扱店へ連絡してください。



ガスもれのとき

- 2** ①まず、火を消してガスの元栓を閉めてください。
- ②ドアや窓を開けて換気をしてください。
もれたガスは空気より軽いので、室内の上部にたまっていますので、空気が流れるようにドアと窓を開けてください。
- ③ガスがなくなれば、ガスもれ検知器の警報ブザーは自動的に停止しますので、停止してからガスもれの個所を点検してください。
- 受信機はガスもれ検知器が復帰すると液晶画面、ガス漏れ灯、ガスもれ音響が復帰します。
- 注** ガスもれの原因として、点火ミス、立ち消え、器具栓が完全に閉まっていない、およびゴム管のひび割れなどが考えられます。
- ④ガスもれ検知器の警報ブザーが停止しないとき、または、警報ブザーが停止してもガスもれ個所がわからないときは、直ちに点検契約店またはガス取扱店に連絡してください。



★警報ブザーが鳴っている間

- マッチ、ライターなど火気は使用しないでください。
- 換気扇、扇風機、その他の電気製品のスイッチには一切触れないでください。
- ガスもれ検知器本体は取りはずさないでください。

危険！

火花などによる
爆発のおそれ
があります。

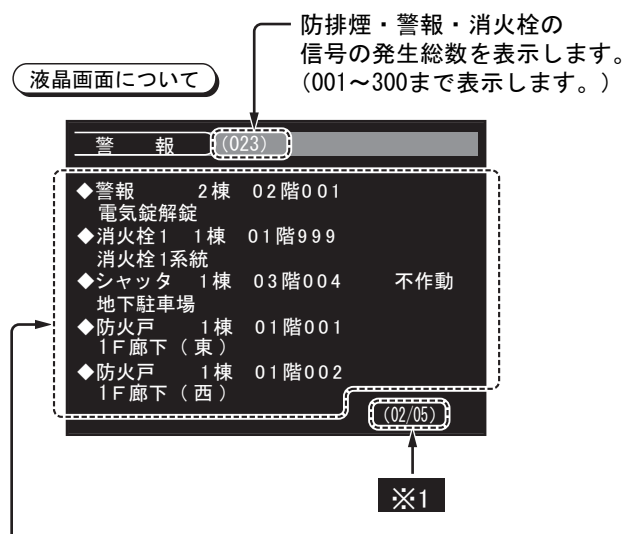
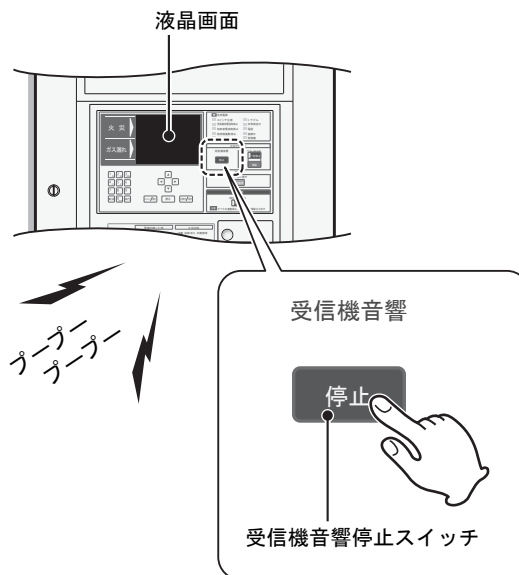
機器作動音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

1 受信機音響停止スイッチを押し、
機器作動音響を止める。

2 液晶画面の表示内容によって、
異常内容を確認する。

(  を押すことで画面のページ送り、
画面のページ戻りができます。)

3 異常が起きた場所の状況を確認し、
施工店または点検契約店へ連絡して
ください。



防排煙・警報・消火栓の詳細を1画面あたり5報まで、
時系列に表示します。



- 最大300報（最大60ページ分）までの信号
を表示することができます。
- 300報を超えた信号については表示されません。

※1 (02/05) について

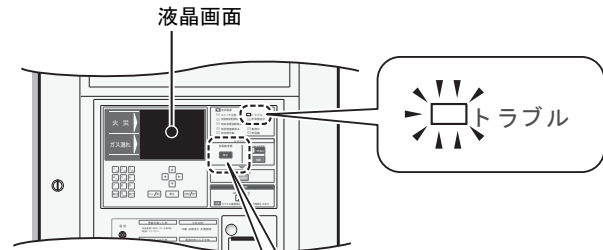
02 / 05

現在のページ
数を表示します。

総ページ数
を示します。
●最大60ページ（300報）
まで表示することができます。

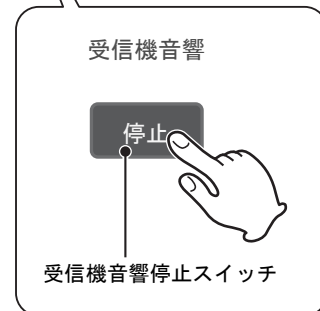
トラブル音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

- 1 受信機音響停止スイッチを押し、
トラブル音響を止める。



- 2 液晶画面の表示内容によって、
トラブル内容を確認する。

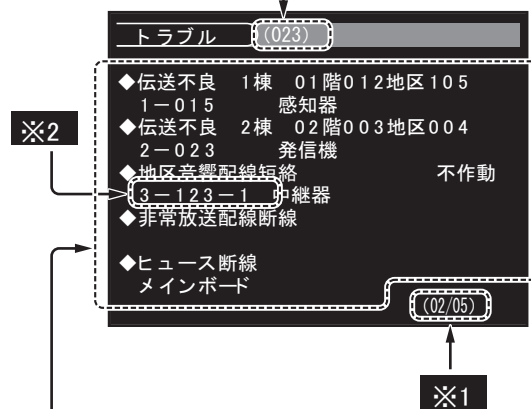
- トラブル灯が点滅し、液晶画面にトラブル内容が表示されます。
(を押すことで画面のページ送り、
画面のページ戻りができます。)
- トラブル内容については、「15. トラブル発生時の
点検・処置」(73・74ページ参照)を参照してくだ
さい。



- 3 警報時の処理を行う。

- 73・74ページを参照して処置を行うか、施工店
または点検契約店へ連絡してください。
(トラブル灯が消灯し、液晶画面に何も表示さ
れない状態になるまで処置をしてください。)

液晶画面について
トラブルの発生総数を表示します。
(001～999まで表示します。)



トラブルの詳細を1画面あたり5報まで、時系列に
表示します。

- 注 ●最大999報(最大200ページ分)までのトラブル表示
をすることができます。
●999報を超えたトラブルについては表示されません。

※1 (02/05) について

02 / 05
↑
現在のページ
数を示します。

総ページ数を示します。

- トラブル発生数が99ページ(495報)
を超えた場合は下記の表示になります。
01 / **

※2 ハード番号について

3-123-1

↑
中継器の回線を示します。
(1～4)

↑
端末アドレスを示します。
(001～255)

↑
NMASTシステムを示します。
(1～4)

受信機が警報した場合

6. 受信機音響強制停止状態について

●点検時、受信機からの火災音響、ガスもれ音響、機器作動音響、トラブル音響を鳴動させない場合に設定します。

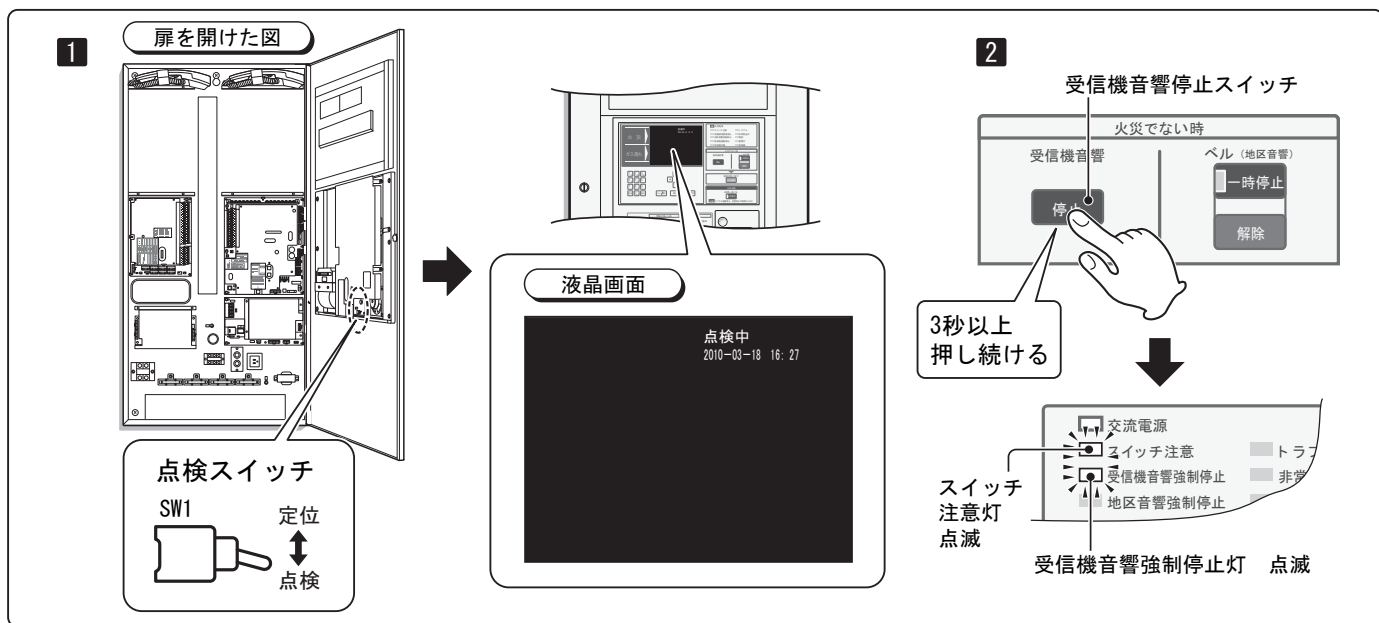
1 受信機の扉裏側の点検スイッチを「点検」側にする。

●スイッチ注意灯が点滅し、液晶画面に「点検中」を表示します。

2 受信機音響停止スイッチを3秒以上押し続ける。

●受信機音響強制停止灯が点滅したら、受信機音響停止スイッチを離してください。

3 受信機音響強制停止状態になります。



解除する場合

注 点検スイッチを「定位」側にするだけでも受信機音響強制停止状態は自動的に解除されます。

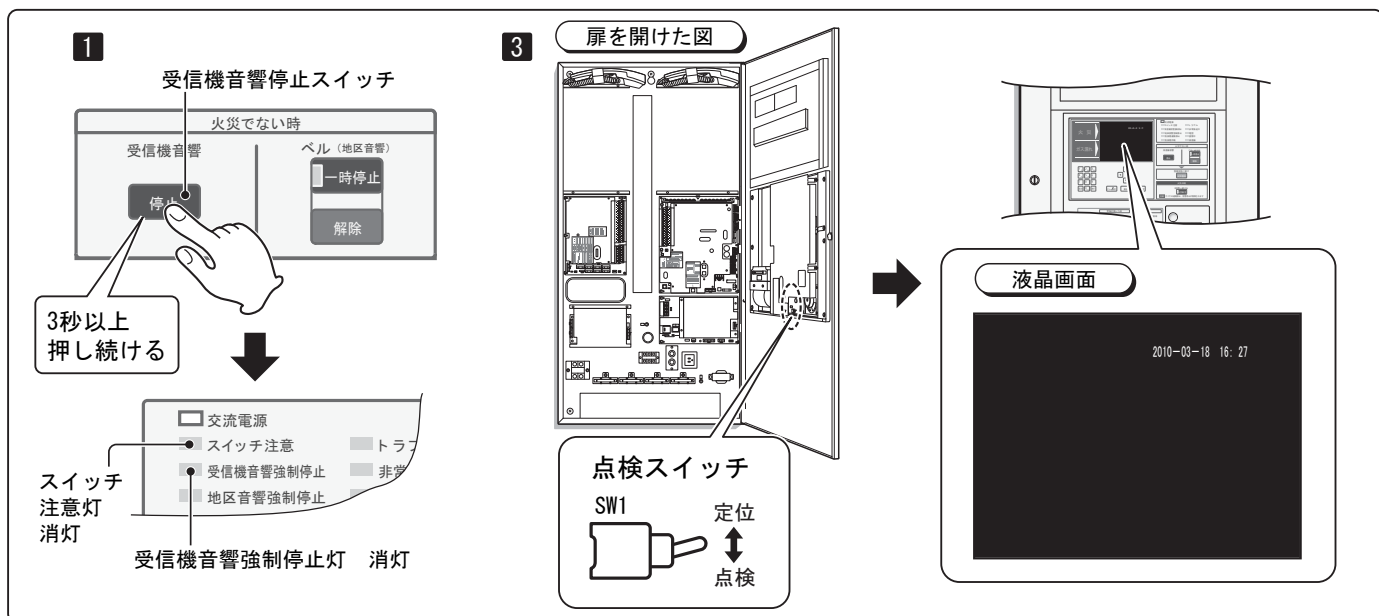
1 受信機音響停止スイッチを3秒以上押し続ける。

●受信機音響強制停止灯が消灯したら、受信機音響停止スイッチを離してください。

2 受信機音響強制停止状態が解除されます。

3 受信機の扉裏側の点検スイッチを「定位」側にする。

●スイッチ注意灯・液晶画面の「点検中」が消灯します。



7. 地区音響強制停止状態について

●点検時、地区音響を鳴動させない場合に設定します。

1 受信機の扉裏側の点検スイッチを「点検」側にする。

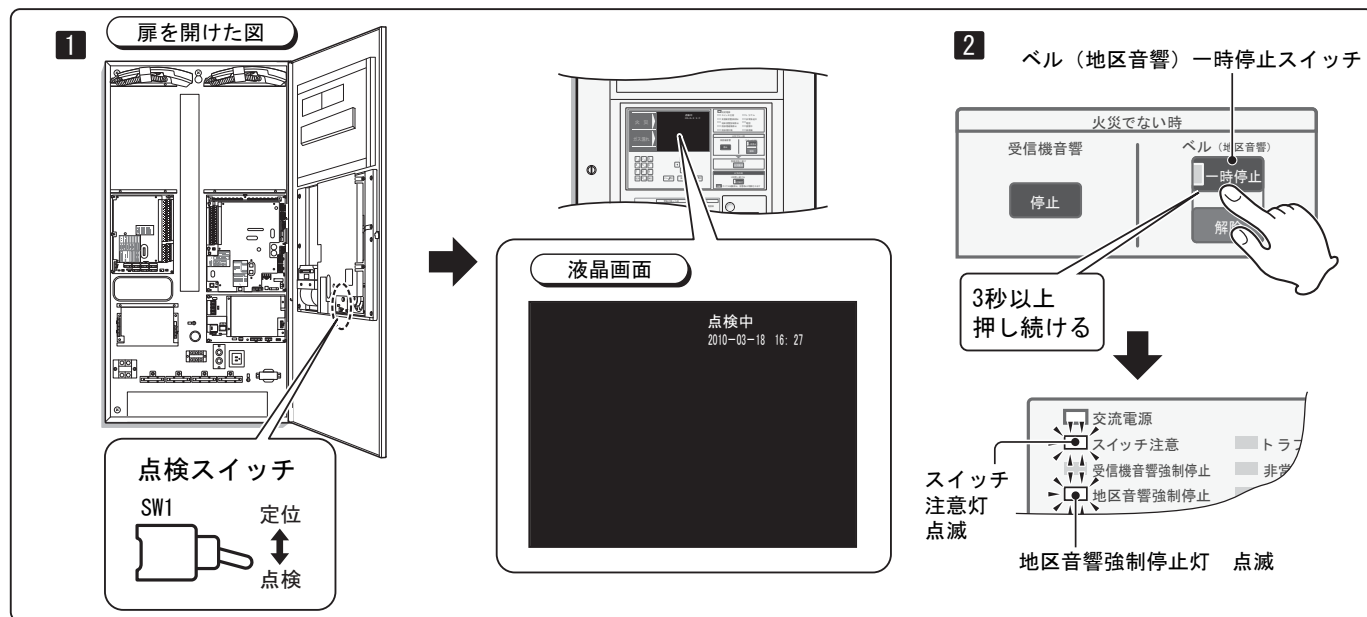
●スイッチ注意灯が点滅し、液晶画面に「点検中」を表示します。

2 ベル（地区音響）一時停止スイッチを3秒以上押し続ける。

●地区音響強制停止灯が点滅したら、ベル（地区音響）一時停止スイッチを離してください。

3 地区音響強制停止状態になります。

●約1分間隔でプッ音が鳴ります。



解除する場合

〔注〕点検スイッチを「定位」側にするだけでも地区音響強制停止状態は自動的に解除されます。

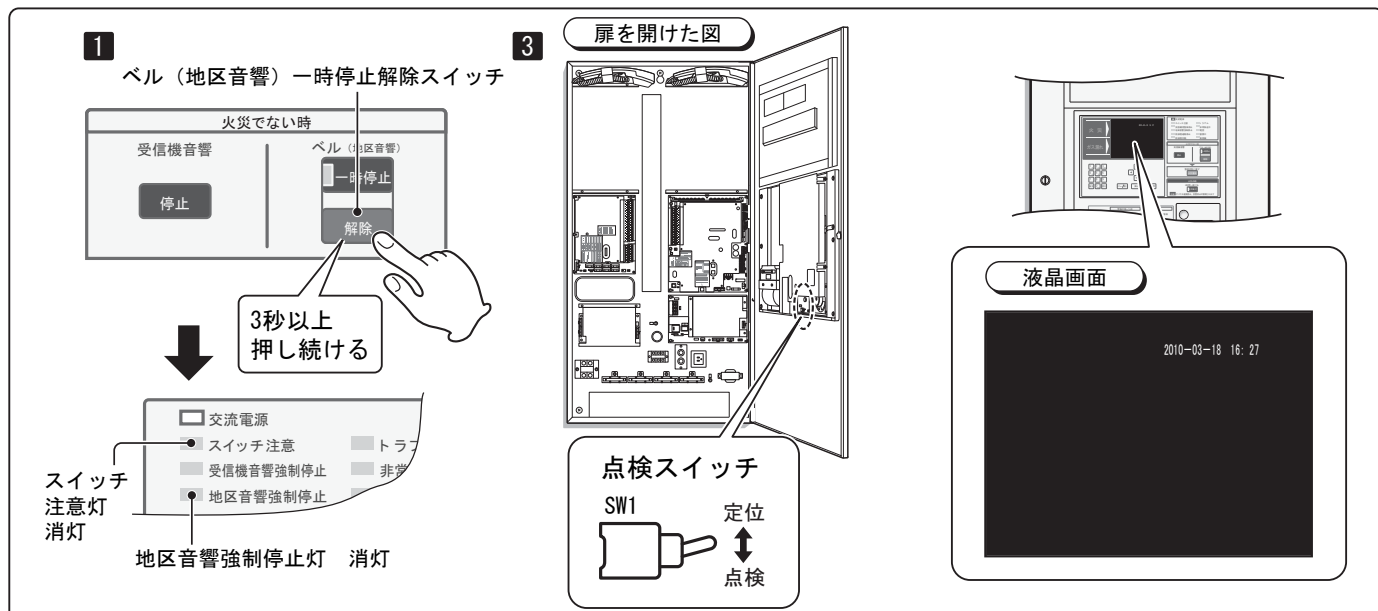
1 ベル（地区音響）一時停止解除スイッチを3秒以上押し続ける。

●地区音響強制停止灯が消灯したら、ベル（地区音響）一時停止解除スイッチを離してください。

2 地区音響強制停止状態が解除されます。

3 受信機の扉裏側の点検スイッチを「定位」側にする。

●スイッチ注意灯・液晶画面の「点検中」が消灯します。



受信機音響強制停止状態について・地区音響強制停止状態について

8. 火災時の地区音響一時停止動作・拡大警報動作について

■地区音響一時停止動作について

- 感知器が作動し、地区音響が鳴動しているときにベル（地区音響）一時停止スイッチを押すと地区音響が一時的に停止します。その後、受信機内で設定された時間（自動解除時間（TA））経過後に再度、地区音響が鳴動します。一時停止中に発信機の発報が入った場合、または第2報目の火災発報が入った場合は、自動解除時間（TA）中であっても自動的に解除します。

■拡大警報動作について

- 第1報目の火災発報を受信してから、受信機内で設定された時間（一斉鳴動移行時間（TC））経過後に全回線一斉鳴動へと移行します。発信機の発報が入った場合、または第2報目の火災発報が入った場合は、一斉鳴動移行時間（TC）中であっても全回線一斉鳴動します。

■自動解除時間（TA）の設定が「2分」、一斉鳴動移行時間（TC）の設定が「6分」の場合

- 自動解除時間（TA）・一斉鳴動移行時間（TC）の設定については、53ページの「2 TA・TC設定」を参照してください。

1 感知器が作動する。

- 火災音響・地区音響が鳴動し、火災灯は点滅、液晶画面は火災表示します。

2 受信機音響停止スイッチを押す。

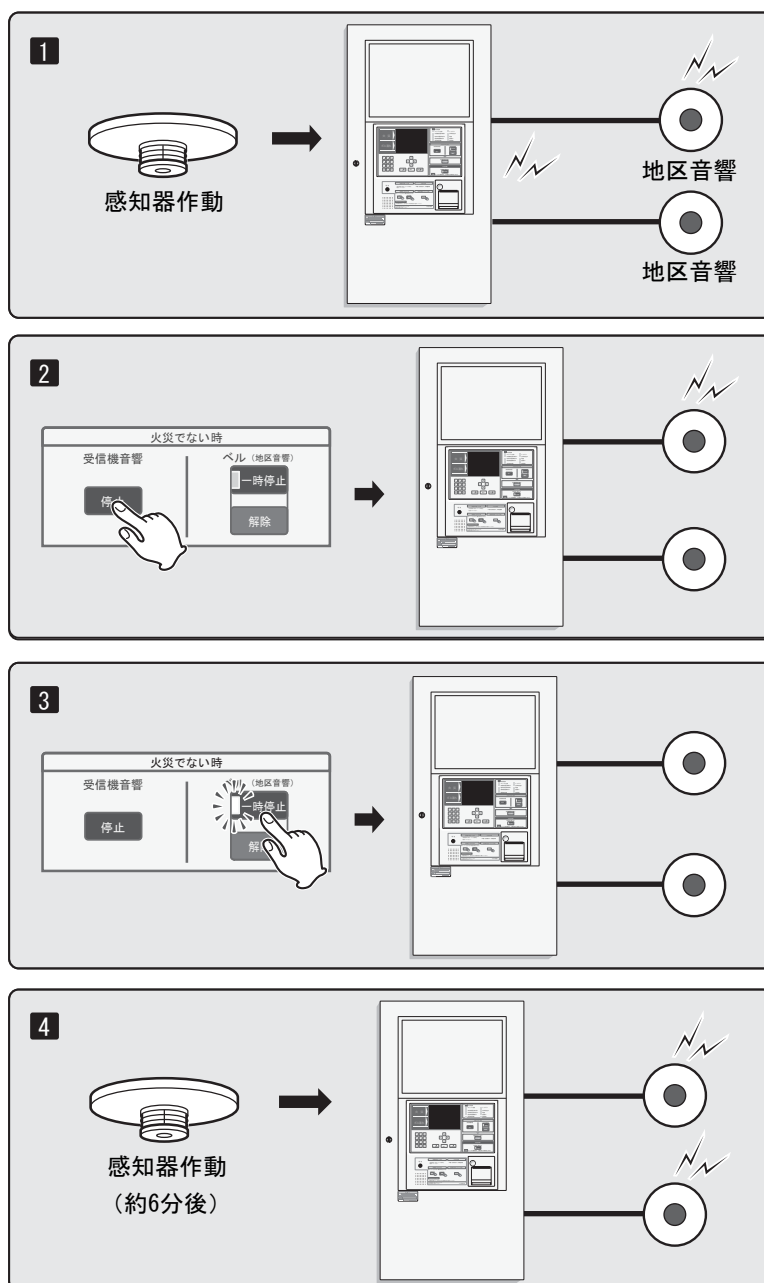
- 火災音響は停止し、火災灯は点滅、液晶画面は火災表示しています。
- 地区音響は鳴動しています。

3 ベル（地区音響）一時停止スイッチを押す。

- 地区音響が停止し、スイッチ内のランプが点灯します。約2分後に再び鳴動します。再度、押すと地区音響が停止し、約2分後に再び鳴動します。

4 感知器が作動してから約6分後に地区音響が一斉鳴動します。

- 地区音響一時停止中に約6分経過した場合、地区音響一時停止解除後に地区音響が一斉鳴動します。
- 発信機の手ボタンが押されると地区音響が全回線一斉鳴動します。



■自動解除時間（TA）の設定が「2分」、一斉鳴動移行時間（TC）の設定が「移行しない（OFF）」の場合

- 自動解除時間（TA）・一斉鳴動移行時間（TC）の設定については、53ページの「2 TA・TC設定」を参照してください。

1 感知器が作動する。

- 火災音響・地区音響が鳴動し、火災灯は点滅、液晶画面は火災表示します。

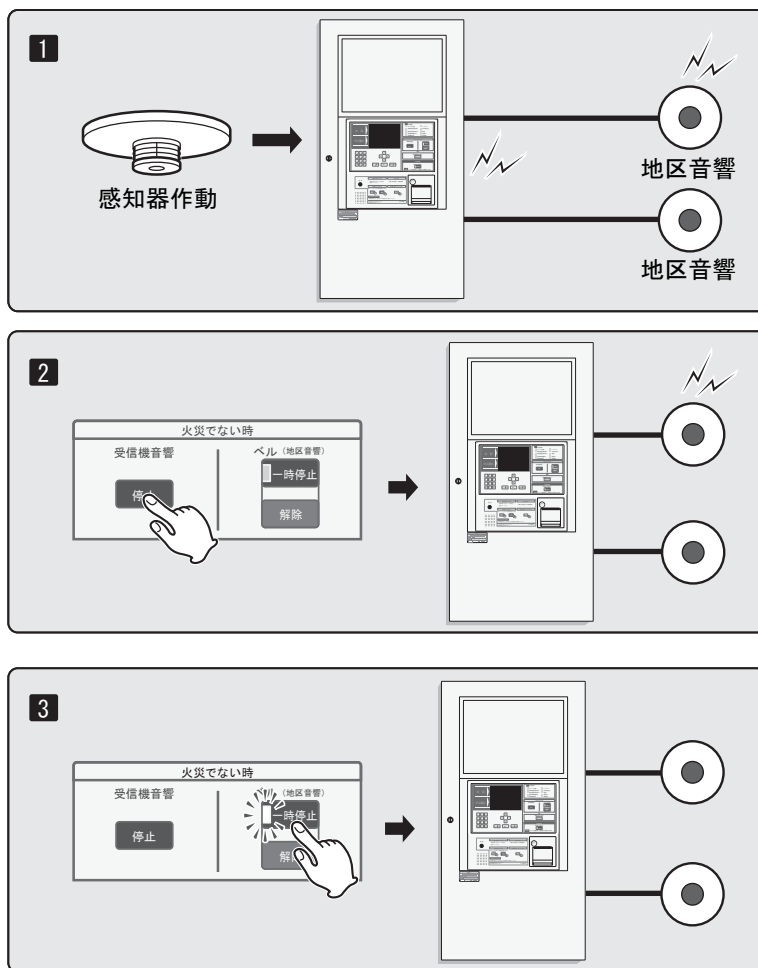
2 受信機音響停止スイッチを押す。

- 火災音響は停止し、火災灯は点滅、液晶画面は火災表示ます。
- 地区音響は鳴動しています。

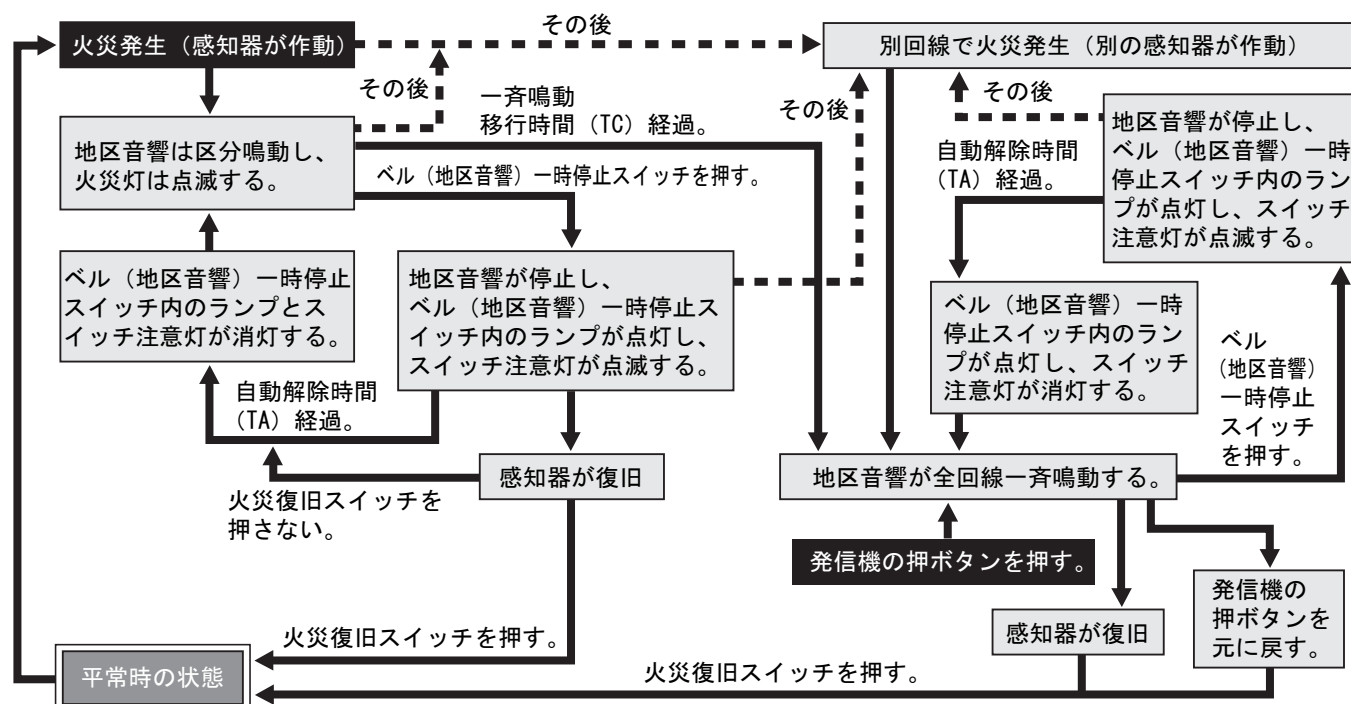
3 ベル（地区音響）一時停止スイッチを押す。

- 地区音響が停止し、スイッチ内のランプが点灯します。約2分後に再び鳴動します。再度、押すと地区音響が停止し、約2分後に再び鳴動します。
- 地区音響一斉鳴動状態へは、移行しません。

- 一斉鳴動移行時間（TC）の設定が「移行しない（OFF）」の場合は、発信機の押ボタンを押しても地区音響が一斉鳴動にはなりません。この場合は、区分鳴動動作をします。



■地区音響の鳴動／停止の動作について



火災時の地区音響一時停止動作・拡大警報動作について

9. 電話機の使い方

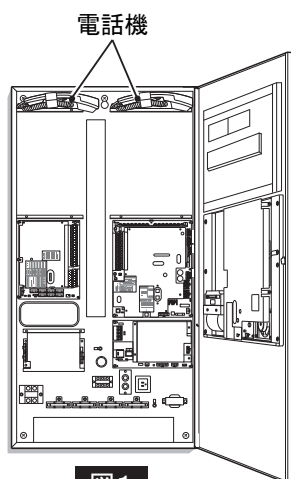


図1

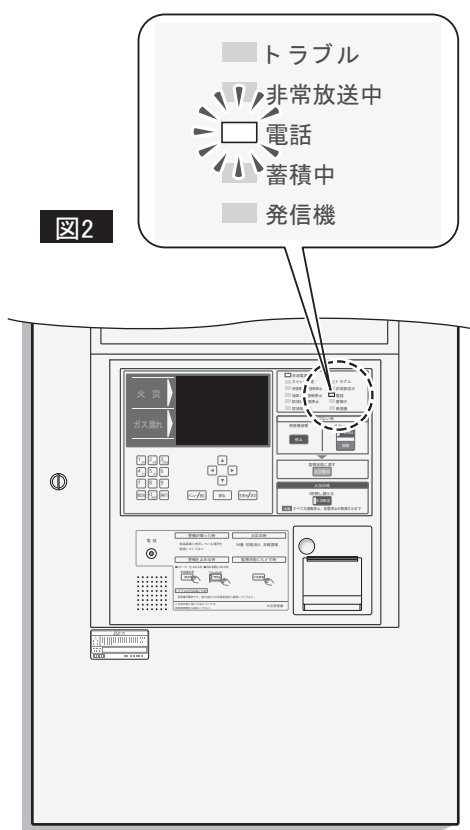


図2

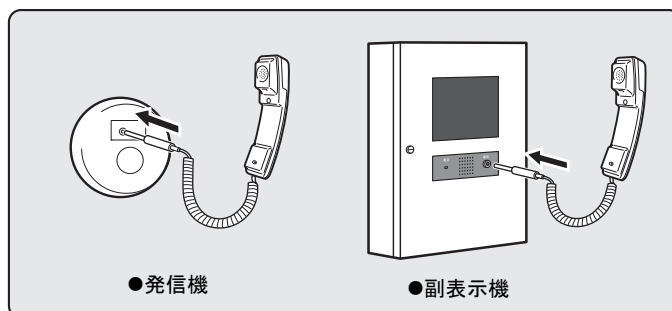
- 注**
- 電話の呼び出しがない状態では、受信機の電話ジャックにプラグを差し込まないでください。（呼出音が鳴動しません。）
 - この電話機では、消防署への通報はできません。

火災状況の確認などの連絡ができます

電話機の使い方

受信機と発信機間または受信機と副表示機間で、火災状況の確認など電話連絡ができます。

- 1 電話機は本体内に収納されているか（**図1参照**）、収納袋（別売）に収納され受信機の近くに吊り下げられています。
- 2 電話機のプラグを、発信機または副表示機の電話ジャックに差し込みます。



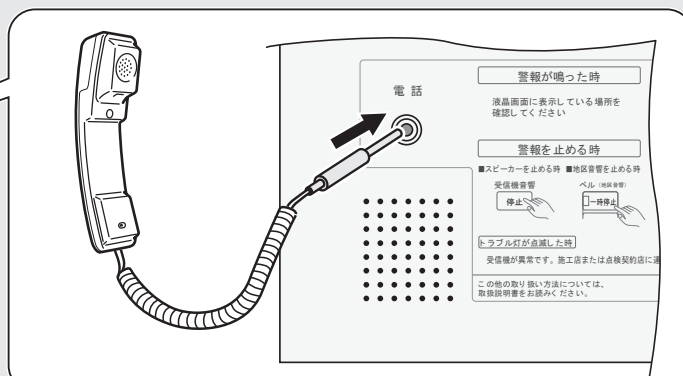
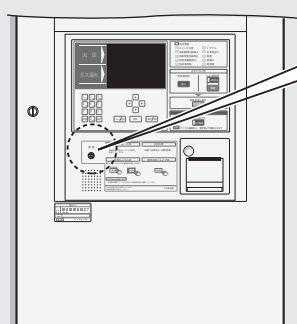
- 3 受信機の電話音響が自動的に鳴り、電話の呼び出しを知らせます。

●電話灯が点滅します。**図2参照**

- 4 電話ジャックにプラグを差し込めば、そのまま通話できます。**図3参照**

●電話音響は自動的に止まります。

図3



⚠ 注意



必ず守る

- 日常、次の点検を行う。
緊急時の操作に支障をきたしたり、不動作、作動遅れ、誤動作の原因となります。

受信機

- 「4. 平常時の受信機の状態」に保たれているか？（10ページ参照）
- 近くに、操作の支障となる障害物が置かれていないか？

感知器

- 変形、割れなどがいないか？
- ペンキなどで塗装されていないか？
- ビニールテープなどが貼り付けられていないか？
- 煙感知器の場合、クモの巣・ホコリなどがついていないか？
- 熱感知器の場合、下にストーブなどの熱源が置かれていないか？
- 火災の感知を妨げる障害物がいないか？
- 下に多量に煙の発するものを使用していないか？
- 空気管が切れたり、つぶれたりしていないか？

ガスもれ検知器

- 変形、割れ、著しい汚れなどがいないか？
- 有効期限を過ぎていないか？

発信機

- 変形、損傷などがいないか？
- 近くに、操作の支障となる障害物が置かれていないか？

表示灯

- ランプが消えていないか？
- カバーの割れ、亀裂はないか？

ガスもれ表示灯

- ランプが切れていないか？
- カバーの割れ、亀裂はないか？

地区音響

- 変形、損傷などがいないか？

防火戸用ロック

- 損傷していないか？
- 防火戸が閉じる範囲内に障害物が置かれていないか？

機器に異常が見つかった場合は、点検契約店へご連絡ください。

11. 液晶画面について

■ 通常時の画面（待機画面）

「点検中」表示

- 受信機の扉裏側の点検スイッチ（26ページ）が「点検」側するとき「点検中」を表示します。スイッチ注意灯が点滅します。

「試験復旧」表示

- 各種試験画面（37ページ）で「1 試験復旧」をONにすると「試験復旧」を表示します。（スイッチ注意灯が点滅します。）



現在時刻表示

- 現在の時刻が表示されます。

注 防排煙、諸警報についてはテーブルで音響の有無が設定できます。火災、ガスもれ以外は受信機操作を行わないと液晶バックライトがONしません。

◆音響「無」のとき

液晶バックライトがONしないため自動表示なしの動作になります。

◆音響「有」のとき

受信機音響停止スイッチを押したときに液晶バックライトがONになり、その警報が表示されます。

下記の4つの状態のいずれかを表示します。

- 表示には優先順位がついています。

1 火災・ガス漏れ表示	火災・ガスもれが発生しているとき
2 トラブル表示	トラブルが発生しているとき
3 警報表示	機器が作動（防排煙・警報・消火栓）したとき
4 消灯	平常時

- 各警報（表示）が同時に発生した場合の動作は次のようになります。

後から発生した警報（表示）の優先順位が高いとき

後から発生した警報（表示）（優先順位の高い警報（表示））に変わります。

後から発生した警報（表示）の優先順位が低いとき

はじめに発生した警報（表示）（優先順位の高い警報（表示））が継続します。

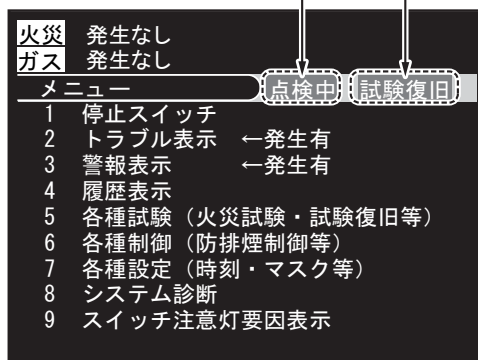
■ メニュー画面

「点検中」表示

- 受信機の扉裏側の点検スイッチ（26ページ）が「点検」側するとき「点検中」を表示します。スイッチ注意灯が点滅します。

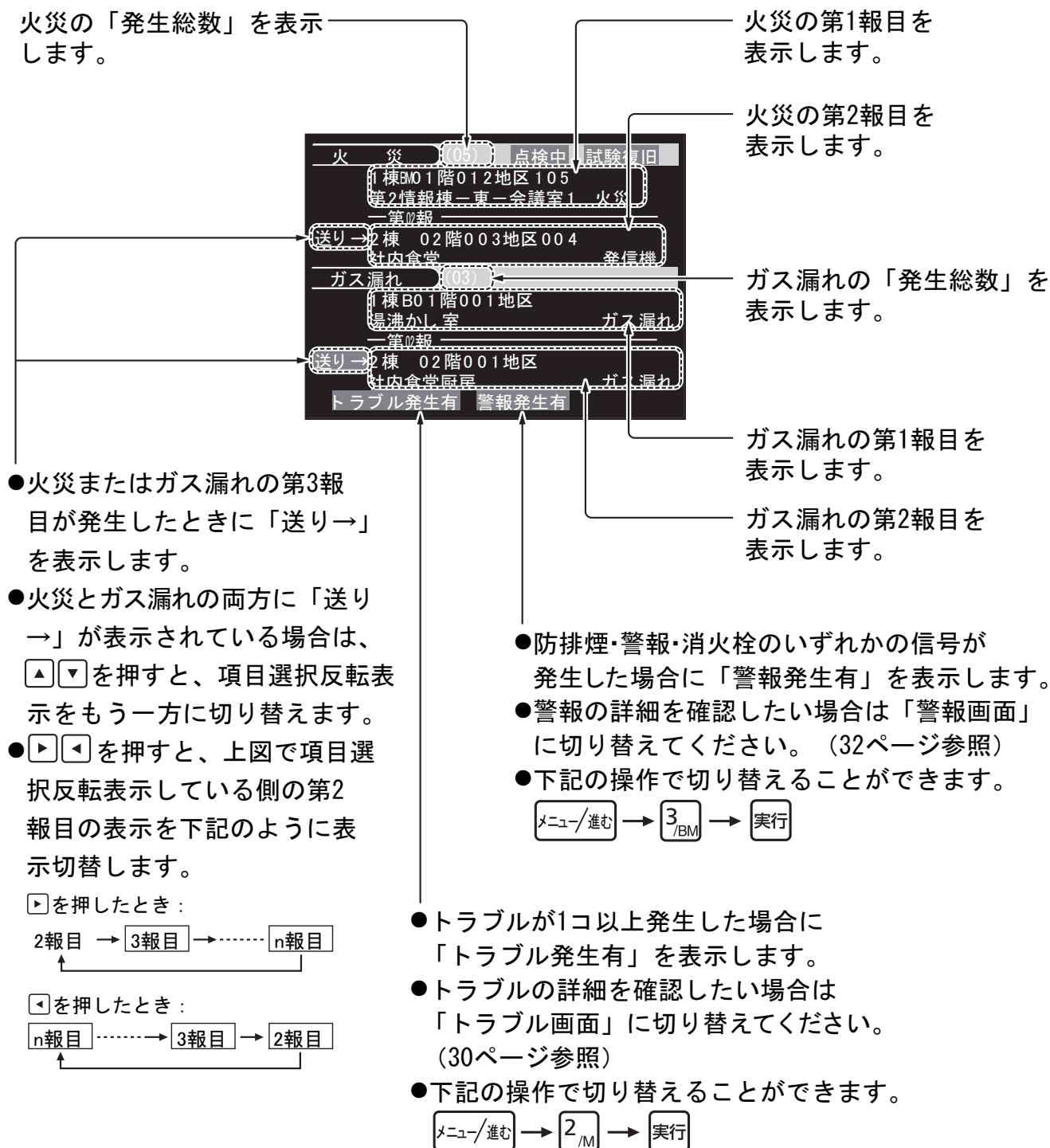
「試験復旧」表示

- 各種試験画面（37ページ）で「1 試験復旧」をONにすると「試験復旧」を表示します。（スイッチ注意灯が点滅します。）



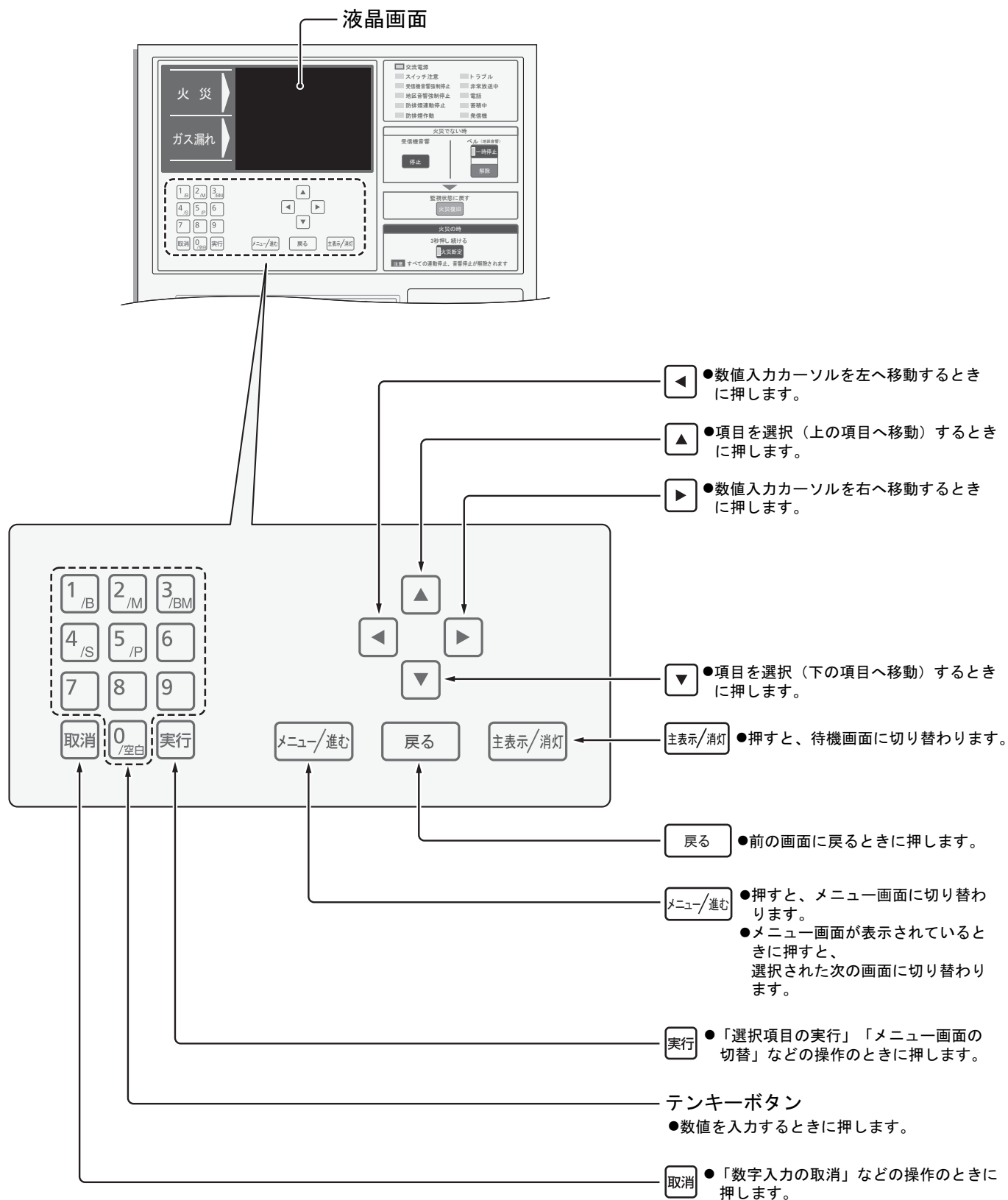
■ 警報発生時の画面

〔例〕 下図は、火災警報・ガスもれ警報・トラブル警報・警報が同時に発生した場合を示します。



各項目の設定を開始するには

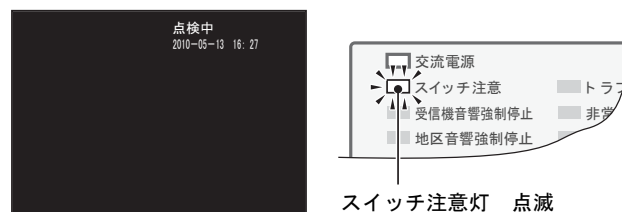
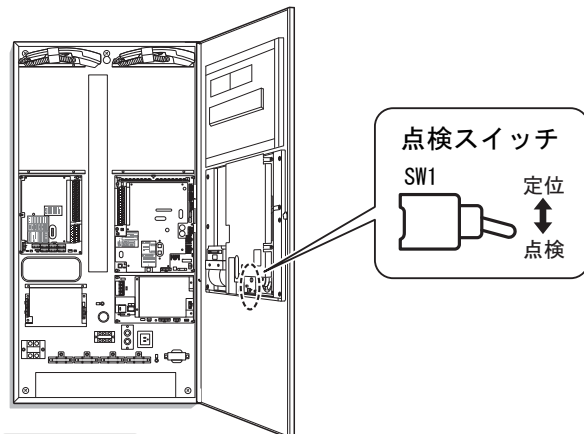
●画面操作時の各ボタンのなまえとはたらき



操作方法

注 11分以上操作しない状態が続くと画面が消灯します。
ただし、火災またはガスもれが発生しているときは画面は消灯しません。

! 点検スイッチを「点検」側にしなくても液晶画面内の各種操作は行えます。ただし、火災またはガスもれが発生したときに、強制的に火災/ガス漏れ画面に切り替わるため、「点検」側にして設定することをご推奨します。



1 受信機の扉裏側の点検スイッチを「点検」側にする。

- 液晶画面に「点検中」が表示され、スイッチ注意灯が点滅します。
- 受信機音響の強制停止操作が可能になります。(17ページ参照)
- 地区音響の強制停止操作が可能になります。(18ページ参照)

注 メニュー画面が表示されているときに、火災またはガスもれが発生しても、強制的な火災/ガス漏れ画面への画面切替が行われなくなります。

待機画面



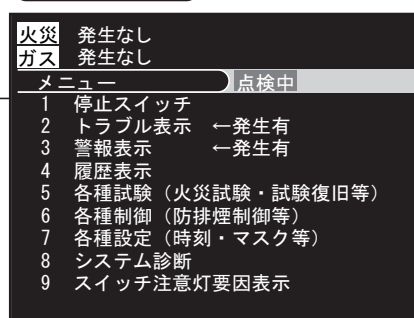
2 **メニュー/進む** を押す。

3 設定したい項目を選択する。

➡ 28ページ～59ページ

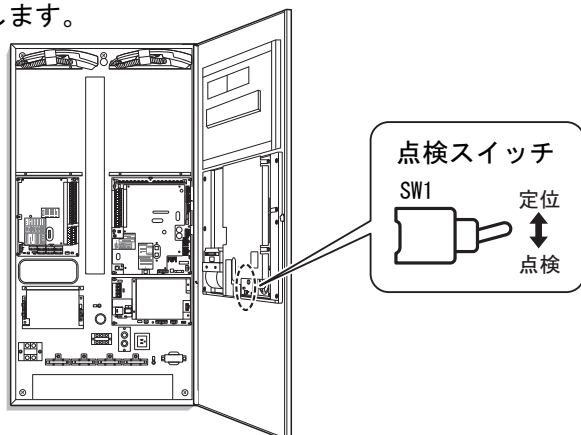
- **▼** **▲** で選択し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。

メニュー画面



4 操作が完了したら受信機の扉裏側の点検スイッチを「定位」側にする。

- 液晶画面の「点検中」表示、スイッチ注意灯が消灯します。



液晶画面



11. 液晶画面について

項目内容と各画面の階層構成

第0階層	
消灯画面	10ページ
火災／ガス漏れ画面	11・13ページ
トラブル画面	15ページ
警報画面	16ページ



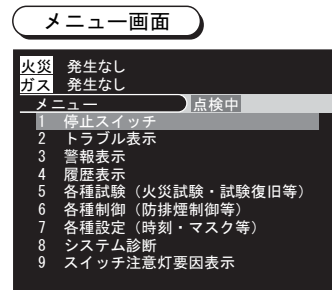
第0階層		第1階層		第2階層		第3階層	
メニュー画面	24ページ	1 停止スイッチ画面	28ページ	——	——	——	——
		2 トラブル画面	30ページ	1 トラブル印字画面	31ページ		
		3 警報画面	32ページ	——	——		
		4 履歴画面	33ページ	1 経過画面	34ページ		
				2 火災履歴画面	34ページ		
				3 警報履歴画面	35ページ		
				4 試験履歴画面	35ページ		
				5 履歴印字画面	36ページ		
		5 各種試験画面	37ページ	4 火災試験画面	38ページ		
		1 試験復旧		5 ガス漏れ試験画面	39ページ		
		2 火災蓄積解除		6 一斉試験画面	40ページ		
		3 ガス漏れ遅延解除		7 電池試験画面	41ページ		
		6 各種制御画面	43ページ	2 防排煙作動制御画面 (種別選択)	45ページ	1 防排煙作動制御画面	45ページ
		1 地区音響一斉鳴動		3 防排煙復帰制御画面 (種別選択)	46ページ	1 防排煙復帰制御画面	46ページ
				4 中継器移行画面 (種別選択)	47ページ	1 中継器移行画面	47ページ
				5 受信機移行画面 (種別選択)	48ページ	1 受信機移行画面	48ページ
				6 アイソレータ接続画面	49ページ	——	——
				7 NMAST切離し画面	50ページ		
		7 各種設定画面	51ページ	1 時刻設定画面	52ページ		
				2 TA・TC設定画面	53ページ		
				3 マスク設定1画面 (種別選択)	54ページ	1 マスク設定1画面	55ページ
				4 マスク設定2画面 (種別選択)	56ページ	1 マスク設定2画面	57ページ
				5 マスク解除画面	58ページ	1 マスク印字画面	59ページ
		8 システム診断画面	61ページ	1 受信機診断画面	61ページ	——	——
				2 NMAST診断画面 (系統選択)	62ページ	1 NMAST診断画面	62ページ
				3 感知器汚れ診断画面	62ページ	——	——
				4 感知器汚れ印字画面	63ページ	——	——
				5 推奨電源切操作画面	64ページ	1 再起動画面	64ページ
		9 スイッチ注意要因画面	65ページ	——	——	——	——

12. 点検・設定方法

1 停止スイッチ

操作方法

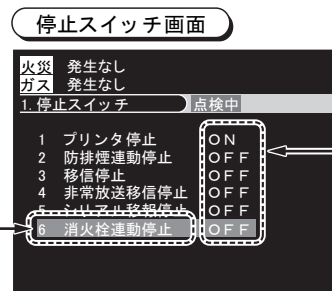
- 1 メニュー画面の **1 停止スイッチ** を
▲▼で選択し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。
または、**1/B** を押し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。



2 停止スイッチ画面の **1 プリンタ停止**

- 2 防排煙連動停止** **3 移信停止**
4 非常放送移信停止 **5 シリアル移報停止**
6 消火栓連動停止 を ▲▼ で選択する。

または、各項目の左端の番号 (**1** ~ **6**)
のいずれかを押す。



ON表示は、
停止状態
OFF表示は、
停止解除状態を
示します。

- 注: ●件名テーブル設定において「消火栓多系統増設ユニット：有」に設定されている場合は、この項目は表示されません。
●件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

番号	項目	内容
1	プリンタ停止	●このスイッチをONにすると、プリンタに「プリンタ停止」を印字した後に、それ以降のプリンタ印字を停止します。 ●プリンタ停止中に発生したイベント（現象）の印字情報はすべて破棄されます。
2	防排煙連動停止	●このスイッチをONにすると、防排煙中継器・防排煙遠隔復帰中継器からの出力が、すべて停止（OFF）します。（連動がかかっても出力されません。） ●手動制御（※1）により出力された回線については停止しません。 ●防排煙連動停止中に発生した連動情報はすべて記憶しており、防排煙連動停止解除時に出力します。 ●防排煙連動停止中であっても、手動制御（※1）については、そのまま出力します。
3	移信停止	●このスイッチをONにすると、件名テーブルで「移信」に設定された受信機の非常放送移信（EA1～EA15）・代表増設移信（Fa2、Fb2、Fc2）（Fa3、Fb3、Fc3）・移信中継器からの出力が、すべて停止（OFF）します。（件名テーブルで「非常放送」「移信（移信停止無効）」に設定された回線は、連動がかかると出力されます。） ●手動制御（※2）により出力された回線については停止しません。 ●移信停止中に発生した連動情報はすべて記憶しており、移信停止解除時に出力します。 ●移信停止中であっても、手動制御（※2）については、そのまま出力します。 ●受信機の以下の代表移信は、このスイッチをONにしても、出力OFFとなりません。（※3） ●非常放送火災確認（EF、EC）・火災代表（Fa1、Fb1、Fc1）・ガス漏れ代表（GFa、GFc）・トラブル代表（Ta、Tb、Tc）・ガス故障代表（GTa、GTc）
4	非常放送移信停止	●このスイッチをONにすると、件名テーブルで「非常放送」に設定された受信機の非常放送移信（EA1～EA15）・代表増設移信（Fa2、Fb2、Fc2）（Fa3、Fb3、Fc3）・移信中継器からの出力が、すべて停止（OFF）します。（件名テーブルで「移信」「移信（移信停止無効）」に設定された回線は、連動がかかると出力されます。） ●手動制御（※1）により出力された回線については停止しません。 ●非常放送移信停止中に発生した連動情報はすべて記憶しており、非常放送移信停止解除時に出力します。 ●非常放送移信停止中であっても、手動制御（※2）については、そのまま出力します。
5	シリアル移報停止	●このスイッチをONにすると、それ以降の副表示機へのイベント（現象）の送信を停止します。 ●シリアル移報停止中に発生したイベント（現象）はすべて記憶しており、シリアル移報停止解除時に送信します。
6	消火栓連動停止	●このスイッチをONにすると、消火栓始動出力（H1-1、H2-1）（H1-2、H2-2）の連動が停止（OFF）します。 ●手動制御（※4）により出力させた場合は停止しません。 ●消火栓連動停止中に連動が発生した場合は記憶しており、消火栓連動停止解除時に出力します。 ●消火栓連動停止中であっても、手動制御（※4）については、そのまま出力します。

※1：手動制御については、「防排煙作動制御画面」（45ページ参照）を参照してください。

※2：手動制御については、「中継器移信画面」（47ページ参照）・「受信機移信画面」（48ページ参照）を参照してください。

※3：これらの代表移信を移信停止スイッチ操作により出力OFFとさせたい場合は、以下としてください。

- 件名テーブル設定において、代表増設移信（Fa2、Fb2、Fc2）（Fa3、Fb3、Fc3）を「移信停止代表」に設定して、この端子（b接点）を経由させて配線する。

- 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

※4：手動制御については、「受信機移信画面」（48ページ参照）を参照してください。

3 1 プリンタ停止 を選択した場合

ON/OFFの変更方法

① ◀ ▶ を押して、「ON」「OFF」の表示を変更する。

② 実行 を押す。

●スイッチの状態が変更され、項目の反転表示が1つ下に移動します。



● 実行 を押さないとスイッチの状態は変更されません。

● 実行 を押す前に項目の反転表示を移動させると、「ON」「OFF」の表示は、元のスイッチの状態に戻ります。

●スイッチの状態を保持したい場合は、戻る または メニュー/進む を押して、別の画面に切り替えてください。

● 1 プリンタ停止 以外のスイッチの状態は受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしても保持されます。

停止スイッチ画面

火災 発生なし

ガス 発生なし

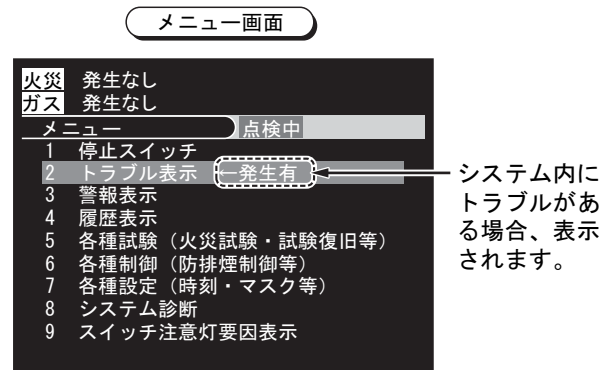
1. 停止スイッチ 点検中

1	プリンタ停止	OFF
2	防排煙連動停止	OFF
3	移信停止	OFF
4	非常放送移信停止	OFF
5	シリアル移報停止	OFF
6	消火栓連動停止	OFF

2 トラブル表示

操作方法

- 1 メニュー画面の 2 トラブル表示 を
 ▼ ▲ で選択し、メニュー/進む または 実行 を押す。
 または、2/M を押し、メニュー/進む または
 実行 を押す。



2 システム内のトラブルが表示される。

●トラブルの詳細については、73・74ページを
 参照してください。

- ▼ ▲ を押すことで画面のページ送り、画面のペー
 ジ戻りができます。

※1 (02/05) について

02 / 05
 ↑ ↑
 現在のページ 総ページ数を示します。
 数を表示します。 ●トラブル発生数が99ページ
 (495報)を超えた場合は下
 記の表示になります。
 01 / **

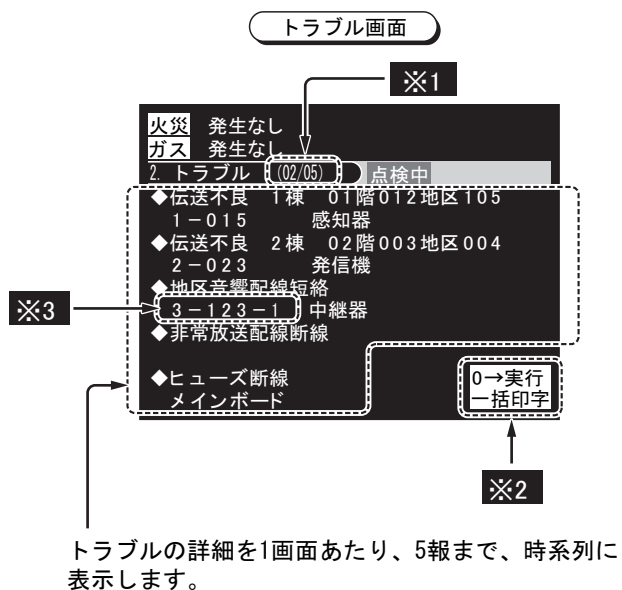
※2 0→実行一括印字 について

- トラブルをリスト化して印字したい場合、
 「トラブル印字画面」に切り替えてください。
 (31ページ参照)
 ●下記の操作で切り替えることができます。

0 / 空白 → 実行

※3 ハード番号について

3-123-1
 ↑ ↑ ↑
 中継器の回線を示します。(1~4)
 端末アドレスを示します。(001~255)
 NMAST系統を示します。(1~4)



- 最大999報（最大200ページ分）までのトラブル表示
 をすることができます。
 ●999報を超えたトラブルについては表示されません。

トラブル印字

操作方法

1 2 トラブル表示 画面で 0 7/空白 を押し

実行 を押す。

トラブル画面

火災	発生なし
ガス	発生なし
2 トラブル	(02/05) 点検中
◆伝送不良	1棟 01階012地区105
	1-015 感知器
◆伝送不良	2棟 02階003地区004
	2-023 発信機
◆地区音響配線短絡	
	3-123- 中継器
◆非常放送配線断線	
◆ヒューズ断線	
メインボード	
	0→実行 一括印字

2 トラブル印字画面の 1 システム一括印字

2 1系統目一括印字

3 2系統目一括印字

4 3系統目一括印字

5 4系統目一括印字

6 一括印字中止

のいずれかを ▼ ▲ で
選択し 実行 を押す。または、各項目の左端
の番号 (1 ~ 6) を押し、実行 を押す。

トラブル印字画面

火災	発生なし
ガス	発生なし
2 1. トラブル印字	点検中
1 システム一括印字	印字中
2 1系統目一括印字	
3 2系統目一括印字	
4 3系統目一括印字	
5 4系統目一括印字	
6 一括印字中止	

一括印字が行われている間は、
【印字中】が点滅します。

項 目	内 容
1 システム一括印字	すべてのトラブルをリスト化して印字します。
2 1系統目一括印字	NMAST1系統のトラブルのみをリスト化して印字します。
3 2系統目一括印字	NMAST2系統のトラブルのみをリスト化して印字します。
4 3系統目一括印字	NMAST3系統のトラブルのみをリスト化して印字します。
5 4系統目一括印字	NMAST4系統のトラブルのみをリスト化して印字します。
6 一括印字中止	現在、印字中の一括印字を中止します。



●いずれかの項目の一括印字中は、別項目の一括印字はできません。

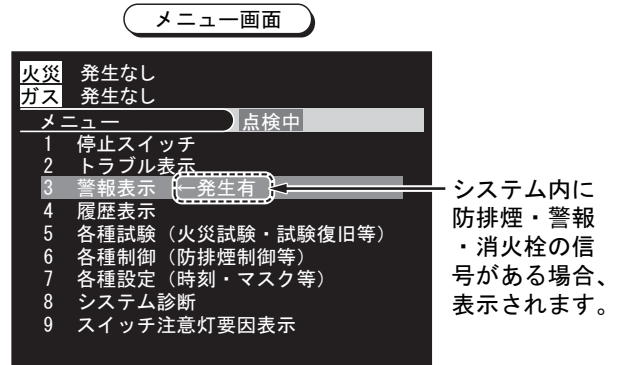
途中で別項目の一括印字を行いたい場合は、6 一括印字中止 の操作を行ってください。

●「履歴印字画面」(36ページ)、「マスク印字画面」(59ページ参照)、「感知器汚れ印字画面」(63ページ参照)の一括印字が行われているときは、トラブル印字画面での印字はできません。

3 警報表示

操作方法

- 1 メニュー画面の 3 警報表示 を
 ▼ ▲ で選択し、メニュー/進む または 実行 を押す。
 または、3 /BM を押し、メニュー/進む または 実行 を
 押す。

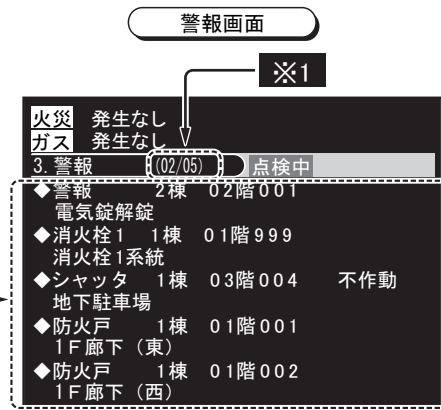


- 2 システム内の警報内容が
 表示される。

- ▼ ▲ を押すことで画面のページ送り、画面のペー
 ジ戻りができます。

※1 (02/05) について

02 / 05
 ↑ ↑
 現在のペー
 ジ数を示し
 ます。 総ページ数を示します。
 ●最大60ページ (300報) まで
 表示することができます。



防排煙・警報・消火栓の信号の詳細を1画面あたり5報まで、
 時系列に表示します。

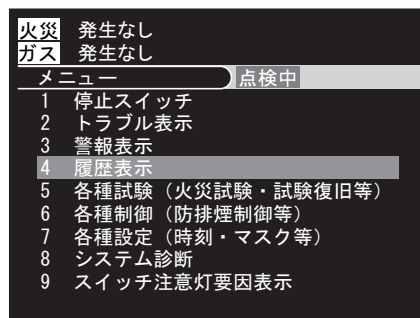
- 注 ●最大300報 (最大60ページ分) までの信号を表示する
 ことができます。
 ●300報を超えた信号については表示されません。

4 履歴表示

操作方法

- 1 メニュー画面の 4 履歴表示 を
▼ ▲ で選択し、メニュー/進む または 実行 を押す。
または、4 /S を押し、メニュー/進む または 実行 を押す。

メニュー画面

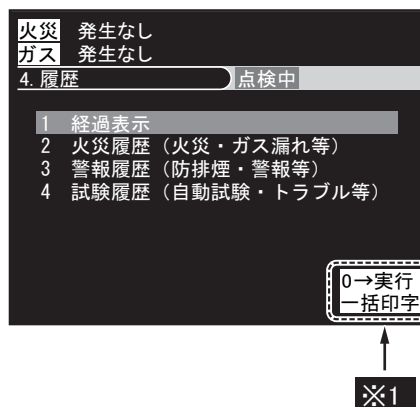


2 履歴画面の

- | |
|--------------------|
| 1 経過表示 |
| 2 火災履歴（火災・ガス漏れ等） |
| 3 警報履歴（防排煙・警報等） |
| 4 試験履歴（自動試験・トラブル等） |

のいずれかを ▼ ▲ で選択し、
メニュー/進む または 実行 を押す。
または、各項目の左端の番号（1 ～ 4）
を押し、メニュー/進む または 実行 を押す。

履歴画面



※1 0 → 実行
一括印字 について

- 履歴をリスト化して印字したい場合、「履歴印字画面」に切り替えてください。（36ページ参照）
- 下記の操作で切り替えることができます。

0 / 空白 → 実行

3 1 経過表示 を選択した場合

- を押すことで画面のページ送り、ページ戻りができます。

イベント（現象）の詳細を1画面あたり5報まで、新しい順に表示します。

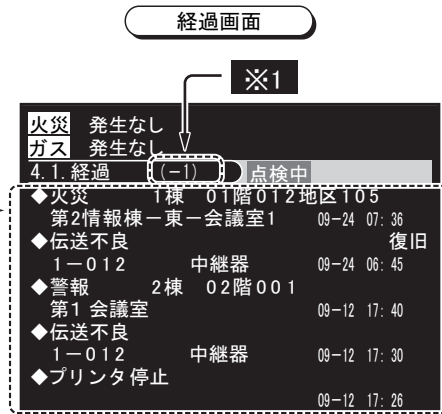
● 注 最大50報（最大10ページ分）までの最新イベント（現象）を表示することができます。

※1 現在、表示中の画面のページ数を表示します。

表示について

「（最新）」→「（-1）」→「（-2）」→…「（-9）」
※最初のページは数字ではなく、（最新）を表示します。

- 注 経過画面の情報を受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしても保持させたい場合は「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）に切り替えて、実行操作を行ったあとに、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしてください。
この操作を行わずに受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にした場合は、経過画面の情報が保持されない場合があります。
- 経過画面の情報を保持するタイミング（不揮発性メモリに書き込むタイミング）は下記のとおりです。
- ・「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）にて実行操作が行われたとき
 - ・1日1回、自動で実施する定時試験が行われたとき
 - ・電池未接続を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）
 - ・交流電源断を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）



2 火災履歴（火災・ガス漏れ等）を選択した場合

- を押すことで画面のページ送り、ページ戻りができます。

※1 (02/99) について

02 / 99

現在のページ
数を示します。

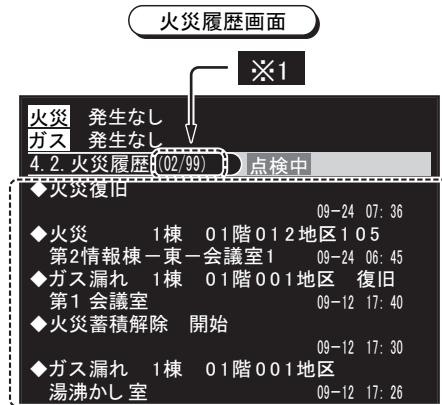
イベント（現象）（※2）の詳細を1画面あたり5報まで、新しい順に表示します。

- 注 最大99ページ分（495報）までの最新のイベント（現象）を表示することができます。
- 新たなイベント（現象）が発生しても自動更新表示はできません。一度、別画面に切り替え、再度、画面を表示させることで、新たに発生したイベント（現象）も表示されます。

- 注 火災履歴画面の情報を受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしても保持させたい場合は「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）に切り替えて、実行操作を行ったあとに、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしてください。
この操作を行わずに受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にした場合は、火災履歴画面の情報が保持されない場合があります。
- 火災履歴画面の情報を保持するタイミング（不揮発性メモリに書き込むタイミング）は下記のとおりです。
- ・「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）にて実行操作が行われたとき
 - ・1日1回、自動で実施する定時試験が行われたとき
 - ・電池未接続を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）
 - ・交流電源断を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）

※2 下記のいずれかのイベント（現象）が表示されます。

- ・火災関連
- ・ガス漏れ関連
- ・地区音響停止、一斉鳴動関連
- ・試験復旧、火災復旧関連
- ・火災試験、ガス漏れ試験関連
- ・火災蓄積解除、ガス漏れ遅延解除関連
- ・時刻設定、TA・TC設定関連



3 警報履歴（防排煙・警報等）を選択した場合

- を押すことで画面のページ送り、ページ戻りができます。

※1 (02/99) について

02 / 99
↑ ↑
現在のページ
数を示します。
「99」の固定表示です。

イベント（現象）（※2）の詳細を1画面あたり5報まで、新しい順に表示します。

- 最大99ページ分（495報）までの最新のイベント（現象）を表示することができます。
- 新たなイベント（現象）が発生しても自動更新表示はできません。一度、別画面に切り替え、再度、画面を表示させることで、新たに発生したイベント（現象）も表示されます。

- 警報履歴画面の情報を受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしても保持させたい場合は「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）に切り替えて、実行操作を行ったあとに、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしてください。
- この操作を行わずに受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にした場合は、警報履歴画面の情報が保持されない場合があります。
- 警報履歴画面の情報を保持するタイミング（不揮発性メモリに書き込むタイミング）は下記のとおりです。
- ・「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）にて実行操作が行われたとき
 - ・1日1回、自動で実施する定時試験が行われたとき
 - ・電池未接続を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）
 - ・交流電源断を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）

※2 ●下記のいずれかのイベント（現象）が表示されます。

- ・防排煙関連
- ・手動制御関連（防排煙、移信、消火栓、地区音響）
- ・警報関連
- ・時刻設定、TA・TC設定関連
- ・消火栓関連

警報履歴画面

※1

火災	発生なし			
ガス	発生なし			
4.3 警報履歴	(02/99)	点検中		
◆シャッター	1棟	03階004	不動作	
地下駐車場				09-24 07:36
◆シャッター	1棟	03階004	ON制御	
地下駐車場				09-24 07:35
◆警報	2棟	02階001	復旧	
電気錠解錠				09-12 17:40
◆警報	2棟	02階001		
電気錠解錠				09-12 17:30
◆防火戸	1棟	01階001		
1F廊下（東）				09-12 17:26

4 試験履歴（自動試験・トラブル等）を選択した場合

- を押すことで画面のページ送り、ページ戻りができます。

※1 (02/99) について

02 / 99
↑ ↑
現在のページ
数を示します。
「99」の固定表示です。

イベント（現象）（※2）の詳細を1画面あたり5報まで、新しい順に表示します。

- 最大99ページ分（495報）までの最新のイベント（現象）を表示することができます。
- 新たなイベント（現象）が発生しても自動更新表示はできません。一度、別画面に切り替え、再度、画面を表示させることで、新たに発生したイベント（現象）も表示されます。

- 試験履歴画面の情報を受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしても保持させたい場合は「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）に切り替えて、実行操作を行ったあとに、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしてください。
- この操作を行わずに受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にした場合は、試験履歴画面の情報が保持されない場合があります。
- 試験履歴画面の情報を保持するタイミング（不揮発性メモリに書き込むタイミング）は下記のとおりです。
- ・「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）にて実行操作が行われたとき
 - ・1日1回、自動で実施する定時試験が行われたとき
 - ・電池未接続を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）
 - ・交流電源断を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）

※2 ●下記のいずれかのイベント（現象）が表示されます。

- ・一斉試験、電池試験、定時試験関連
- ・時刻設定、TA・TC設定関連
- ・トラブル関連
- ・マスク設定関連
- ・その他のスイッチ操作関連
- ・アイソレータ接続、NMAST切離し関連

試験履歴画面

※1

火災	発生なし			
ガス	発生なし			
4.4 試験履歴	(02/99)	点検中		
◆伝送不良	1棟	01階012地区105		
1-015	感知器			09-24 07:36
◆時刻修正				09-24 07:35
◆伝送不良			復旧	
3-123	中継器			09-12 17:40
◆伝送不良				09-12 17:30
3-123	中継器			
◆一斉試験	終了			09-12 17:26

操作方法

- 履歴表示画面**

火災	発生なし
ガス	発生なし
4. 履歴	
点検中	
1 経過表示	
2 火災履歴	(火災・ガス漏れ等)
3 警報履歴	(防排煙・警報等)
4 試験履歴	(自動試験・トラブル等)

0→実行
一括印字

- 履歴印字画面

火災 ガス	発生なし 発生なし	点検中
4. 5. 履歴印字		

1	経過表示一括印字	印字中
2	火災履歴一括印字	
3	警報履歴一括印字	
4	試験履歴一括印字	
5	一括印字中止	

項 目	内 容
1 経過表示一括印字	経過画面のすべての発生イベント（現象）を印字します。
2 火災履歴一括印字	火災履歴画面のすべての発生イベント（現象）を印字します。
3 警報履歴一括印字	警報履歴画面のすべての発生イベント（現象）を印字します。
4 試験履歴一括印字	試験履歴画面のすべての発生イベント（現象）を印字します。
5 一括印字中止	現在、印字中の一括印字を中止します。

36

5 各種試験（火災試験・試験復旧等）

操作方法

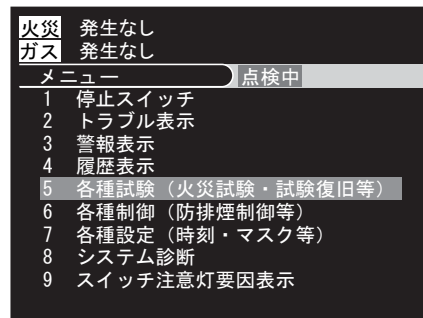
1 メニュー画面の

5 各種試験表示（火災試験・試験復旧等）を

▼ ▲ で選択し、メニュー/進む または 実行 を押す。

または、5/F を押し、メニュー/進む または 実行 を押す。

メニュー画面



2 スイッチの状態を確認する

各種試験画面の 1 試験復旧

2 火災蓄積解除 3 ガス漏れ遅延解除

のいずれかを ▼ ▲ で選択する。

または、各項目の左端の番号（1 ～ 3）を押す。

ON/OFFの変更方法

① ◀ ▶ を押して、「ON」と「OFF」の表示を変更する。

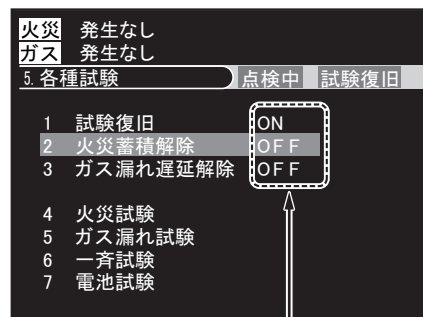
② 実行 を押す。

- スイッチの状態が変更され、項目選択反転表示が1つ下に移動します。

注 ● 実行 を押さないとスイッチの状態は変更されません。

- 実行 を押す前に項目選択反転表示を移動させると、「ON」「OFF」の表示は元のスイッチの状態に戻ります。

各種試験画面



ON表示は、設定状態
OFF表示は、設定解除状態
を示します。

項 目	内 容
1 試験復旧	●このスイッチをONにすると、感知器の加熱試験・加熱試験時に、受信機での火災表示後、約10秒ごとに感知器や連動などを強制的に自動復旧させます。 ●試験復旧中は蓄積機能も解除されます。 ●(RX) 煙感知器が接続されている場合は、ONにしたときに、ON表示が一定時間（数秒程度）点滅することがあります。 点滅中は試験復旧モードへの移行処理中ですので、点灯になるまで、しばらくお待ちください。
2 火災蓄積解除	このスイッチをONにすると、約10秒～約60秒の蓄積機能が解除され、すぐに火災発生になります。
3 ガス漏れ遅延解除	このスイッチをONにすると、約50秒の遅延機能が解除され、すぐにガスもれ発生になります。

3 試験項目を選択する

各種試験画面の

4 火災試験

5 ガス漏れ試験

6 一斉試験

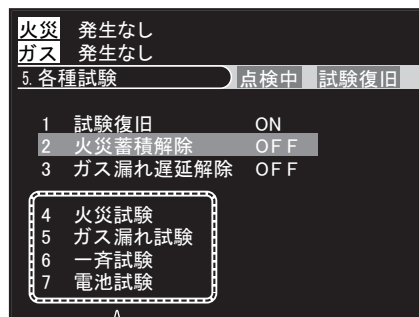
7 電池試験

のいずれかを で

選択し、 または を押す。

または、各項目の左端の番号（ ～ ）を押す。

各種試験画面



試験項目

4 4 火災試験 を選択した場合

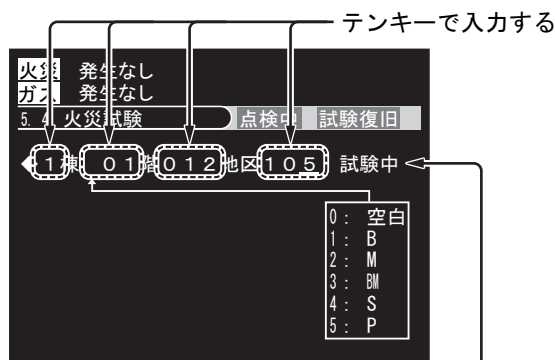
① 火災試験をしたい感知器の読み替え情報をテンキーで入力する。

- を押すと、カーソルが移動します。
- を押すと、入力された情報がゼロクリアになります。

② を押す。

- 選択された感知器に対して火災試験を行い、良／不良の判断をします。

火災試験画面



- を押したあとに「試験中」が表示されます。
- 試験終了後、「良」「不良」「該当なし」のいずれかが表示されます。

「良」表示の場合

〈選択された感知器が(RX)熱感知器の場合〉

- 火災／ガス漏れ画面に強制的に切り替わり、蓄積中を表示し、約10秒後に火災発生になります。

〈選択された感知器が(RX)煙感知器の場合〉

- 火災／ガス漏れ画面に強制的に切り替わり、蓄積中を表示し、約40秒後に火災発生になります。

〈選択された感知器が一般感知器（アドレスアダプタ）の場合〉

- 火災／ガス漏れ画面に強制的に切り替わり、蓄積中を表示します。再度、火災試験を行うと火災発生になります。

- 扉裏側の点検スイッチ（26ページ参照）が「点検」側のときは、火災／ガス漏れ画面への強制的な画面切替は行われません。
- 2信号感知器に対して火災試験を行ったときは、火災報と運動報の両方が同時に発生します。

「不良」表示の場合

- 選択された感知器が正しく接続されていないか、故障している場合は、「不良」が表示され、火災発生にはなりません。

「該当なし」表示の場合

- 選択された感知器が件名テーブルに設定されていない場合、またはマスク設定中の場合は、「該当なし」が表示され、火災発生にはなりません。
- 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

公称蓄積時間60秒を測定したい場合は、下記の手順で行ってください。

- ① 一般感知器（アドレスアダプタ）の読み替え情報をテンキー入力し、 を押す。
- ② 蓄積中灯が点灯したタイミングで、ストップウォッチをスタートさせる。
- ③ そのままの状態にしておくと、約60秒後に蓄積中灯が消灯するので、そのタイミングで、ストップウォッチをストップさせる。

4 5 ガス漏れ試験 を選択した場合

① ガス漏れ試験をしたいガス漏れ中継器の回線の読み替え情報をテンキーで入力する。

- を押すと、カーソルが移動します。
- を押すと、入力された情報がゼロクリアされます。

② を押す。

- 選択されたガス漏れ中継器の回線に対してガス漏れ試験を行い、良／不良の判断をします。

「良」表示の場合

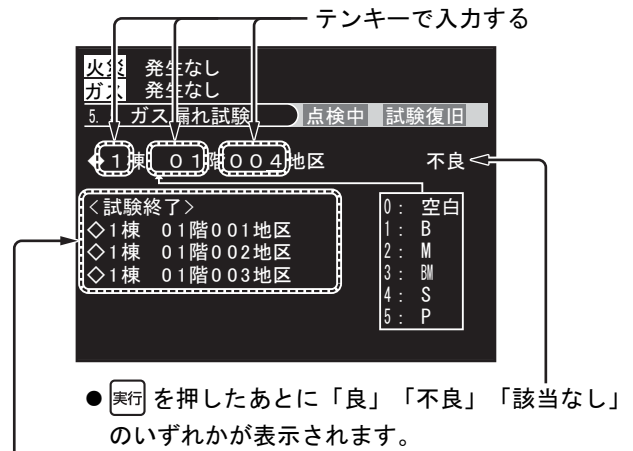
- 火災／ガス漏れ画面に強制的に切り替わり、遅延中を表示し、約50秒後にガスもれ発生になります。
- 試験終了対象リスト（※1）に、入力した読み替え情報が追加されます。

注 扉裏側の点検スイッチ（26ページ参照）が「点検」側のときは、火災／ガス漏れ画面への強制的な画面切替は行われません。

「不良」表示の場合

- 選択されたガス漏れ中継器の回線が正しく接続されていないか、故障している場合は、「不良」が表示され、ガスもれ発生にはなりません。

ガス漏れ試験画面



- を押したあとに「良」「不良」「該当なし」のいずれかが表示されます。

- **※1** ガス漏れ試験中のガス漏れ中継器の回線がすべて表示されます。

操作方法

- ① を押すと、「◆」が上下します。
- ② 試験終了したい個所に「◆」を移動させ、 を押すと、選択した読み替え情報のガスもれが復旧します。

「該当なし」表示の場合

- 選択されたガス漏れ中継器の回線の読み替え情報が件名テーブルに設定されていない場合、またはマスク設定中の場合は、「該当なし」が表示され、ガスもれ発生にはなりません。
- 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

標準遅延時間50秒を測定したい場合は、下記の手順で行ってください。

- ① 任意の読み替え情報をテンキー入力し、 を押す。
- ② 火災／ガス漏れ画面に遅延中が表示されたタイミングで、ストップウォッチをスタートさせる。
- ③ そのままの状態にしておくと、約50秒後にガスもれ発生に切り替わるので、そのタイミングで、ストップウォッチをストップさせる。

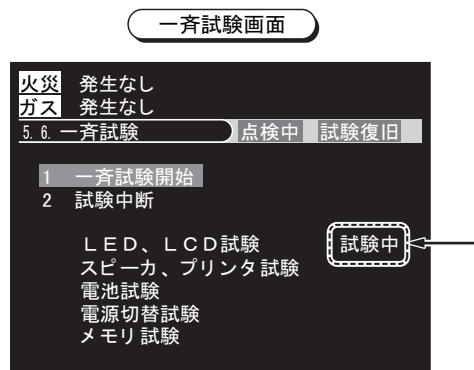
4 6 一斉試験 を選択した場合

一斉試験を行う場合

- ① 1 一斉試験開始 を▼▲で選択し、
実行を押す。
または、1/Bを押し、実行を押す。

② 一斉試験が開始される。

- 下表の項目の試験を上から順番に実施します。



- 実行を押したあとに「試験中」が表示されます。

試験項目	内 容	所要時間
① LED、LCD試験	●LEDを約10秒間、全点灯します。 ●LCDを約2秒間ずつ、赤色→緑色→青色の順に全点灯します。 ●点灯していないLEDがないか、表示していないLCDドットがないかを目視で確認してください。	10秒
② スピーカ、プリンタ試験	●機器作動音響を約5秒間、鳴動します。 ●プリンタにテスト印字を行います。 ●正しく音が鳴動しているか、プリンタに印字されているかを確認してください。	5秒
③ 電池試験	約5秒間の電池試験を行い、試験結果（良／不良）を表示します。	5秒
④ 電源切替試験	電源切替回路の作動試験を行い、試験結果（良／不良）を表示します。	5秒
⑤ メモリ試験	不揮発性メモリ内の件名テーブルデータに異常がないかをチェックサム照合し、試験結果（良／不良）を表示します。	1秒
		合計約26秒

- すべての試験が完了するまでの所要時間は約26秒です。
- メモリ試験の試験結果が表示された時点で、一斉試験は終了です。
- 試験結果表示は、別画面に切り替えると、クリアされます。

一斉試験を途中で中断させたい場合

- ① 2 試験中断 を▼▲で選択し、
実行を押す。
または、2/Mを押し、実行を押す。

② 一斉試験が中断される。

- 公称蓄積時間60秒の測定を行いたい場合は「火災試験画面」（38ページ参照）にて行ってください。
- 標準遅延時間50秒の測定を行いたい場合は「ガス漏れ試験画面」（39ページ参照）にて行ってください。

4 7 電池試験 を選択した場合

電池試験を行う場合

- 1 電池試験開始 を▼▲で選択し、
実行を押す。
または、1/Bを押し、実行を押す。

- 約5秒間の電池試験を行い、
試験結果（良／不良）と電池電圧を
表示します。

- 試験結果が不良のときは、電池電圧は表示されません。
- 試験結果表示は、別画面に切り替えるとクリアされます。

10分間電池試験を行う場合

- 2 10分間電池試験開始 を▼▲で
選択し、実行を押す。
または、2/Mを押し、実行を押す。

- 約10分間の電池試験を行います。

- 約10分間経過後または電池試験
終了操作（※1）を行ったときに、
試験結果（良／不良）と電池電圧
を表示します。

- 試験結果が不良のときは、電池電圧は表示されません。
- 試験結果表示は、別画面に切り替えるとクリアされます。

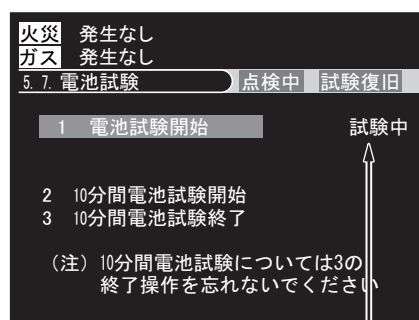
※1 について（電池試験終了操作）

- 3 10分間電池試験終了 を▼▲で
選択し、実行を押す。
または、3/BMを押し、実行を押す。

- 10分間電池試験を終了し、
試験結果（良／不良）と電池電圧を
表示します。

- 試験結果が不良のときは、電池電圧は表示されません。
- 試験結果表示は、別画面に切り替えるとクリアされます。

電池試験画面



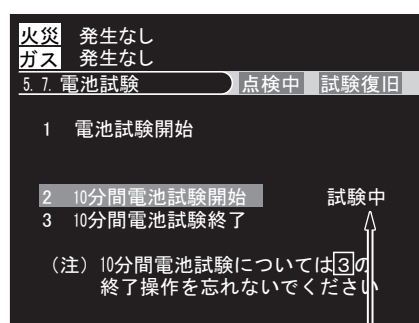
- ①「試験中」が約5秒間点減する。
- ② 約5秒経過後、試験結果が表示される。

「良」の場合：良
(23.7V)

↑ 電池電圧を表示

「不良」の場合：不良

電池試験画面



- ①「試験中」が約10分間点減する。
- ② 約10分経過後、または電池試験終了
操作（※1）を行ったとき、試験結果が
表示される。

「良」の場合：良
(23.7V)

↑ 電池電圧を表示

「不良」の場合：不良

6 各種制御（防排煙制御等）

操作方法

- 1 メニュー画面の 6 各種制御（防排煙制御等）を▼▲で選択し、メニュー/進む または 実行 を押す。または、6 を押し、メニュー/進む または 実行 を押す。

メニュー画面

火災	発生なし
ガス	発生なし
メニュー 点検中	
1	停止スイッチ
2	トラブル表示
3	警報表示
4	履歴表示
5	各種試験（火災試験・試験復旧等）
6	各種制御（防排煙制御等）
7	各種設定（時刻・マスク等）
8	システム診断
9	スイッチ注意灯要因表示

2 スwitchの状態を確認する

各種制御画面の

- 1 地区音響一斉鳴動 を▼▲で選択する。または、1/B を押す。

ON/OFFの変更方法

- ① ◀ ▶ を押して、「ON」と「OFF」の表示を変更する。
 - ② 実行 を押す。
 - スwitchの状態が変更され、項目選択反転表示が1つ下に移動します。
- 実行 を押さないと、スwitchの状態は変更されません。
- 実行 を押す前に項目選択反転表示を移動させると、「ON」「OFF」の表示は、元のスswitchの状態に戻ります。

項目	内容
1 地区音響一斉鳴動	● このスswitchをONにすると、地区音響一斉鳴動状態になります。 ● ベル（地区音響）一時停止中、地区音響強制停止中は鳴動しません。

各種制御画面

火災	発生なし
ガス	発生なし
6 各種制御 点検中	
1	地区音響一斉鳴動 OFF
2	防排煙作動制御
3	防排煙復帰制御
4	中継器移信
5	受信機移信
6	アイソレータ接続
7	NMAST切離し

ON表示は、地区音響一斉鳴動状態
OFF表示は、通常状態（鳴動しない）を示します。

3

制御項目を選択する

各種制御画面の

2 防排煙作動制御

3 防排煙復帰制御

4 中継器移信

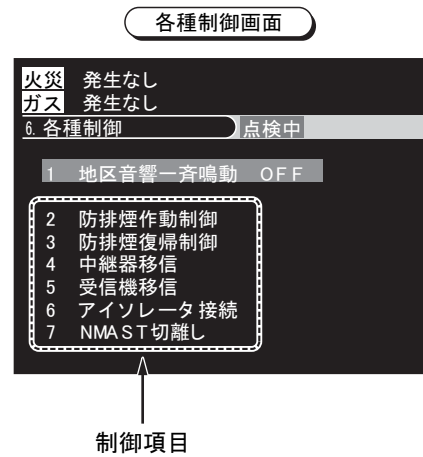
5 受信機移信

6 アイソレータ接続

7 NMAST切離し

のいずれかを で選択し、 または を押す。または、各項目の左端番号 (~)

のいずれかを押し、

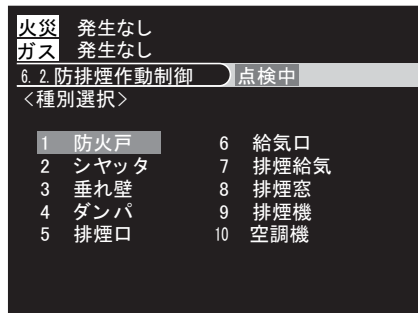
 または を押す。

3 2 防排煙作動制御 を選択した場合

操作方法

- **▲▼◀▶** を押すと、項目選択反転表示が上下左右に移動します。
- テンキーで選択したい項目の番号を押すと、項目選択反転表示が、その番号の項目に移動します。
- **メニュー/進む** または **実行** を押すと、選択されている種別の防排煙作動制御画面に切り替わります。
- 「1」～「10」の表示内容4文字は、件名テーブルで設定された4文字が表示されます。
- 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

防排煙作動制御画面（種別選択）



防排煙作動制御を行う

〔例〕 ●防排煙作動制御画面（種別選択）で「1 防火戸」を選択した場合

- ① 防排煙作動制御画面（種別選択）で「1 防火戸」を選択し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。
または、**1/F** を押し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。

- ② 防排煙作動制御画面になる。

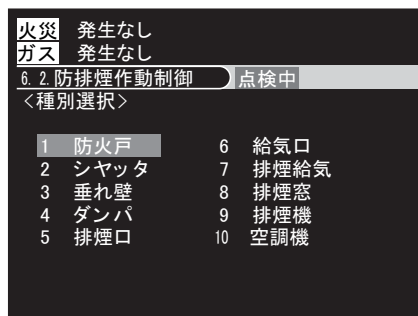
- ③ 防排煙作動制御したい防排煙中継器、防排煙遠隔復帰中継器の回線の読み替え情報をテンキーで入力する。

- **▶◀** を押すと、カーソルが移動します。
- **取消** を押すと、入力された情報がゼロクリアになります。

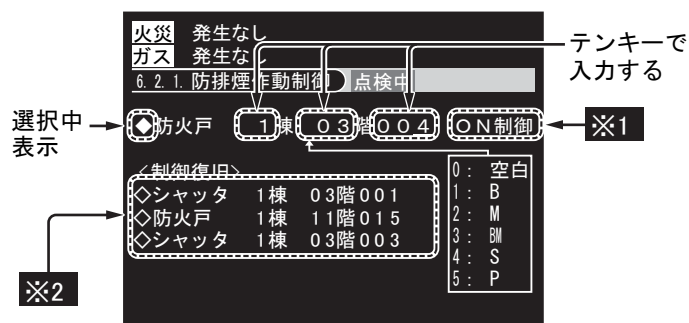
- ④ **実行** を押す。
● **※1** に下記が表示されるので確認してください。

「ON制御」が表示されたとき	● 選択された回線の防排煙作動制御出力が出力し、その回線に接続されている防排煙端末が作動したか／不動作であったかが、警報画面に表示されます。 ● 制御出力復旧対象リスト（※2）に入力した読み替え情報が追加されます。 ● 防排煙連動停止中であっても出力します。
「該当なし」が表示されたとき	● 選択された回線の読み替え情報が件名テーブルに設定されていない場合は、「該当なし」が表示され、防排煙作動制御出力は出力されません。 ● 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

防排煙作動制御画面（種別選択）



防排煙作動制御画面



※2 について

- 手動制御により出力中の回線が、すべて表示されます。
 - 選択された種別とは異なる種別の回線も表示されます。
 - 連動制御により出力中の回線については表示されません。手動制御のみが対象です。
- **▲▼** を押すと、選択中表示「◆」が上下に移動します。
- 制御出力を復旧したい個所に選択中表示「◆」を合わせ **実行** を押すと、選択されている読み替え情報の制御出力が復旧します。

3 防排煙復帰制御 を選択した場合

操作方法

- を押すと、項目選択反転表示が上下左右に移動します。
- テンキーで選択したい項目の番号を押すと、項目選択反転表示が、その番号の項目に移動します。
- または を押すと、選択されている種別の防排煙復帰制御画面に切り替わります。
- 「1」～「10」の表示内容4文字は、件名テーブルで設定された4文字が表示されます。
- 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

防排煙復帰制御画面（種別選択）

火災	発生なし
ガス	発生なし
6.3 防排煙復帰制御 点検中	
<種別選択>	
1 防火戸	6 給気口
2 シヤッタ	7 排煙給気
3 垂れ壁	8 排煙窓
4 ダンバ	9 排煙機
5 排煙口	10 空調機

防排煙復帰制御を行う

〔例〕 ●防排煙復帰制御画面（種別選択）で「2 シヤッタ」を選択した場合

- ① 防排煙復帰制御画面（種別選択）で「2 シヤッタ」を選択し、 または を押す。
または、 を押し、 または を押す。
- ② 防排煙復帰制御画面になる。
- ③ 防排煙復帰制御の設定の手順は2通りあります。



防排煙復帰制御は、1回線ずつ行ってください。同時に複数回線の防排煙復帰制御を行うことはできません。

- 手順1** ① 防排煙復帰制御したい防排煙遠隔復帰中継器の回線の読み替え情報をテンキーで入力する。
- を押すと、カーソルが移動します。
 - を押すと、入力された情報がゼロクリアになります。
- ② を押す。

- 手順2** ① 防排煙遠隔復帰中継器の作動中の回線が、すべて表示される。
- 選択された種別とは異なる種別の回線も表示されます。
 - 防排煙中継器の作動中の回線については表示されません。防排煙遠隔復帰中継器のみが対象です。
 - を押すと、選択中表示「◆」が上下に移動します。
- ② 復帰制御出力を出力したい個所に選択中表示「◆」を合わせ を押す。
- 選択されている読み替え情報の復帰情報出力します。
- ※1 に下記が表示されるので確認してください。

防排煙復帰制御画面（種別選択）

火災	発生なし
ガス	発生なし
6.3 防排煙復帰制御 点検中	
<種別選択>	
1 防火戸	6 給気口
2 シヤッタ	7 排煙給気
3 垂れ壁	8 排煙窓
4 ダンバ	9 排煙機
5 排煙口	10 空調機

防排煙復帰制御画面

火災	発生なし
ガス	発生なし
6.3.1 防排煙復帰制御 点検中	
<方法1>	
◆ シヤッタ	1棟 03階003 復帰制御
<方法2>	
◇ シヤッタ	1棟 03階001
◇ シヤッタ	1棟 03階003 復帰制御
◇ ダンバ	1棟 03階001
◇ ダンバ	1棟 03階003
◇ 排煙口	1棟 03階003

※1

防排煙復帰制御画面

火災	発生なし
ガス	発生なし
6.3.1 防排煙復帰制御 点検中	
<方法1>	
◆ シヤッタ	1棟 03階003 復帰制御
<方法2>	
◇ シヤッタ	1棟 03階001
◇ シヤッタ	1棟 03階003 復帰制御
◇ ダンバ	1棟 03階001
◇ ダンバ	1棟 03階003
◇ 排煙口	1棟 03階003

※2

点検・設定方法

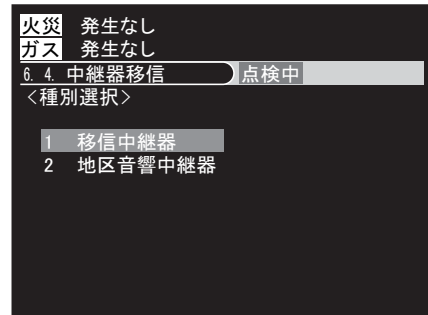
「復帰制御」が表示されたとき	● 選択された回線の防排煙復帰制御出力が出力し、その回線に接続されている防排煙端末が復帰したときは、警報画面や復帰制御対象リスト（※2）の作動表示が消えます。
「該当なし」が表示されたとき	● 下記の場合は、「該当なし」が表示され、防排煙復帰制御出力は出力されません。 ● 選択された回線の読み替え情報が件名テーブルに設定されていない場合 ● 選択された回線がマスク設定中の場合 ● 選択された回線が防排煙復帰中継器でない場合 ● 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。
「不可」が表示されたとき	● 選択された回線が作動制御出力中であると、「不可」が表示され、防排煙復帰制御出力はされません。 ● 選択された回線の作動制御出力を復旧させたうえで、防排煙復帰制御を行ってください。

4 中継器移信 を選択した場合

操作方法

- **▲ ▼** を押すと、項目選択反転表示が上下に移動します。
- テンキーで選択したい項目の番号を押すと、項目選択反転表示が、その番号の項目に移動します。
- **メニュー/進む** または **実行** を押すと、選択されている種別の中継器移信画面に切り替わります。

中継器移信画面（種別選択）

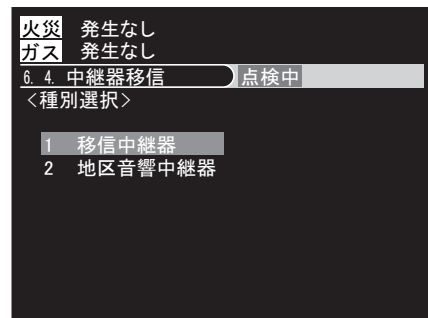


中継器移信を行う

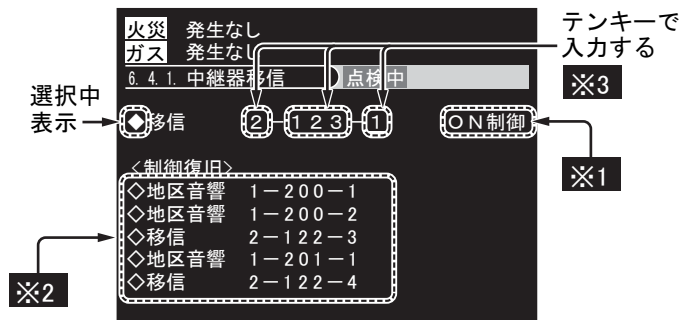
〔例〕 ●中継器移信画面（種別選択）で「1 移信中継器」を選択した場合

- ① 中継器移信画面（種別選択）で「1 移信中継器」を選択し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。
または、**1** を押し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。
- ② 中継器移信画面になる。
- ③ 中継器移信したい移信中継器（「2 地区音響中継器」）を選択した場合は、地区音響中継器の回線のハード番号をテンキー入力する。
 - **▶ ◀** を押すと、カーソルが移動します。
 - **取消** を押すと、入力された情報がゼロクリアになります。
- ④ **実行** を押す。
 - **※1** に下記が表示されるので確認してください。

中継器移信画面（種別選択）



中継器移信画面



「ON制御」が表示されたとき	● 選択された回線の中継器移信が出力します。 ● 制御出力復旧対象リスト（※2）に入力したハード番号が追加されます。 ● 移信停止中であっても出力します。
「該当なし」が表示されたとき	● 下記の場合は、「該当なし」が表示され、中継器移信は出力されません。 ● 入力されたハード番号の回線が件名テーブルに設定されていない場合 ● 入力されたハード番号の回線がマスク設定中の場合 ● 入力されたハード番号の回線が選択された中継器と異なる場合 ● 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

※2 について

- 手動制御により出力中の回線が、すべて表示されます。
- 選択された種別とは異なる種別の回線も表示されます。
- 連動制御により出力中の回線については表示されません。手動制御のみが対象です。
- **▲ ▼** を押すと、選択中表示「◆」が上下に移動します。
- 制御出力を復旧したい個所に選択中表示「◆」を合わせ **実行** を押すと、選択されているハード番号の制御出力が復旧します。

※3 ハード番号について

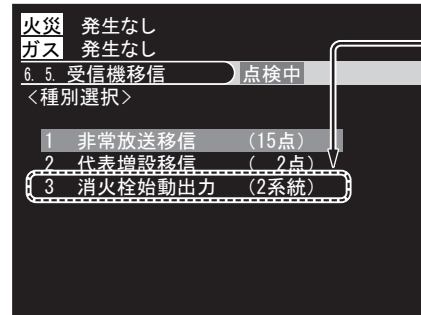
2-122-1
 ↑ ↑ ↑
 中継器の回線を示します。(1~4)
 端末アドレスを示します。(001~255)
 NMAST系統を示します。(1~4)

4 5 受信機移行 を選択した場合

操作方法

- **▲▼** を押すと、項目選択反転表示が上下に移動します。
- テンキーで選択したい項目の番号を押すと、項目選択反転表示が、その番号の項目に移動します。
- **メニュー/進む** または **実行** を押すと、選択されている種別の受信機移行画面に切り替わります。

受信機移行画面（種別選択）



- 注**
- 件名テーブル設定において「消火栓多系統増設ユニット：有」に設定されている場合、この項目は表示されません。
 - 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

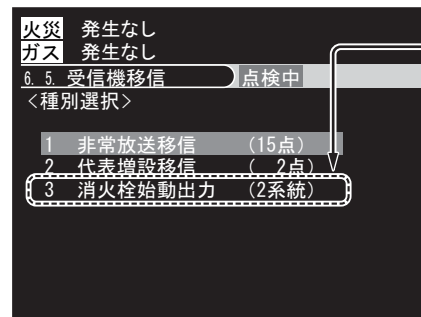
受信機移行を行う

〔例〕 ● 受信機移行画面（種別選択）で「1 非常放送移行」を選択した場合

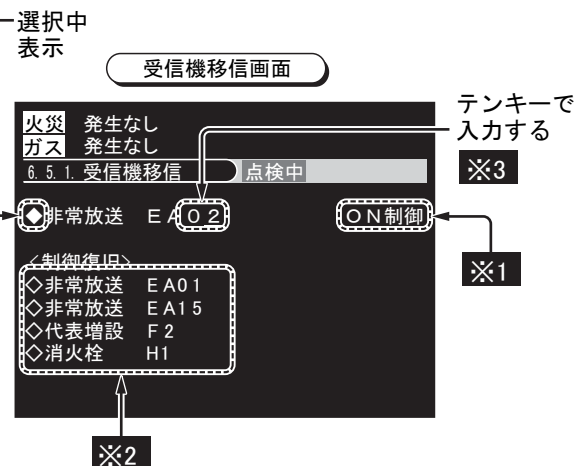
- ① 受信機移行画面（種別選択）で「1 非常放送移行」を選択し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。または、**1/B** を押し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。
- ② 受信機移行画面になる。
- ③ 受信機移行したい種別の回線のハード番号をテンキー入力する。
 - **▶◀** を押すと、カーソルが移動します。
 - **取消** を押すと、入力された情報がゼロクリアになります。
- ④ **実行** を押す。
 - **※1** に下記が表示されるので確認してください。

「ON制御」が表示されたとき	● 選択された回線の受信機移行が出力します。 ● 制御出力復旧対象リスト（※2）に入力したハード番号が追加されます。 ● 移行停止中であっても出力します。
「該当なし」が表示されたとき	● 入力されたハード番号の回線が受信機上に存在しない場合は、「該当なし」が表示され、受信機移行は出力されません。

受信機移行画面（種別選択）



- 注**
- 件名テーブル設定において「消火栓多系統増設ユニット：有」に設定されている場合、この項目は表示されません。
 - 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。

**※2** について

- 手動制御により出力中の回線が、すべて表示されます。
 - 選択された種別とは異なる種別の回線も表示されます。
 - 連動制御により出力中の回線については表示されません。手動制御のみが対象です。
- **▲▼** を押すと、選択中表示「◆」が上下に移動します。
- 制御出力を復旧したい個所に選択中表示「◆」を合わせ **実行** を押すと、選択されているハード番号の制御出力が復旧します。

※3 について

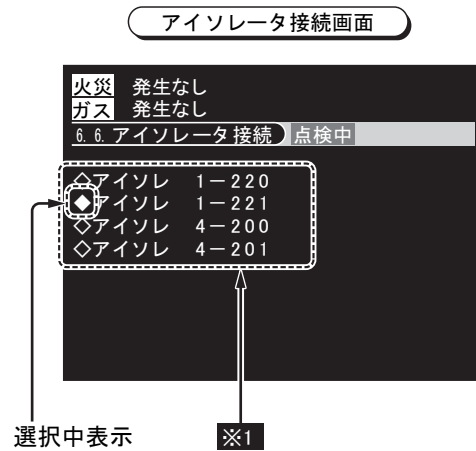
「1非常放送移行」を選択した場合：01～15を入力する。
 「2代表増設移行」を選択した場合：2または3を入力する。
 「3消火栓始動出力」を選択した場合：1または2を入力する。

6 アイソレータ接続 を選択した場合

- NMAST伝送線の短絡個所の修正が完了したので、そのエリアの2次側の切り離しを解除させたい場合は、該当のアイソレータに選択中表示「◆」を合わせ **実行** を押すと、選択されているアイソレータの2次側が接続され、そのエリアの伝送が再開されます。

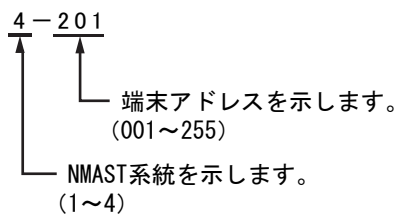
注 この2次側接続操作は、そのエリアのNMAST伝送線の短絡個所の修正が完了したあとに行ってください。

- **▲** **▼** を押すと、選択中表示「◆」が上下に移動します。



※1 について

- NMAST伝送線の短絡が発生し2次側を切り離しているアイソレータのハード番号が、すべて表示されます。



4 7 NMAST切離し を選択した場合

① NMAST切離し画面で

- | | | |
|---|----------|-----|
| 1 | NMAST1系統 | 切離し |
| 2 | NMAST2系統 | 切離し |
| 3 | NMAST3系統 | 切離し |
| 4 | NMAST4系統 | 切離し |

のいずれかを で選択する。
 または、各項目の左番号 (~)
 のいずれかを押す。

② ON/OFFの変更を行う。

- ① を押して、「ON」「OFF」の表示を変更する。

- ② を押す。

●スイッチの状態が変更され、項目選択反転表示が1つ下に移動します。



- を押さないと、スイッチの状態は変更されません。
 ● を押す前に項目選択反転表示を移動させると、「ON」「OFF」の表示は、元のスイッチの状態に戻ります。
 ● スwitchの状態を保持したい場合は、
 または を押して、別の画面に切り替えてください。

ONに変更した場合のマスク動作

- ONに変更以降、そのNMAST系統に関する発生イベント（現象）（入力検出、制御出力、トラブル検出）はすべてマスクされます。
- ONに変更する前に発生したイベント（現象）についてはマスクされません。

NMAST切離し画面

●NMAST1系統を選択した場合

火災	発生なし		
ガス	発生なし		
6.7. NMAST 切離し		点検中	
1	NMAST 1系統	切離し	OFF
2	NMAST 2系統	切離し	ON
3	NMAST 3系統	切離し	OFF
4	NMAST 4系統	切離し	OFF

ON表示は、切り離し状態。
 OFF表示は、切り離し解除状態を示します。

ONに変更した場合のNMAST電圧

- 1系統の切り離しをONにしたときは、その系統のNMAST電圧は0Vになります。
- 2系統～4系統の切り離しをONにしても、その系統のNMAST電圧は変化しません。

- 特定のNMAST系統の発生イベント（現象）を完全にマスクさせたい場合は、下記の手順で操作してください。

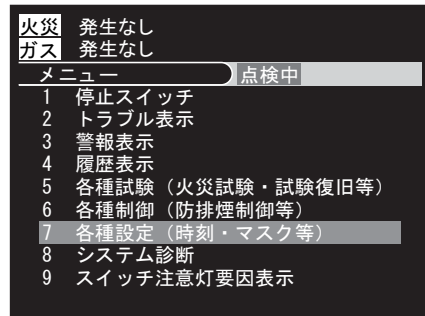
- ① 完全にマスクさせたい系統の切り離しをONにする。
- ② 「推奨電源切操作画面」（64ページ参照）に切り替え、「はい」を選択する。
- ③ 約30秒後に受信機が自動的に再起動する。
 - 受信機再起動のスタート時点から、その系統の切り離しがONとなっているので、その系統の発生イベント（現象）を完全にマスクすることができます。

7 各種設定（時刻・マスク等）

操作方法

- 1 メニュー画面の 7 各種設定（時刻・マスク等）を▼▲で選択し、メニュー/進む または 実行 を押す。または、7 を押し、メニュー/進む または 実行 を押す。

メニュー画面



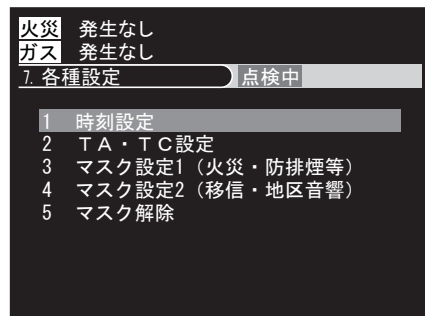
2 各種設定画面の

- 1 時刻設定 2 TA・TC設定
3 マスク設定1（火災・防排煙等）
4 マスク設定2（移信・地区音響）
5 マスク解除 の

いずれかを▼▲で選択し、メニュー/進む または 実行 を押す。

または、各項目の左端の番号（1～5）のいずれかを押し、メニュー/進む または 実行 を押す。

各種設定画面



3 1 時刻設定 を選択した場合

現在の時刻を設定する場合

注 受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしたときの現在時刻のバックアップ時間は約48時間です。

① 1 現在時刻設定 を   で選択する。

② 現在時刻をテンキーで入力する。

注 ●年は西暦の下2桁を表示します。
●時間の入力は24時間表現で入力してください。
例：PM9時→21

-   を押すと、カーソルが移動します。
-  を押すと、カーソルが先頭位置に移動します。

③  を押す。

- 現在時刻の設定が行われ、項目選択反転表示が下に移動します。

注 ●  を押さないと、現在時刻の設定は行われません。
●  を押す前に項目選択反転表示を移動させると、元の時刻表示に戻ります。

定時試験開始の時間を設定する場合

注 ●定時試験開始時間の設定情報は、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしても保持されます。
●定時試験の内容は「電池試験」「電源切替試験」「メモリ試験」となります。

① 2 定時試験開始時間設定 を   で選択する。

② 定時試験開始の時間をテンキー入力する。

注 時間の入力は24時間表現で入力してください。
例：PM9時→21

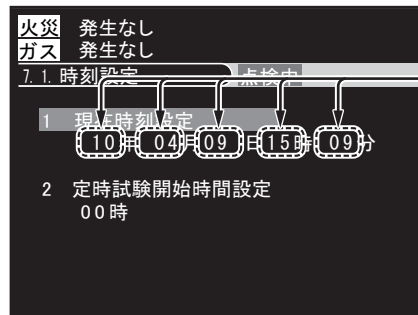
-   を押すと、カーソルが移動します。
-  を押すと、カーソルが先頭位置に移動します。

③  を押す。

- 定時試験開始時間の設定が行われ、項目選択反転表示が上に移動します。

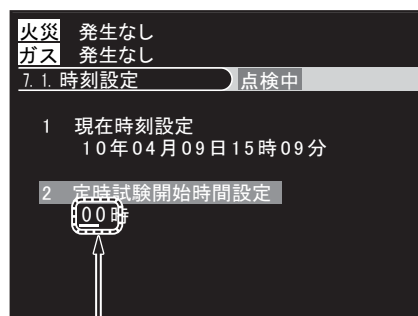
注 ●  を押さないと、定時試験開始時間の設定は行われません。
●  を押す前に項目選択反転表示を移動させると、元の定時試験開始時間の表示に戻ります。

時刻設定画面



テンキーで
入力する

時刻設定画面



テンキーで
入力する

3 2 TA・TC設定 を選択した場合

自動解除時間 (TA) を設定する場合

注 自動解除時間 (TA) の設定情報は、受信機の交流電源スイッチを「切」側 (電池もはずした状態) にしても保持されます。

- ① 1 自動解除時間TA を で選択する。
または、 を押す。
- ② で「2分」「4分」「6分」「8分」のいずれかを選択し、 を押す。

●自動解除時間 (TA) の設定が行われ、項目選択反転表示が下に移動します。

注 ●一斉鳴動時間 (TC) より、大きくなる値は表示されません。

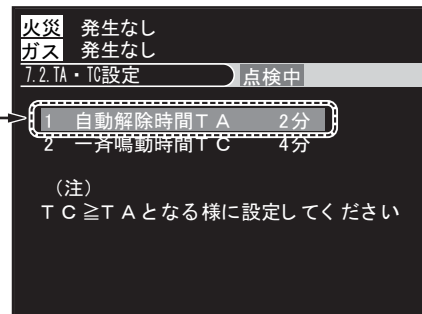
例：一斉鳴動時間 (TC) が6分と設定されている場合

●自動解除時間 (TA) の表示は、「2分」「4分」「6分」となります。

● を押さないと、自動解除時間 (TA) の設定は行われません。

● を押す前に項目反転表示を移動させると、元の自動解除時間 (TA) の表示に戻ります。

TA・TC設定画面



で「2分」「4分」「6分」「8分」のいずれかを選択し、 を押す。

一斉鳴動時間 (TC) を設定する場合

注 一斉鳴動時間 (TC) の設定情報は、受信機の交流電源スイッチを「切」側 (電池もはずした状態) にしても保持されます。

- ① 2 一斉鳴動時間TC を で選択する。
または、 を押す。
- ② で「4分」「6分」「8分」「10分」「OFF」のいずれかを選択し、 を押す。

●一斉鳴動時間 (TC) の設定が行われ、項目選択反転表示が上に移動します。

注 ●自動解除時間 (TA) より、小さくなる値は表示されません。

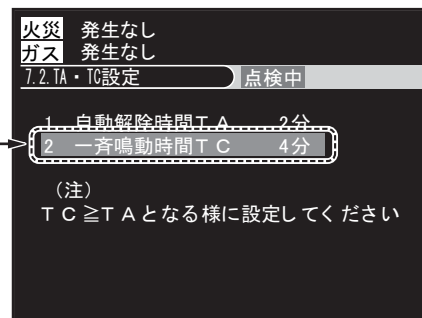
例：自動解除時間 (TA) が6分と設定されている場合

●一斉鳴動時間 (TC) の表示は、「6分」「8分」「10分」「OFF」となります。

● を押さないと、一斉鳴動時間 (TC) の設定は行われません。

● を押す前に項目反転表示を移動させると、元の一斉鳴動時間 (TC) の表示に戻ります。

TA・TC設定画面



で「4分」「6分」「8分」「10分」「OFF」のいずれかを選択し、 を押す。

3 3 マスク設定1（火災・防排煙等）を

選択した場合

操作方法

- を押すと、項目選択反転表示が上下左右に移動します。
- 1ページ目の「16 泡消火P」が選択されているときに を押すと、2ページ目の「17 泡弁」に切り替わります。
- 2ページ目の「22 電源断」が選択されているときに を押すと、1ページ目の「1 火災」に切り替わります。
- テンキーで選択したい項目の番号を押すと、項目選択反転表示が、その番号の項目に移動します。
- または を押すと、選択されている種類のマスク設定画面に切り替わります。
- 「3」～「22」の防排煙、諸警報の表示内容4文字は、件名テーブルで設定された4文字が表示されます。（「1」，「2」は固定です。）
- 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。
- 現在、マスクされているすべての情報を画面で確認したい場合、「マスク解除画面」に切り替えてください。（58ページ参照）
下記の操作で切り替えることができます。

● → →

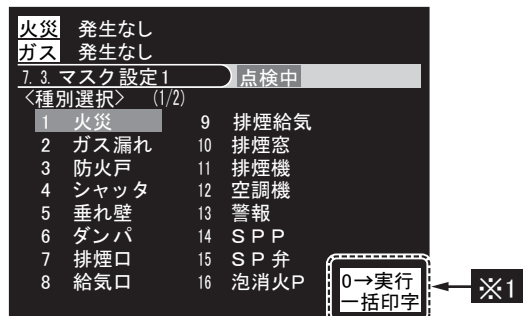
※1 → について

- 現在、マスクされているすべてのマスク情報をリスト化して印字したい場合、「マスク印字画面」に切り替えてください。（59ページ参照）
- 下記の操作で切り替えることができます。

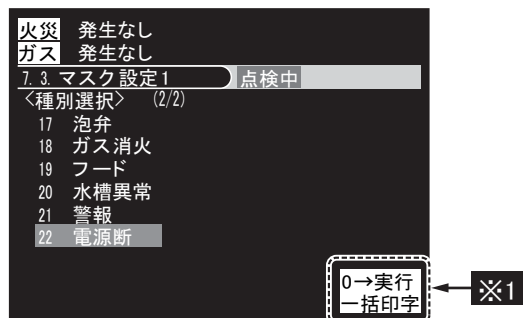
→

マスク設定1画面（種別選択）

●1ページ目



●2ページ目



3 マスク設定1（火災・防排煙等）を

選択した場合

マスクを設定する

- マスク設定された回線については、下記の動作が行われなくなります。
 - その回線の火災表示、ガス漏れ表示、防排煙表示、警報表示
 - その回線のトラブル表示
 - その回線への連動
 - その回線の火災試験、ガス漏れ試験、手動制御
- 火災・ガスもれ、防排煙、警報のマスク設定数の合計は400コまでです。
- この画面で設定したマスク設定情報は、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池をはずした状態）にしても保持されます。
- マスク設定情報を保持するタイミング（不揮発性メモリに書き込むタイミング）は下記のとおりです。
 - この画面から別画面に切り替えたとき

※マスクを設定1画面（種別選択）（54ページ参照）で「1 火災」を選択した場合

- ① マスク設定1画面（種別選択）（54ページ参照）で「1 火災」を選択し、**メニュー/進む**または**実行**を押す。

- ② マスク設定1画面になる。

- ③ マスク設定したい回線の読み替え情報をテンキーで入力する。

- ▶****◀**を押すと、カーソルが移動します。
- 取消**を押すと、入力された情報がゼロクリアになります。

- ④ **実行**を押す。

- 選択された回線に対して、マスク設定が行われ、その回線の読み替え情報が **※2** の設定履歴欄の先頭行に表示されます。

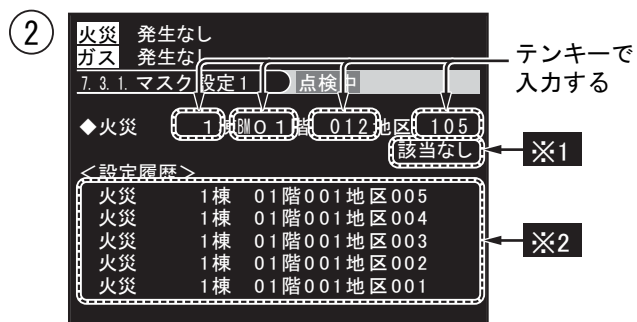
注 **実行**を押しても **※1** に下記が表示されたときは、マスク設定は行われません。

「該当なし」が表示されたとき	●入力された読み替え情報の回線が件名テーブルに設定されていません。読み替え情報を再確認してください。 ●件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。
「設定超過」が表示されたとき	●マスク設定の最大個数は400コまでです。400コを超えたマスク設定は行えません。
「設定済み」が表示されたとき	●入力された読み替え情報の回線がすでにマスク設定済みです。重複したマスク設定は行えません。

マスク設定1画面（種別選択）



マスク設定1画面



※2 について

- 常に最新5コまでのマスク設定された読み替え情報が表示されます。
- 5コ以前のマスク設定情報を確認したい場合は「マスク解除画面」（58ページ参照）に切り替えてください。
- 下記の操作で切り替えることができます。

戻る → **戻る** → **5 / P** → **実行**

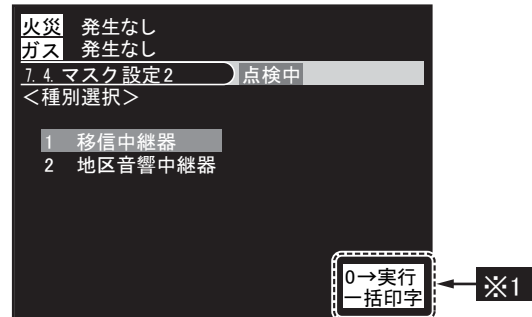
- 別画面に切り替えると、この設定履歴欄の表示はクリアされますが、マスク設定が解除されることはありません。

3 4 マスク設定2（移信・地区音響）を選択した場合

操作方法

- **▲▼** を押すと、項目選択反転表示が上下に移動します。
- テンキーで選択したい項目の番号を押すと、項目選択反転表示が、その番号の項目に移動します。
- **メニュー/進む** または **実行** を押すと、選択されている種別のマスク設定画面に切り替わります。

マスク設定2画面（種別選択）



※1 0→実行 一括印字 について

- 現在、マスクされているすべてのマスク情報をリスト化して印字したい場合、「マスク印字画面」に切り替えてください。（59ページ参照）
- 下記の操作で切り替えることができます。

0 / 空白 → **実行**

3 4 マスク設定2（移信・地区音響）を選択した場合

マスクを設定する

- マスク設定された回線については、下記の動作が行われなくなります。
 - その回線のトラブル表示
 - その回線への連動
 - その回線の手動制御
- 地区音響中継器、移信中継器のマスク設定数の合計は200コ（200回線）までです。
- この画面で設定したマスク設定情報は、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池をはずした状態）にしても保持されます。
- マスク設定情報を保持するタイミング（不揮発性メモリに書き込むタイミング）は下記のとおりです。
 - この画面から別画面に切り替えたとき

※マスクを設定2画面（種別選択）（56ページ参照）で「1 移信中継器」を選択した場合

① マスク設定2画面（種別選択）（56ページ参照）で「1 移信中継器」を選択し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。

② マスク設定2画面になる。

③ マスク設定したい移信中継器、地区音響中継器の回線のハード番号をテンキーで入力する。

- ▶** **◀** を押すと、カーソルが移動します。
- 取消** を押すと、入力された情報がゼロクリアになります。

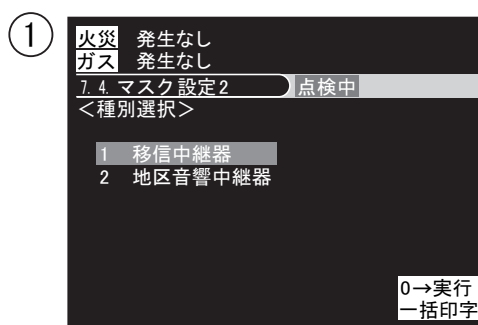
④ **実行** を押す。

- 選択された回線に対して、マスク設定が行われ、その回線のハード番号が **※2** の設定履歴欄の先頭行に表示されます。

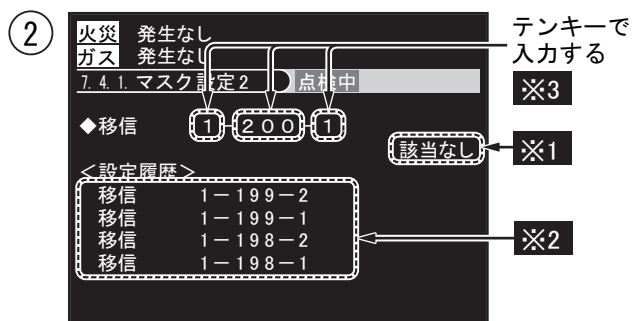
注 **実行** を押しても **※1** に下記が表示されたときは、マスク設定は行われません。

「該当なし」が表示されたとき	●以下の場合に、「該当なし」が表示されます。ハード番号を再確認してください。 ●入力されたハード番号の回線が件名テーブルに設定されていない場合 ●入力されたハード番号の回線が選択された中継器と異なる場合 ●件名テーブル設定については、施工店または点検契約店にお問い合わせください。
「設定超過」が表示されたとき	●マスク設定の最大個数は200コまでです。200コを超えたマスク設定は行えません。
「設定済み」が表示されたとき	●入力されたハード番号の回線がすでにマスク設定済みです。重複したマスク設定は行えません。

マスク設定2画面（種別選択）



マスク設定2画面



※2 について

- 常に最新5コまでのマスク設定されたハード番号が表示されます。
- 5コ以前のマスク設定情報を確認したい場合は「マスク解除画面」（58ページ参照）に切り替えてください。
- 下記の操作で切り替えることができます。

戻る → **戻る** → **5/P** → **実行**

- 別画面に切り替えると、この設定履歴欄の表示はクリアされますが、マスク設定が解除されることはありません。

※3 について

1-200-1
 ↑ ↑ ↑
 中継器の回線を示します。(1~4)
 端末アドレスを示します。(001~255)
 NMASTシステムを示します。(1~4)

3

5 マスク解除 を選択した場合

- 「マスク設定1画面」（54ページ参照）または「マスク設定2画面」（56ページ参照）で設定されたマスク情報がすべて表示されます。

マスクを解除する

- ① を押し、マスク解除したい個所に選択中表示「◆」を合わせる。
- ② を押す。
●選択した回線のマスク設定が解除されます。

※1 一括印字 について

- 現在、マスクされているすべてのマスク情報をリスト化して印字したい場合、「マスク印字画面」に切り替えてください。（59ページ参照）
- 下記の操作で切り替えることができます。

→

選択中表示

マスク解除画面

火災	発生なし
ガス	発生なし
7.5 マスク解除 点検中	
◆シャッタ	1棟 03階001
◇ダンパ	1棟 03階001
◇ガス漏れ	1棟 01階001地区
◇地区音響	1-199-2
◇地区音響	1-199-1
◇火災	1棟 01階012地区004
◇火災	1棟 01階012地区005

→ 実行
一括印字

※1

マスク印字

操作方法

- 1 マスク設定1画面（種別選択）、マスク設定2画面（種別選択）、マスク解除画面のいずれかで **0** /空白 を押し、**実行** を押す。

●マスク設定1画面（種別選択）の場合を示します。

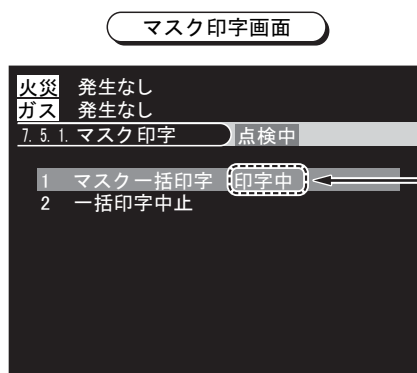


2 マスク印字画面の

- 1 マスク一括印字
- 2 一括印字中止

のいずれかを **▼** **▲** で選択し、**実行** を押す。

または、各項目の左端の番号（ **1** **2** ）のいずれかを押し、**実行** を押す。



一括印字が行われている間は、**【印字中】** が点滅します。

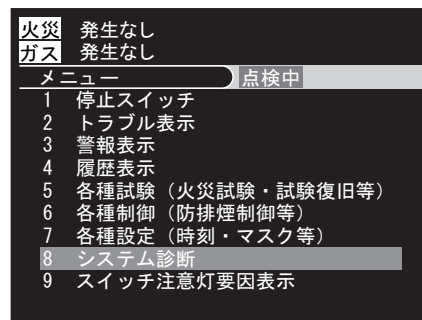
項 目	内 容
1 マスク印字	すべてのマスク情報をリスト化して印字します。
2 一括印字中止	現在、印字中の一括印字を中止します。

注 「トラブル印字画面」（31ページ参照）、「履歴印字画面」（36ページ参照）、「感知器汚れ印字画面」（63ページ参照）の一括印字が行われているときは、マスク印字画面での印字はできません。

操作[方]法

- 1 メニュー画面の **8 システム診断** を
 ▼ ▲ で選択し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。
 または、**8** を押し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。

メニュー画面



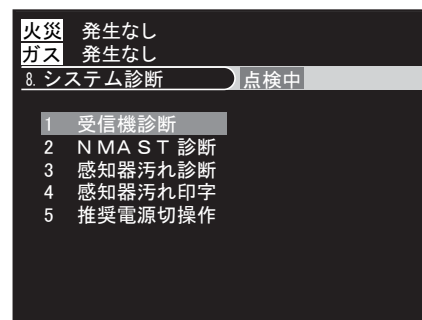
2 システム診断画面の

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 受信機診断 | 2 NMAST診断 |
| 3 感知器汚れ診断 | 4 感知器汚れ印字 |
| 5 推奨電源切操作 | |

のいずれかを ▼ ▲ で選択し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。

または、各項目の左端の番号 (**1** ~ **5**) を押し、**メニュー/進む** または **実行** を押す。

システム診断画面



3 1 受信機診断 を選択した場合

受信機の2次側消費電流 (DC24V) を表示します。

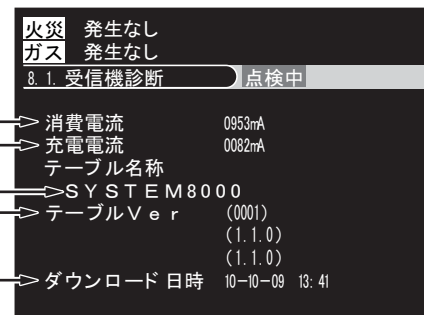
受信機の電池への充電電流 (DC24V) を表示します。

件名テーブル設定ツールにより受信機にダウンロードされた件名テーブルの名称を表示します。

件名テーブル設定ツールにより受信機にダウンロードされた件名テーブルのバージョンを表示します。

件名テーブル設定ツールにより受信機にダウンロードされた件名テーブルのダウンロード完了時の年月日時分を表示します。

受信機診断画面



注 件名テーブル設定については、施工店または点検契約店のお問い合わせください。

3 2 NMAST診断 を選択した場合

- ①
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 NMAST1系統 診断 | 2 NMAST2系統 診断 |
| 3 NMAST3系統 診断 | 4 NMAST4系統 診断 |

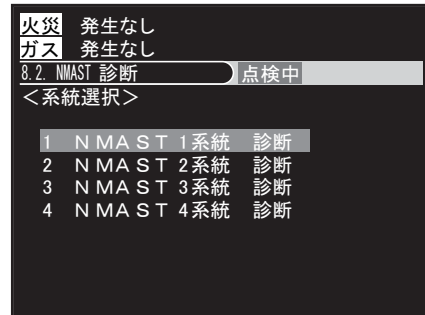
のいずれかを で選択し、

または を押す。

または、各項目の左端の番号 (~)

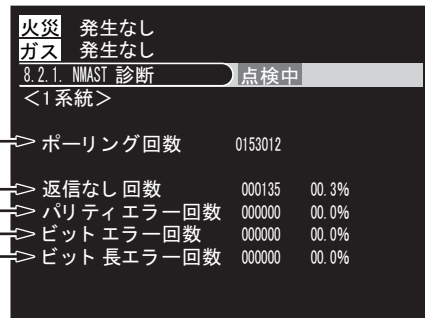
を押し、 または を押す。

NMAST診断画面



- ② 選択したNMASTの診断結果が表示される。

▼ NMAST1系統診断を選択した場合を表示します。



受信機からのNMAST送信信号の送信回数の累計を表示します。

端末からのNMAST返信信号の返信なし回数の累計と発生率を表示します。

端末からのNMAST返信信号のパリティエラー回数の累計と発生率を表示します。

端末からのNMAST返信信号のビットエラー回数の累計と発生率を表示します。

端末からのNMAST返信信号のビット長エラー回数の累計と発生率を表示します。

⑧ 「ポーリング回数」の最大値数が「9999999」まで到達したあとは、値を「0000000」に戻し、そのほかの項目の値もゼロにクリアします。

3 感知器汚れ診断 を選択した場合

- を押すことで画面のページ送り、ページ戻りができます。

※1 (02/05) について

02 / 05
↑
現在のページ数
を示します。

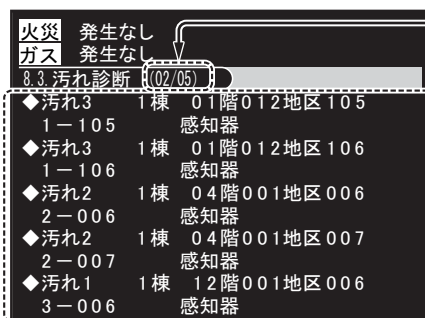
総ページ数を表示します。

- 最大99ページ (495報) まで表示することができます。

(R X) 煙感知器の汚れレベルの詳細を1画面あたり5報まで、汚れレベル3→汚れレベル2→汚れレベル1の順に表示します。

- ⑧
- 最大495報 (最大99ページ分) までの汚れレベルを表示することができます。
 - 495報を超えた汚れレベルについては表示されません。
 - 汚れレベル1・汚れレベル2については、当社へご相談ください。
 - 汚れレベル3については、73ページの「汚れ3」を参照ください。

感知器汚れ診断画面



※1

3 4 感知器汚れ印字 を選択した場合

感知器汚れ印字画面の	1 3種類全ての一括印字
2 汚れレベル3一括印字	3 汚れレベル2一括印字
4 汚れレベル1一括印字	5 一括印字中止

のいずれかを▼▲で選択し、
実行を押す。

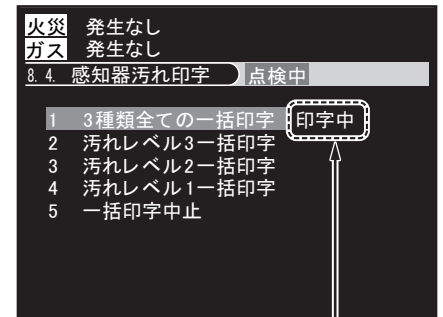
または、各項目の左端の番号（1～5）の
いずれかを押し、実行を押す。

項 目	内 容
1 3種類全ての一括印字	すべての汚れレベルの情報をリスト化して印字します。
2 汚れレベル3一括印字	汚れレベル3のみの情報をリスト化して印字します。
3 汚れレベル2一括印字	汚れレベル2のみの情報をリスト化して印字します。
4 汚れレベル1一括印字	汚れレベル1のみの情報をリスト化して印字します。
5 一括印字中止	現在、印字中の一括印字を中止します。

●いずれかの項目の一括印字中は、別項目の印字はできません。
途中で別の項目の一括印字を行いたい場合は、5 一括印字中止 の
操作を行ってください。

●「トラブル印字画面」（31ページ参照）、「履歴印字画面」（36ページ参照）、「マスク印字画面」（59ページ参照）の
一括印字が行われているときは、感知器汚れ印字画面での印字はできません。

感知器汚れ印字画面



一括印字が行われている間は、
【印字中】が点滅します。

3 5 推奨電源切操作 を選択した場合

推奨電源切操作画面で

「はい」「いいえ」のいずれかを

▼ ▲ で選択し、実行を押す。

はいを選択した場合

● 注 ● 前回の書き込み以降に新たに発生した差分の履歴情報を、一括して不揮発性メモリに書き込んだあとに「再起動画面」に切り替わります。

- 「再起動画面」に切り替わったあとであれば、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしても履歴情報は保持されます。
- 「再起動画面」に切り替わったあとは、受信機の動作は停止します。ただし、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしないときは、約30秒後に自動的に再起動します。
- 履歴情報を保持するタイミング（不揮発性メモリに書き込むタイミング）は下記のとおりです。
 - ・ 推奨電源切操作画面にて実行操作が行われたとき
 - ・ 1日1回、自動で実施する定時試験が行われたとき
 - ・ 電池未接続を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）
 - ・ 交流電源断を検出したとき（不揮発性メモリに書き込むのに約5秒の時間が必要です）

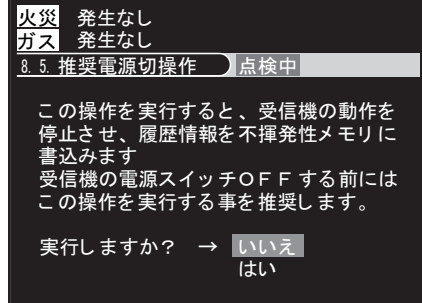
※1 について

- 書き込みが完了しているので、受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしても履歴情報は保持されます。
- 受信機の交流電源スイッチを「切」側（電池もはずした状態）にしないときは、約30秒後に自動的に再起動します。

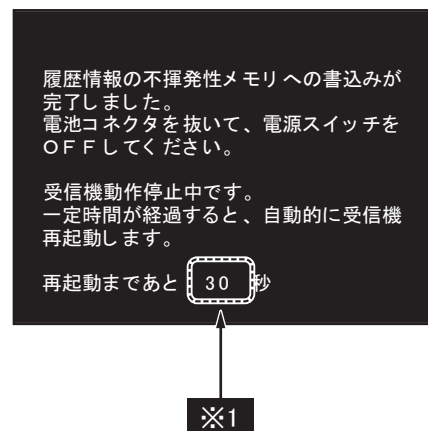
いいえを選択した場合

2 のシステム診断画面（61ページ）に戻ります。

推奨電源切操作画面



再起動画面



12. 点検・設定方法

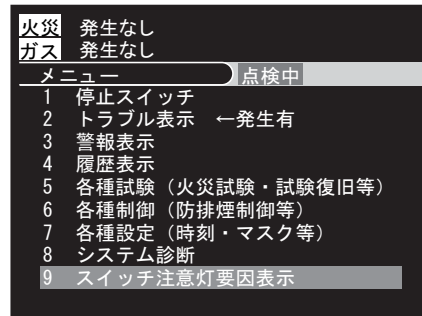
9

スイッチ注意灯要因表示

操作方法

- 1 メニュー画面の 9 スイッチ注意灯要因表示
を   で選択し、 または  を押す。
または、 を押し、 または  を押す。

メニュー画面

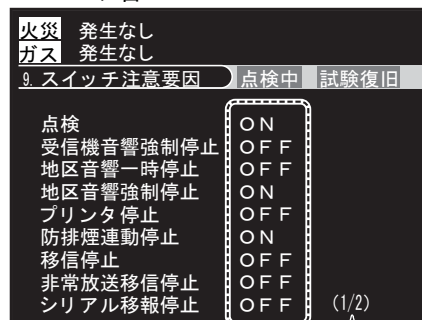


- 2 スイッチ注意灯を点滅させる要因となるすべてのスイッチの現在の状態が表示される。

-   を押すと、1ページ目の画面表示と2ページ目の画面表示が切り替わります。

スイッチ注意灯要因表示画面

●1ページ目

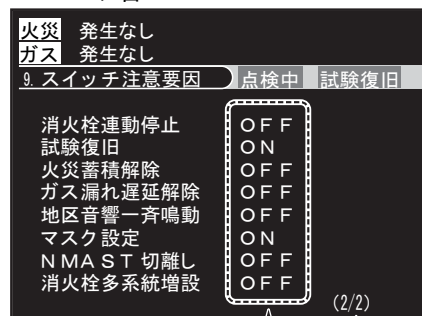


現在のスイッチ
状態を示します。

現在のページ
数を示します。

総ページ数
を示します。

●2ページ目



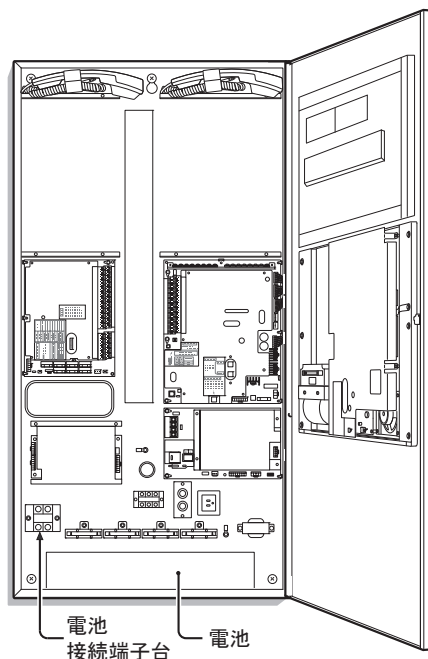
現在のスイッチ
状態を示します。

現在のページ
数を示します。

総ページ数
を示します。

13. 部品などの交換方法

電池の交換



- 図は壁掛型の場合を示します。
(件名仕様により異なります。
詳しくは、機器の納入仕様書図をご確認ください。)

お願い事項

- 電池を取りはずすときは、必ず交流電源スイッチを「切」側の状態で行ってください。
- ニカド電池は、当社受信機専用品（受託評価適合品）を使用してください。（81ページ参照）
- ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済の電池は捨てないで、リサイクルへご協力ください。
- ニカド電池の寿命は約5年です。取り付け日から5年をめやすに交換してください。停電時、正常に機能しない場合があります。



Ni-Cd
ニカド電池は
リサイクルへ

- この製品には、ニカド電池を使用しています。ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃却に際しましては、ニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。



警告



禁止

- 電池の取り付け、取りはずし時、絶対に端子を短絡させないでください。
発火するおそれがあります。

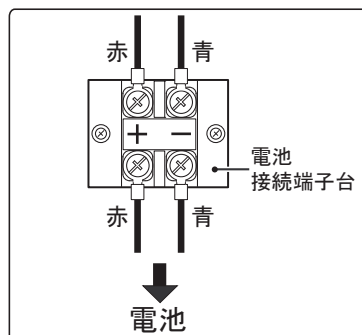
取りはずし方

- 1 電池の端子を電池接続端子台よりはずし、電池固定バンドを取りはずし、電池を取りはずす。

取り付け方

- 1 新しい電池を電池接続端子台へ接続し、電池を本体内に収納し、結束バンド（市販品）で固定する。

ⓘ 接続時は、電池の極性（+：赤、－：青）に注意してください。



ヒューズの交換



警告



必ず守る

- ヒューズの交換は電源（AC100V）を切り、電池をはずした状態で行う。
電源を切らないと、感電の原因となります。
- ヒューズは必ず指定のものを使用する。
それ以外のものを使用した場合、発火・故障の原因となります。

●図は壁掛型の場合を示します。
(件名仕様により異なります。詳しくは、
機器の納入仕様書図をご確認ください。)

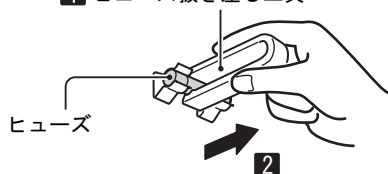
注 ヒューズ交換時は、となりのヒューズ金具と接触させないでください。

ヒューズの取りはずし方

- 1 ヒューズにヒューズ抜き差し工具を挿入する。
●ヒューズ抜き差し工具は、予備品 **保管用** の袋に入っています。

- 2 ヒューズ抜き差し工具をつまみ、引っ張る。

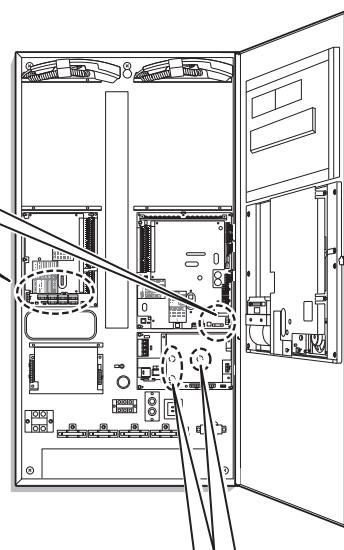
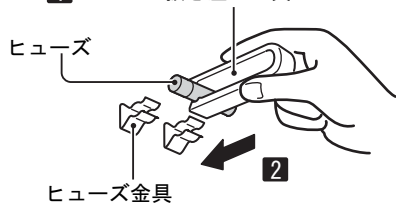
1 ヒューズ抜き差し工具



ヒューズの取り付け方

- 1 ヒューズ抜き差し工具にヒューズを挿入する。
- 2 ヒューズ抜き差し工具をつまみ、ヒューズ金具に挿入する。

1 ヒューズ抜き差し工具



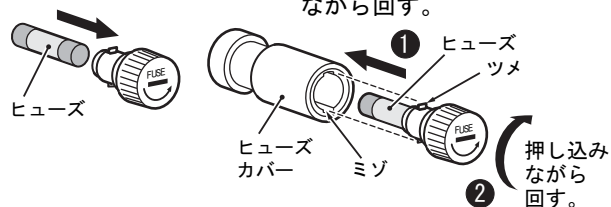
注 ヒューズが切れている場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。

ヒューズの取りはずし方

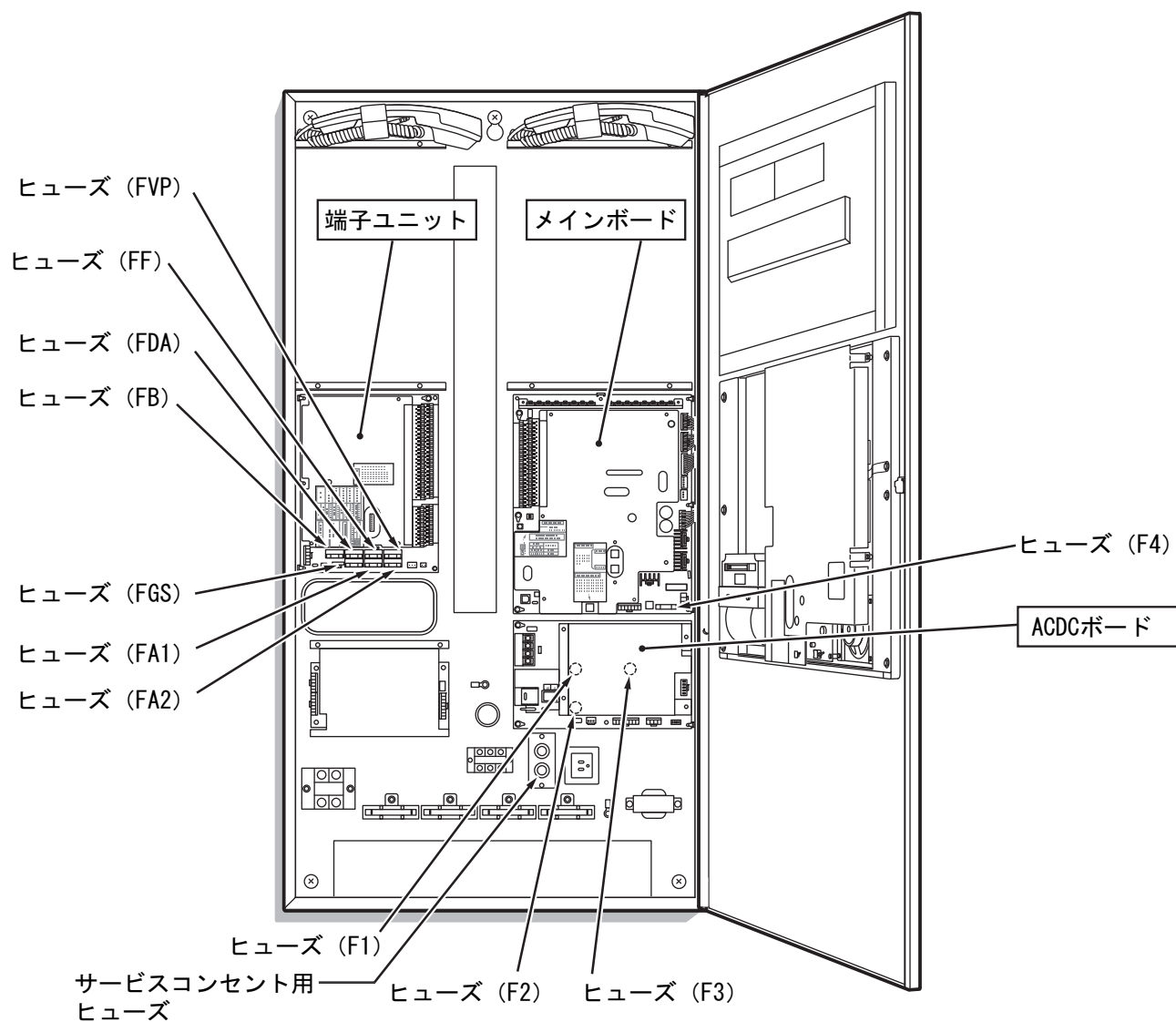
- 1 まわす
押し込みながら
- 2 ヒューズを抜き取る。

ヒューズの取り付け方

- 1 ヒューズを挿入する。
- 2 ヒューズカバーのミゾにツメを合わせ、押し込みながら回す。



ヒューズ容量と用途について



●図は壁掛型の場合を示します。
 (件名仕様により異なります。
 詳しくは、機器の納入仕様書図を
 ご確認ください。)

ブロック名	記号	ヒューズ容量	用途
メインボード	F4	10A	予備電源ヒューズ
端子ユニット	FB	2A	地区音響ヒューズ
	FDA	1A	監視ヒューズ
	FF	1A	汎用ヒューズ
	FVP	3A	防排煙制御ヒューズ
	FGS	1A	ガス漏れ表示灯ヒューズ
	FA1	0.5A	発信機応答1ヒューズ
	FA2	0.5A	発信機応答2ヒューズ
ACDCボード	F1	10A	交流1次側ヒューズ
	F2	10A	交流1次側ヒューズ
	F3	1A	交流1次側ヒューズ
サービスコンセント部	—	5A	サービスコンセント用ヒューズ
	—	5A	サービスコンセント用ヒューズ

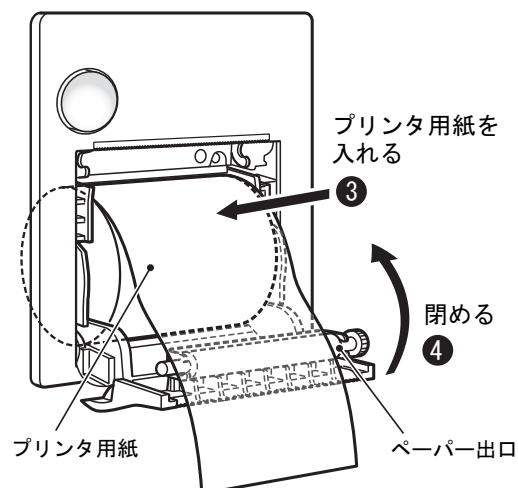
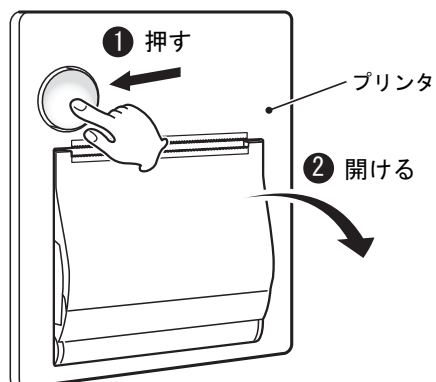
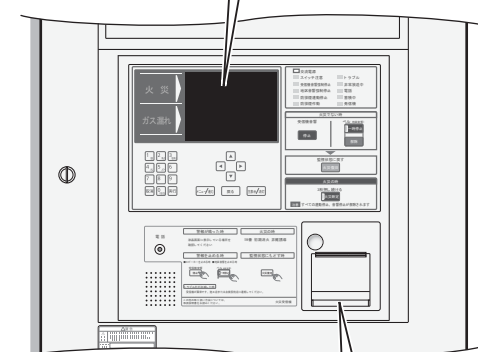
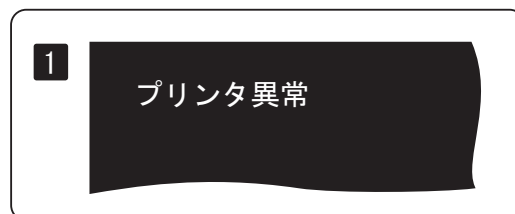
プリンタ用紙の交換

- 1 プリンタが紙切れになると、液晶画面にプリンタ異常が表示される。

- 2 プリンタの左上部のボタンを押し、扉を開ける。

- 3 プリンタ用紙を挿入する。
 - プリンターロール紙（別売）については当社までお問い合わせください。

- 4 ペーパー出口の上部にプリンタ用紙の紙を引き出した状態で置き、「カチン」と音がするまで扉を閉める。



感知器・検知器・表示灯について

■感知器・検知器について



警告



必ず守る

- 感知器・検知器を取り付けるときは、確実に止まるまで時計方向に回す。
正しく取り付けないと通電不良や落下のおそれがあります。



禁止

- 誤って落下や衝撃を加えたり、変形したような感知器・検知器は使用しない。
正常に機能しない場合があります。



分解禁止

- 感知器・検知器は分解したり、衝撃を与えたりしない。
正常に火災やガスもれを検知しなくなるおそれがあります。

■表示灯について



警告



禁止

- 表示灯の表示ランプは、指定の定格品以外は使用しないでください。
発火・故障の原因となります。

14. 異常時の点検・処置

⚠ 注意



必ず守る

- この設備に異常があるときは以下の点検・処置をする。
異常を放置すると火災・ガスもれ時に警報が出ないため避難・消火・換気・爆発防止活動が大幅に遅れる危険があります。

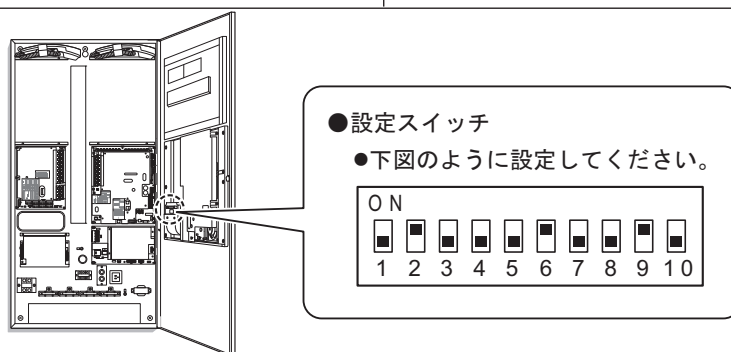
- 以下の異常状態のときは、取り扱いされる方が点検・処置をしてください。

状 態	点 検	処 置
交流電源灯が消灯している。	自動火災報知設備専用ブレーカーが「切」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入」側にする。
火災でないのに警報動作をする。	煙感知器の近くに調理の煙・水蒸気・ホコリなどが滞留していないか？	煙・水蒸気などを取り除き、火災復旧スイッチを押す。
	熱感知器の近くにストーブなど暖房の熱が直接当たっていないか？	熱などを取り除き、火災復旧スイッチを押す。
	発信機の押ボタンが押されたままになっていないか？（発信機灯が点滅していないか？）	発信機の押ボタンを元に戻し、火災復旧スイッチを押す。
	どこにも火事や煙の発生がないことを十分確認したか？	地区音響を再鳴動させたくない場合は、地区音響強制停止状態にする。 (18ページ参照) 注 スイッチ注意灯・地区音響強制停止灯が点滅し、約1分間隔でブザー音が鳴ります。 この状態のままでは、正常に警報動作を行うことができません。必ず施工店または点検契約店に連絡してください。
ガスもれでないのに警報動作をする。	検知器の近くで、殺虫剤（くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤も含む）、化粧品などのスプレーを使用していないか？	窓やドアを開け、換気をする。
	検知器の近くで、シンナー、ペンキなど可燃性の溶剤や塗料を使用していないか？	
	検知器にみりん、しょう油、ワイン、酒の罐の蒸気がかかっているか？	
	検知器に濃厚なタバコの煙がかかっているか？	
スイッチ注意灯が点滅している。	ベル（地区音響）一時停止スイッチの赤色ランプが点滅していないか？	●ベル（地区音響）一時停止解除スイッチを押す。 ●ベル（地区音響）一時停止スイッチの赤色ランプが点滅していない場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

状 態	点 検	処 置
交流電源灯が消灯している。	自動火災報知設備専用ブレーカが「切」側になっていないか？	専用ブレーカを「入」側にする。
	受信機内の交流電源スイッチが「切」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。
	交流1次の配線が断線していないか？	配線を直す。
	停電などにより交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
	交流1次側ヒューズ（F1・F2・F3）が切れていないか？	受信機内部の異常です。施工店または点検契約店に連絡してください。
火災でないのに警報動作する。	感知器配線が短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す、感知器を確認する。
	火災以外の原因はないか？	日常点検をする。（22ページ参照）
ガスもれでないのに警報動作する。	ガスもれ以外の原因はないか？	日常点検をする。（22ページ参照）
火災復旧状態で火災復旧スイッチを押しても復旧しない。	感知器または発信機が作動状態になっていないか？	●感知器から熱または煙を取り去る。 ●発信機の押ボタンを元に戻す。
	発信機灯が点滅していないか？	発信機の押ボタンを元に戻す。
2信号感知器が火災にならない。	誤って2信号感知器ではなくアナログ感知器を接続していないか？	2信号感知器に接続し直す。
制御出力が復旧しない。	45・47・48ページの〈制御復旧〉欄に該当の回線が表示されていないか？	該当回線を選択し、制御復旧の操作を行う。
	連動元の信号がONのままになっていないか？	連動元の信号を復旧させる。
非常放送中灯が点滅している。	非常放送地区音響端子（EB+・EB-）の配線が短絡していないか？	配線を直す。
スイッチ注意灯が点滅している。	「スイッチ注意灯要因表示画面」（65ページ参照）で表示されているスイッチの中に「ON」が表示されているスイッチはないか？	該当のスイッチを「OFF」にする。
トラブル灯が点滅し、音声警報が鳴動している。	「トラブル画面」（30ページ参照）に表示されているトラブル内容・発生場所を確認する。	73・74ページの該当項目の点検・処置を行う。
プリンタ用紙に「テーブル未設定」が印字される。	件名テーブルに設定されていないハード番号の端末が接続されていないか？	●余分な端末を取りはずす。 ●件名テーブルに該当のハード番号の端末を追加登録し、ダウンロードし直す。 （施工説明書の「件名テーブルを登録する」を参照）
プリンタが印字されない。	プリンタ裏面の設定スイッチの設定が正しいか？	設定スイッチの設定を直す。（下図参照）
表示灯が消灯している。	表示灯端子（U1・U2）の配線が短絡していないか？	配線を直す。
	交流1次側ヒューズ（F3）が切れていないか？	交流1次側ヒューズ（F3）を交換する。
トラブル灯が点灯し、ピー音が連続鳴動している。	受信機の電源を切り（電池もはずす）、再度、電源を入れても左記状態が復旧しないか？	受信機内部のMMIボードが異常です。施工店または点検契約店に連絡してください。

プリンタ裏面の設定スイッチについて



15. | トラブル発生時の点検・処置

トラブル画面の表示	点 検	処 置
伝送不良	NMAST伝送線が断線、短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。
	件名テーブルに設定されたハード番号の感知器、発信機、中継器が未接続となっていないか？	該当の感知器、発信機、中継器を接続する。
	件名テーブルに設定されたハード番号と、感知器、発信機、中継器側のアドレス設定がずれていないか？	●件名テーブルのハード番号を直す。 ●感知器、発信機、中継器のアドレス設定を直す。
伝送不良※	NMAST伝送線が絶縁劣化していないか？	配線を直す。
	感知器、発信機、中継器側のアドレス設定が複数個所で同一アドレスを重複して設定されていないか？	重複しているアドレス設定を直す。
NMAST短絡	NMAST伝送線が短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。
種別異常	件名テーブルに設定された種別（感知器、発信機）と実際に接続されている種別が異なっていないか？	●件名テーブルの種別を直し、ダウンロードし直す。 （施工説明書の「件名テーブルを登録する」を参照） ●実際に接続されている種別を正しい種別（件名テーブルに設定された種別）に交換する。
2次断線	アドレスアダプタ2次側の感知器配線が断線していないか？	配線を直す。
	アドレスアダプタ2次側の感知器配線に終端器が接続されているか？ または、指定以外の終端器が接続されていないか？	指定の終端器を接続する。 ●(R)アドレスアダプタ：専用終端器 （コンデンサ470nF50V） （(R)アドレスアダプタに付属） ●アドレスアダプタ4回線用：10kΩ1W終端抵抗器
感知異常	_____	感知器内部が劣化しており、交換が必要です。 施工店または点検契約店に連絡してください。
汚れ3	_____	感知器内部に汚れが付着しており、交換が必要です。 施工店または点検契約店に連絡してください。
分離異常	_____	光電式分離型感知器の異常です。光電式分離型感知器に付属の施工説明書を参照して、点検・処置を行ってください。
ガス故障	ガス漏れ中継器2次側の検知器配線が断線していないか？	配線を直す。
	ガス漏れ表示灯ヒューズ（FGS）が切れていないか？	ガス漏れ表示灯ヒューズ（FGS）を交換する。
	検知器電源（別電源）の交流電源スイッチが「切（OFF）」側の状態で電池電圧が低下していないか？	検知器電源（別電源）の交流電源スイッチを「入（ON）」側にする。
制御線異常	監視端子（DA＋・CC）とガス漏れ中継器の間の配線が断線、短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。
	監視ヒューズ（FDA）が切れていないか？	監視ヒューズ（FDA）を交換する。
地区音響断線	地区音響中継器2次側の地区音響配線が断線していないか？	配線を直す。
	地区音響中継器2次側の地区音響配線に終端器が接続されているか？ または、指定以外の終端器が接続されていないか？	指定の終端器（NYY915）を接続する。
	地区音響端子（B＋・BC）と地区音響中継器の間の配線が断線、短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。
	地区音響ヒューズ（FB）が切れていないか？	地区音響ヒューズ（FB）を交換する。
	地区音響鳴動中にNMAST伝送線が一瞬でも断線または短絡しなかったか？	鳴動中の地区音響をすべて復旧させる。
地区音響短絡	地区音響中継器2次側の地区音響配線が短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。
非常放送配線断線	非常放送地区音響停止端子（EB＋・EB－）の配線が断線していないか？	配線を直す。
	非常放送地区音響停止端子（EB＋・EB－）の配線に終端抵抗器が接続されているか？ または、指定以外の終端抵抗器が接続されていないか？	指定の終端抵抗器（10kΩ1W）を接続する。

トラブル画面の表示	点 検	処 置
交流電源断	自動火災報知設備専用ブレーカが「切」側になっていないか？	専用ブレーカを「入」側にする。
	受信機内の交流電源スイッチが「切」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。
	交流1次の配線が断線していないか？	配線を直す。
	停電などにより交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
	交流1次側ヒューズ（F1・F2・F3）が切れていないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡してください。
電池未接続	電池が接続されているか？	受信機内の電池を接続する。（66ページ参照）
	電池ヒューズ（F4）が切れていないか？	電池ヒューズ（F4）を交換する。
電池試験不良	電池が接続されているか？	受信機内の電池を接続して、再度、電池試験を行う。 （66ページ参照）
	電池ヒューズ（F4）が切れていないか？	電池ヒューズ（F4）を交換して、再度、電池試験を行う。
	「電池試験画面」（41ページ参照）にて電池試験を行い、電池試験結果が良となるか？	新しい電池と交換して、再度、電池試験を行う。 （66ページ参照）
電源切替試験不良	「一斉試験画面」（40ページ参照）にて一斉試験を行い、電源切替試験結果が良となるか？	受信機内の電源切替回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡してください。
主回路電圧異常	交流電源スイッチが「切」側の状態で電池の電圧が低下していないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。
	汎用端子（F+・GC）の電圧が20.4V未満になっていないか？	受信機内の電源回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡してください。
ヒューズ断線	地区音響ヒューズ（FB）が切れていないか？	地区音響ヒューズ（FB）を交換する。
	防排煙制御ヒューズ（FVP）が切れていないか？	防排煙制御ヒューズ（FVP）を交換する。
	監視ヒューズ（FDA）が切れていないか？	監視ヒューズ（FDA）を交換する。
	汎用ヒューズ（FF）が切れていないか？	汎用ヒューズ（FF）を交換する。
	ガス漏れ表示灯ヒューズ（FGS）が切れていないか？	ガス漏れ表示灯ヒューズ（FGS）を交換する。
	発信機応答1ヒューズ（FA1）が切れていないか？	発信機応答1ヒューズ（FA1）を交換する。
	発信機応答2ヒューズ（FA2）が切れていないか？	発信機応答2ヒューズ（FA2）を交換する。
プリンタ異常	プリンタカバーが開いていないか？	プリンタカバーを閉じる。（69ページ参照）
	プリンタ用紙が紙切れしていないか？	プリンタ用紙を交換する。（69ページ参照）
	プリンタ裏面の設定スイッチの設定が正しいか？	設定スイッチの設定を直す。（72ページ参照）
メモリ異常1	パソコンから受信機への件名テーブルのダウンロードが完了しているか？	件名テーブルをダウンロードする。 （施工説明書の「件名テーブルを登録する」を参照）
	「一斉試験画面」（40ページ参照）にて一斉試験を行い、メモリ試験結果が良となるか？	件名テーブルをダウンロードする。 （施工説明書の「件名テーブルを登録する」を参照） それでも復旧しない場合は、受信機内部の不揮発性メモリが異常です。 施工店または点検契約店に連絡してください。
メモリ異常2	_____	受信機内部の不揮発性メモリが異常です。 施工店または点検契約店に連絡してください。
ユニット異常	_____	受信機内部の該当のユニットもしくは内部ハーネスが異常です。施工店または点検契約店に連絡してください。
周辺機器異常	RS485伝送端子（S+・S-）の副表示機配線が断線、短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。
	件名テーブルに設定された副表示機台数と、実際に接続されている副表示機台数が一致しているか？	●件名テーブルの副表示機台数を直し、ダウンロードし直す。（施工説明書の「件名テーブルを登録する」を参照） ●不足している副表示機を接続する。 ●余分な副表示機をはずす。
	副表示機の交流電源スイッチが「切」側の状態で電池電圧が低下していないか？	副表示機の交流電源スイッチを「入」側にする。
	RS485 2/4線切替設定スイッチ（SW2）が「4線式」の設定になっていないか？	設定を直す。 （施工説明書の「機能設定」を参照）

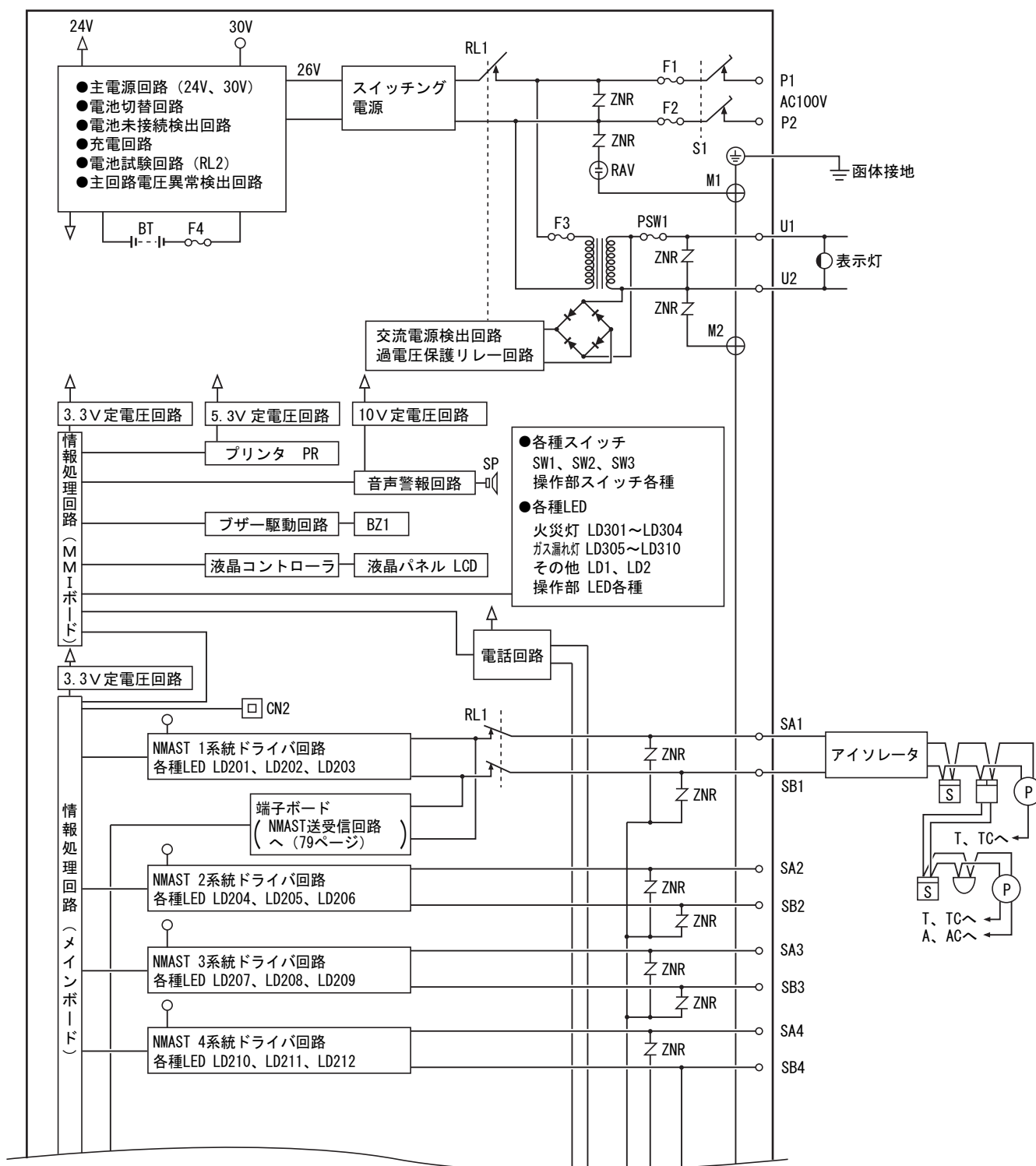


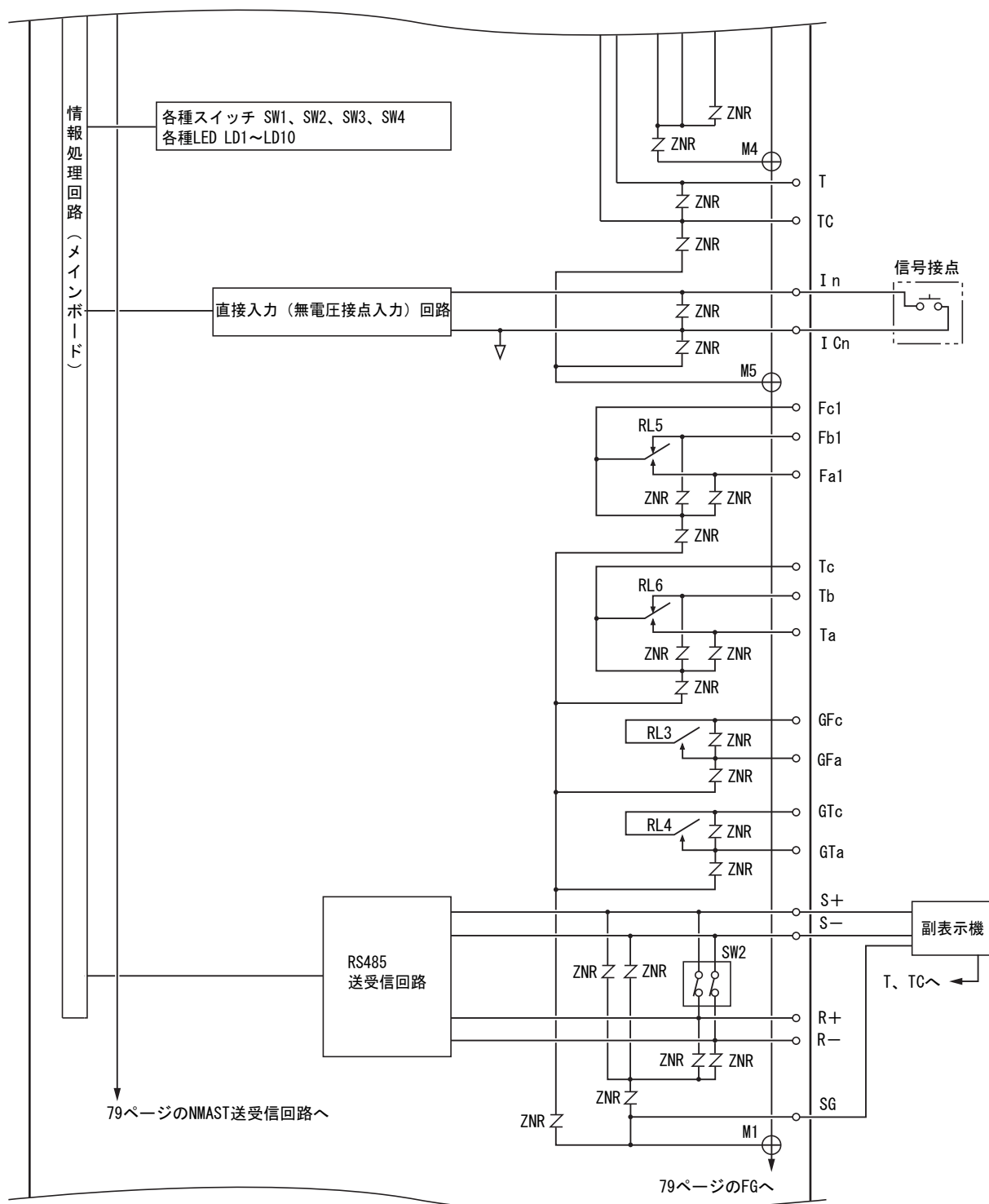
16. 内部回路図

記 号	名 称
S1	交流電源スイッチ
F1	交流1次側ヒューズ
F2	交流1次側ヒューズ
F3	交流1次側ヒューズ
PSW1	表示灯2次側回路保護素子
RL1	過電圧保護リレー
PT	表示灯トランス
LD1	CPU状態灯
LD2	CPU状態灯
LD3	USBポート送信灯
LD4	USBポート受信灯
LD5	MM I ボード送信灯
LD6	MM I ボード受信灯
LD7	RS485送信灯
LD8	RS485受信灯
LD9	RS232送信灯
LD10	RS232受信灯
SW1	リセットスイッチ(メイン)
SW2	RS485 2/4線切替設定スイッチ (メイン)
SW3	ブートスイッチ(メイン)
SW4	予備電源起動スイッチ(メイン)
RL1	NMAST切離しリレー
RL2	電池試験リレー
RL3	ガス漏れ代表リレー
RL4	ガス故障代表リレー
RL5	火災代表リレー
RL6	トラブル代表リレー
F4	予備電源ヒューズ
LD201	NMAST1系統送信灯
LD204	NMAST2系統送信灯
LD207	NMAST3系統送信灯
LD210	NMAST4系統送信灯
LD202	NMAST1系統返信灯
LD205	NMAST2系統返信灯
LD208	NMAST3系統返信灯
LD211	NMAST4系統返信灯

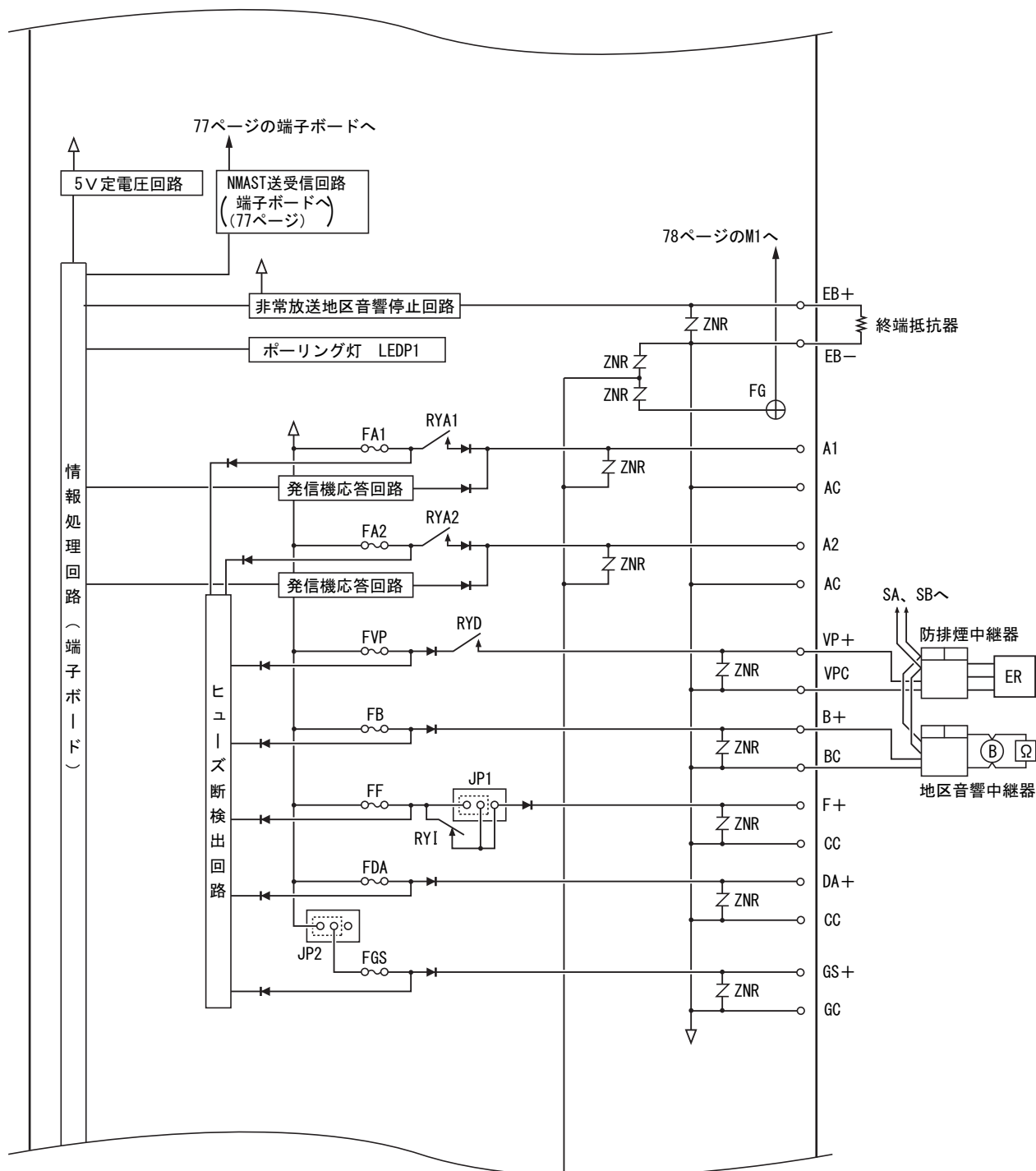
記 号	名 称
LD203	NMAST1系統短絡灯
LD206	NMAST2系統短絡灯
LD209	NMAST3系統短絡灯
LD212	NMAST4系統短絡灯
SW1	点検スイッチ(MM I)
SW2	リセットスイッチ(MM I)
SW3	ブートスイッチ(MM I)
LD301～ LD304	火災灯
LD305～ LD310	ガス漏れ灯
LCD	液晶パネル
PR	プリンタ
BZ1	ブザー
SP	スピーカ
CN2	USBコネクタ
LEDP1	ポーリング灯
RYE1～ RYE15	非常放送移行リレー
RYEF	非常放送火災確認リレー
RY I	火災復旧リレー
RYH1	消火栓始動リレー
RYH2	消火栓始動リレー
RYA1	発信機応答リレー
RYA2	発信機応答リレー
RYR0	代表増設移行リレー
RYR1	代表増設移行リレー
RYD	防排煙制御電源供給リレー
FDA	監視ヒューズ
FF	汎用ヒューズ
FB	地区音響ヒューズ
FVP	防排煙制御ヒューズ
FGS	ガス漏れ表示灯ヒューズ
FA1	発信機応答ヒューズ
FA2	発信機応答ヒューズ
ZNR、RAV	サージアブソーバ
BT	電池

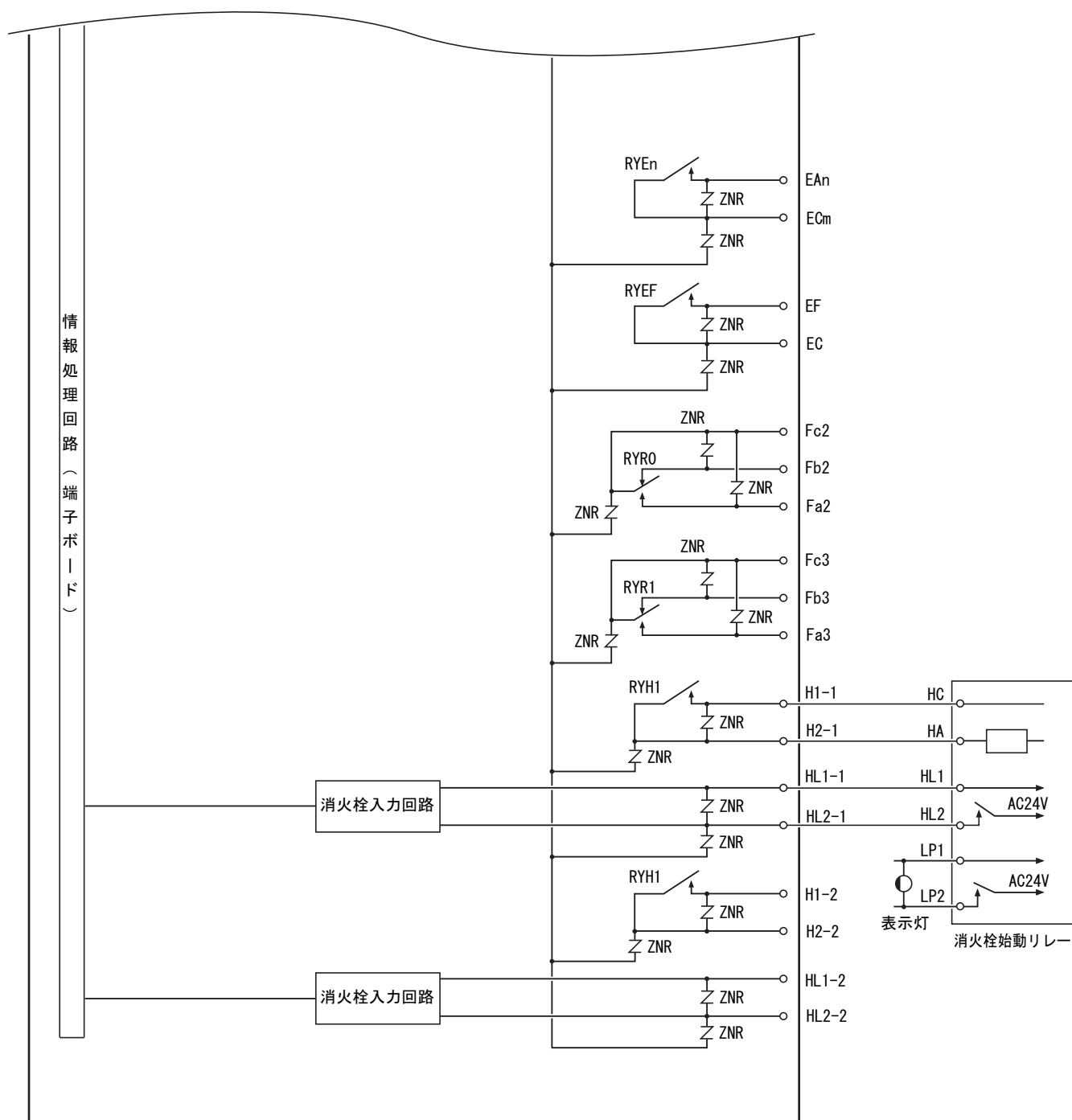
●スイッチおよびリレーの接点方向は平常時の状態を示します。





- スイッチおよびリレーの接点方向は平常時の状態を示します。





17. 定格・仕様

国家検定型式番号	受第22～11号
自主評定型式承認番号	AR-10-2
常用電源	AC100V 50/60Hz (P1—P2) 消費電力：警戒時最大110VA 警報時最大320VA
予備電源	DC24V 10000mAh ニッケルカドミウム蓄電池 (充電方式：トリクル充電、充電電流：185mA) (受託評価適合品)
NMAST伝送線系統数	4系統 (感知器、発信機、中継器接続用)
NMAST伝送線接続数	最大1020アドレス (最大255アドレス/1系統) (1系統目の255ADは内部ユニットで消費します。)
RS485伝送線系統数	1系統 (副表示機接続用)
RS485伝送線接続数	副表示機：最大31台
(RX) 感知器、発信機、 中継器 接続個数 (1系統あたり)	A アドレス感知器、発信機 : 255コまで/1系統 B アドレスアダプタ : 200コまで/1系統 C アドレスアダプタ4回線用 : 50コまで/1系統 D アドレス熱電対検出器 : 120コまで/1系統 E アイソレータ : 20コまで/1系統 F 中継器 : 50コまで/1系統 G 旧中継器 (分散型) : 100コまで/1系統 H 地図式表示ユニット : 25コまで/1系統 ●上記が混在する時は次の式を満足すること。(電源容量による制限) $0.3 \times A + B + 4 \times C + 1.66 \times D + 1.5 \times E + 4 \times F + 2 \times G + 8 \times H \leq 200 / 1 \text{ 系統}$
アドレスアダプタ 2次側の 一般感知器接続個数	I 一般熱感知器 (電子式) (NCH535EXA接続) : 30コまで/1回線 J 一般熱感知器 (電子式) (NCH557EX接続) : 80コまで/1回線 K 一般煙感知器 : 20コまで/1回線 L 一般光電分離型感知器 : 1コまで/1回線 M 一般熱電対検出器 : 7コまで/1回線 N 一般炎感知器 (NCH535EXA接続) : 2コまで/1回線 P 一般炎感知器 (NCH557EX接続) : 4コまで/1回線 接点式の一般熱感知器については、無制限一般発信機については無制限 ●上記が混在する時は次の式を満足すること。 $I + 1.5 \times K + 30 \times L + 4.2 \times M + 15 \times N \leq 30 / 1 \text{ 回線 (NCH535EXA接続)}$ $J + 4 \times K + 80 \times L + 11.4 \times M + 20 \times P \leq 80 / 1 \text{ 回線 (NCH557EX接続)}$ 一般光電分離型感知器接続時は他感知器の混在不可 <伝送1系統あたりの一般感知器の接続個数> $I + J + 4 \times K + 100 \times L + 16 \times M + 13.33 \times (N + P) \leq 2000 / 1 \text{ 系統}$
表 示 部	カラー液晶 (5.7インチ) 320×240ドット/1画面 漢字メッセージ12文字 (JIS第2水準) ユニバーサルデザインフォント 地図式表示 最大64LED (A3サイズ横) (※1)
音響装置	スピーカ DC10V 300mA警報音 (断続音) + 音声メッセージ 85dB以上 (火災警報時、前方1m)
プリンタ	サーマルドット方式 24×24ドット/1文字 漢字16文字/行 (JIS第2水準) プリンタ用紙：感熱、用紙幅58mm
蓄積時間 (火災)	公称蓄積時間60秒 熱感知器 : 10秒 煙感知器 : 60秒 (RX) 煙感知器 : 50秒 (A I 判断機能付)
遅延時間 (ガス漏れ)	標準遅延時間50秒
代表移信	火災代表 : 1点 (Fa1、Fb1—Fc1) ガス漏れ代表 : 1点 (GFa—GFc) (※2) 代表増設 : 2点 (Fa2、Fb2—Fc2) (Fa3、Fb3—Fc3) (※3) トラブル代表 : 1点 (Ta、Tb—Tc) (※2) ガス故障代表 : 1点 (GTa—GTc) (※2) 無電圧接点 接点容量 DC30V1Aまで

非常放送連動	火災確認： 1点 (EF—EC) (※2) 個別移信： 15点 (EA1……EA15—Ecn) 無電圧接点 接点容量 DC30V1Aまで
消火栓連動	2系統 (※4) 連動出力： 2点 (H1—1—H2—1) (H1—2—H2—2) 無電圧接点 接点容量DC30V1Aまで 始動入力： 2点 (HL1—1—HL2—1) (HL1—2—HL2—2) 有電圧入力 AC24V
直接入力	4点 (In—Icn) 無電圧接点入力
地区音響用	DC24V 1200mA (B+ — BC—) ●地区音響中継器 (自動試験機能付) を使用する場合：地区音響装置 合計80コまで (※5) (※6) ●地区音響中継器 (断線監視機能なし) を使用する場合：地区音響装置 合計120コまで (※5)
防排煙制御用	DC24V 2A (VP+ — VPC)
監視用	DC24V 400mA (DA+ — CC) (※7) (※8)
汎用	DC24V 600mA (F+ — CC) アドレスアダプタ4回線用 25コまで (※5) (※9)
ガス漏れ表示灯用	DC24V 500mA (GS+ — GC)
表示灯用	AC24V 420mA (U1—U2)
NMAST伝送線 配線仕様 (感知器、発信機、 中継器接続用) (※10) (※11)	最遠配線長： 1500m 総配線長： 2000m 適合電線： 幹線 →耐熱ケーブル (ツイストペア線) フロア配線→耐熱ケーブル 線径 →配線抵抗20Ω以下となる線径
RS485伝送線 配線仕様 (副表示機接続用)	最遠配線長： 500m 総配線長： 1500m (3分岐まで) 適合電線： 耐熱ケーブル (シールド付ツイストペア線) 線径φ0.9以上
電 話	ジャック方式 電話機2台同梱
件名テーブル設定 ツール (PC) との インターフェース	USB
使用周囲温度	0℃～+40℃

- ※1：一斉点灯 (ランプチェック等) を行う場合は別電源 (オプション対応) が必要になります。
また、常時点灯には対応していません。
その他のMAPサイズ、回線数はオプション対応です。
- ※2：これらの代表移信は、移信停止スイッチをONにしても出力OFFとなりません。
移信停止スイッチ操作により出力をOFFとさせたい場合は、以下としてください。
・代表増設端子または移信中継器を「移信停止代表」に設定して、この端子 (b接点) を経由させて配線する。
・代表増設端子または個別移信端子 (EA1～EA15) または移信中継器に対して、必要な代表移信を設定する。
- ※3：代表増設移信については移信条件の設定変更が可能です。(初期設定：火災代表移信)
- ※4：消火栓連動が異なる一般発信機を同じアドレスアダプタに混在させることはできません。
(アドレスアダプタ2次側の一般発信機から消火栓連動させる場合)
- ※5：接続個数が制限個数を超える場合は、別電源 (オプション対応) から供給してください。
- ※6：地区音響中継器 (自動試験機能付) の接続個数が55コを超える場合は、地区音響制御線を別電源 (オプション対応) から供給してください。
- ※7：ガス漏れ中継器の接続個数が85コを超える場合は、別電源 (オプション対応) から供給してください。
- ※8：監視中継器または直接入力をb接点入力で使用する回線が20回線を超える場合、該当の監視中継器の監視電源を別電源 (オプション対応) から供給してください。
- ※9：アドレスアダプタ4回線用以外の用途で使用する場合において次の式を満足しない場合は、汎用電源を別電源 (オプション対応) から供給してください。

$$13.9 \times \text{①} + \text{②} \leq 350$$
(① アドレスアダプタ4回線用の接続個数
② 別用途の使用電流 (火災表示灯も別用途の使用電流に該当します)
- ※10：NMAST伝送線と以下の配線は別シースの配線をしてください。
・電話線
・アドレスアダプタ2次側配線
・地区音響配線
- ※11：建屋をまたがる場合は、シールドが必要です。

連絡先一覧表

施工店や点検契約店など、記入しておく と 便利 です。

点 検 契 約 店	TEL
施 工 店	TEL
設 備 竣 工	年 月 日

日本ドライケミカル株式会社